

幼  
児  
の  
教  
育  
総  
目  
次

婦人と子ども

第一卷

第一号

卷首

フレベル氏肖像○華族女学校長細川潤次郎先生真筆肖像○高等女子師範学校長高嶺秀夫先生真筆肖像

子ども

棒の唱歌○子ねこ○なきこえ○狼と狐○ふしぎな文字

家庭

教育上に於ける家庭の地位……………斎藤鹿三郎

簡易料理……………愛家女史

児育草……………養和堂主人

子供は鏡なり……………林ふみ

子母里そーだん……………小西信八

子供の衣服……………育児女

学術

鶴亀の話……………岩川友太郎

日本化したる外国語……………撃水生

講義

育児学講義……………中村五六

史伝

吉田松陰の母澁子……………下村三四吉

ローランド夫人……………鄭越生抄訳

文苑

システイとドミノ……………安井てつ子

無心の感化……………東条子

愛らしき幼児……………羽田晴子

和歌教首 唱歌

説林

婦人と子ども発行に就て……………高嶺秀夫

幼児に課する唱歌遊戯の話……………伊沢修二

研究

教育の真義……………石井国次

幼児保育法につきて.....東 基 吉

板と箸.....松 村 ひ さ

紀州新宮の手毬歌(楽譜附).....記 者

研究漫録.....M H 生

雑 録

新年と家庭○正月の餅○言はでものこと○富豪の美学○家庭保姆養成の必要  
○言葉の違い方○読書の習慣を養ふべし○立振舞の衝突○婦人の運動○如是  
我聞○表紙模様案

彙 報

彙報最近内外彙報数件○新刊紹介○会報

第 二 号

卷 首

吉田松陰の母種子の肖像

子 ども

いさましい小女○鳥と子ども○影画○疲の物真似○謎々

家 庭

子どもと境遇.....神 門 と も

何故なくなつたでせう.....松 村 ひ さ

簡易料理.....愛 家 女 史

子供に映れる家庭の影.....林 ぶ ゆ

印度土人の家庭生活.....L. I.

前かけの拵らへ方.....育 児 女

児母里ソーダン.....小 西 信 八

学 術

獅子の話.....佐 藤 礼 介

面白き理科の実験.....茗 溪 学 人

日本化したる外国語.....撃 水 生

講 義

育児学.....中 村 五 六

史 伝

藤田東湖の妻里子.....下 村 三 四 吉

ローランド夫人.....鄭 越 生

文 苑

システートとドミノー.....安 井 て つ

車 の わ だ ち ..... 撃 水 生

新 年 の 御 歌 ..... 東 水 生

子 ら の 遊 び ..... 東 水 生

雪 ・ 春 山 ..... 同 人

説 林

兒 童 訓 育 論 ..... 黒 田 定 治

女 子 の 職 分 ..... 単 念 士

研 究

台 湾 の 古 談 ..... 町 田 則 文

倫 理 管 見 ..... 石 井 国 次

幼 児 保 育 に つ き て ..... 東 基 吉

は き よ せ ..... 清 水 鶴

雑 録

公 徳 の 養 成 ○ 礼 節 作 法 教 授 の 注 意 ○ 婦 人 の 袴 ○ 婦 人 の 自 転 車 と 編 蝠 傘 ○ 児 童 発 表 の 機 会 を 多 く せ よ ○ 幻 年 唱 歌 ○ 有 毒 玩 具 の 発 売 禁 止 に 付 き て ○ 清 客 の 意 気 ○ 如 是 我 聞

彙 報

新 刊 紹 介 ○ 女 子 大 学 ○ 女 子 高 等 師 範 学 校 入 学 試 験 問 題 ○ 保 姆 伝 習 所 ○ 英 国 女

皇 の 崩 御 ○ 其 他 数 件

第 三 号

卷 首

故 英 国 女 皇 ビ ク ト リ ア 陛 下、同 新 帝 エ ド ワー ド 七 世 陛 下、同 皇 后 ア レ キ サ ン ド ラ 陛 下 御 肖 像

子 ども

た ん じ ょ う び ○ 半 太 と 小 人 ○ 天 神 様 と お う ま ○ う ま の 唱 歌 ○ 猿 の 物 真 似 ○ 無 精 較 べ ○ 郵 便 切 手 の お ま け ○ 謎 々

無 理 な こ と を す る な ..... 羽 山 好 作

家 庭

子 母 里 そ ー だ ん ..... こ に し の ぶ は ち

母 と 子 ども ..... 神 門 と も

育 児 の は な し ..... 波 多 野 と く

消 え ぬ 記 憶 ..... 松 村 ひ さ

今 昔 い ろ は 料 理 ..... 石 井 泰 二 郎

女 児 の 袴 ..... 育 児 女

印 度 土 人 の 家 庭 生 活 ..... Y I

學術

機関車の後押し……………関本幸太郎

講義

育兒学……………中村五六

史伝

藤田東湖の妻里子……………下村三四吉

ローランド夫人……………鄭越生

故英国女皇ビクトリア陛下……………同人

文苑

車のわだち……………擊水生

夜の梅……………東くめ

母を恋ふ……………さくら

新しき学校○花の木蔭○和歌数首

説林

児童訓練法……………黒田定治

女子の職分……………単念士

研究

台湾の古談……………野田則文

鳥取の俗語(楽譜附)……………永井幸次

猿岡地方の手毬歌お手玉歌……………山村材美

倫敦管見……………石井國次

函函教授に付きて……………東基吉

応問……………

女子教育につきての疑問……………中原ふく

女服改良につきて……………長谷為五郎

雑録……………

婦人会に及ぼす俳優の勢力○湯屋のさまぐ○石井泰二郎氏よりの書翰○盜

賊遊戯○改良衣服について婦人の覚悟○矛盾の性情○思い出るまゝ

彙報……………安井てつ

英国幼稚園の状況……………

外数件……………

第四号

巻首

独逸皇室

子ども

ゆき〇てんじんさま〇ねこと人〇狼と狐後日物語〇鳥をとる法〇人といふ字

家庭

子母里そーだん……………ここにしのぶはち

印度土人の家庭生活……………Y

おつかさんこれなに……………ひ

此心……………生

今昔いろは料理……………石井泰二郎

いふことをきかぬ子ども……………林 ふみ

学術

英語俚諺解……………撃

講義

育児学……………中村五六

史伝

ウキクトリア女皇……………鄭越生

ローランド夫人……………同人

文苑

この情とこの涙……………飯島八千溪

才女(楽譜附)……………新保磐次

母のこころ……………すみれ

桜ともみぢ……………さくら

母と妹……………小林つね

春の山……………東くめ

和歌教首

説林

女子は男子の所有なるか……………洋々生

研究

台湾の昔話……………町田則文

女子に就いての所感……………雪堂生

盛岡地方の手毬歌お手玉歌……………山村材美

駿河地方の子守歌につきて……………加藤伊沙吉

小児の言行……………美 蓉

雑 録

花の時○思い出るまゝ○ストライキ節○禿頭病○順境の淑女と逆境の烈婦○  
趣味ある家庭○我が敵を愛せよ○筆法は無用○筆のまに／＼

彙 報

英国幼稚園の状況……………安 井 て つ

外十数件、会報

第 五 号

卷 首

東京府第一高等女学校本年卒業生及職員写真

子ども

もゝ○へーたいあそび○豆と炭と薬との話○雀をとる法○謎々の解○考へも  
の○早口

家 庭

子母里ソーダン奥さんくらべ……………こにしのぶはち  
下女に対する同情……………林 ふ み

印度土人の家庭生活……………Y I

玄関……………和 歌 子

今昔いろは料理……………石 井 泰 二 郎

それをばけがくるぞ……………ひ さ 子

或母の日記……………無 名 氏

学 術

英語俚諺解……………撃 水 生

講 義

育児学……………中 村 五 六

児童研究法……………松 本 孝 二 郎

史 伝

ローランド夫人……………鄭 越 生

ヴェクトリヤ女皇……………同 人

説 林

児童の道徳的訓練……………黒 田 定 治

女子の特性を發展せしむべし……………瀧 生

文苑

第六号

八景 (多梅稚作曲) .....

新保碧次

写真 .....

和歌子

巻首

春の野辺、故郷の春、つつじの花、別れし人を思ひて、夕飯の時、神楽其他  
和歌十数首

女子高等師範学校附属幼稚園、同主事 中村五六君、肖像

研究

台湾の昔話 .....

町田則文

幼児の工夫 .....

羽田晴

鳥取の童謡 (楽譜附) .....

永井幸次

盛岡地方の手毬歌お手玉歌 .....

山村材美

児童心性調査表 .....

寺内穎

雑録

五月の自然界 ○女といふもの ○女偏の字 ○机辺字録 ○見聞録 ○可憐の手紙 ○  
御神床の次第

彙報

女子高等師範学校生徒募集、外十数件、会報

子ども

ほたる ○ほたるの唱歌 ○ワントン ○おひさんとおつきさま ○狐と猫の話 ○  
ひげとほーき ○鴨を取る法 ○お月さまと星め ○節儉家の集会 ○考へ物 ○謎々

家庭

子母里ソーダン (によぼー較べ) .....

こにしのぶはち

印度土人の家庭生活 .....

Y. I.

子どもの泣くことに付きて .....

ひさ子

裁縫 .....

岡本ちか子

今昔いろは料理 .....

石井泰二郎

看護法 .....

長瀬復三郎

学術

百合の話 .....

佐藤礼介

俗にいふうどんげの話 .....

東海生



講義

児童研究法……………松本孝二郎

史伝

ヴィクトリア女皇の伝……………鄭越生

野村望東尼……………下村三四吉

文苑

和歌數十首○ばらの花、卯の花…東くめ子○首夏、螢…夏くさ○初夏風…加藤ひな子○夜路…小林つね○金剛石…なでしこ○むたがき…うの花

説林

女子の地位は如何に進歩し来りたるか……………勝又次郎

寄書

健康と家庭……………秋影生

老爺の話……………愛読生

中のく小仏……………坂井長光

雑録  
六月の自然界○机辺予録○音楽的趣味の欠乏○公德の欠乏と私徳○改良衣服

彙報

女子高等師範学校教授の出張○外十数件○会報

第七号

卷首

林文字嬢、松村久子嬢、豆州伊豆山温泉場の景

子ども

あさがを○唱歌○うさぎとかめ○鶏の葬式○紐遊び○朝顔と朝寝坊○一口話  
○考へ物

家庭

家庭の愉快は何辺より来るか……………神門とも子

過ぎたる媿方……………ふみ子

裁縫……………岡本ちか子

考へ物二題……………鄭越生

或母の日記……………無名氏

看護法……………長瀬復三郎

学術

英語俚諺解

擊水 生

蛙の話

東海 生

講義

寄書

育児学

中村 五六

遺伝病と結婚

秋影 生

児童研究法

松本孝次郎

紀州新宮の七夕歌(楽譜)

子供のまゝごと

家庭

飯島八千溪

記者と読者

史伝

雑録

野村望東尼

下村三四吉

七月の天地

まか 生

ローランド夫人

鄭越生

バラルド嬢の日本女子教育談

記 者 生

文苑

和歌 数十首

印度土人の家庭生活

Y 生

納涼

東くめ

女監を見る

滞 言 子

帰省

こてふ

時言

抄 録 子

ほととぎす

田島ます

時論抄録

抄 録 子

皇長孫殿下の御降誕を祝し奉りて

菅原文一郎

数十件 会報

抄 録 子

海水浴

浜子

第八号

説林

女学生と浮華文学

記者

卷首

改良婦人服

子ども

うらしま〇とんぼの唱歌〇丈助の忠義〇紙の折り方〇とんぼ取り〇恵の滴〇考へ物

家庭

子供を叱ることにつきて

子供は

夏の飯みもの

昔いろは料理

看護法

或母の日記

学術

夏の海辺

講義

児童研究法

史伝

野村望東尼

文苑

辭

貧女歎貴女怨

和歌数首

長野盲入学校生徒の俳句

説林

母と教育

寄書

愉快なる家庭

余が実験せる特殊なる家庭とその児童

子ども心

信州松代の手毬歌

雑録

八月の天地

千代尼の夏季の俳句

女監を見る

松島案内

俚俗総領のじんろくといふことにつきての所感

高安月郊

東くめ

飯島八千溪

斎藤鹿三郎

秋影生

菅原文一郎

飯島八千溪

石坂よし

摩訶生

藤川生

澤生

香園女史

秋山七朗

時論抄録……………抄録子

児童研究法……………松本孝次郎

彙報

史伝

数件○会報

野村望東尼……………下村三四吉

第九号

文苑

巻首

古茂蔵……………新保磐次  
月前竹……………東くめ子

パウエル氏名画エリート湖上ベルリの勇戦

和歌数首

子ども

説林

丈助の忠義○室内遊戯○最善き紹介状○一口話○考へ物

幼稚園保姆に望む  
愚痴と取越苦勞

家庭

寄書

母の言葉……………高木四郎

寄書

小さき日記……………印東おとな

世の母たる人に告ぐ……………羽山好作

昔いろは料理……………石井泰次郎

余が実験せる特殊の家庭と其児童……………菅原文一郎  
富士南麓地方の子守歌……………西村和一郎

学術

雑録

夏の海辺……………東海生

九月の天地……………まか子

講義

汽車旅行と道連の幼児……………ひさ子

女監を見る……………滞  
印度土人の家庭生活(完結)……………Y  
I 生

彙報

数件○会告

第十号

子ども

鼠と鳥とおむすびとの話○室内手あそび○ワシントンの勇行○一口話○考へ物

家庭

清潔と快樂……………香園 女史  
親馬鹿……………ヒツポボタモス、アイランド  
昔いろは料理……………石井泰次郎  
看護法……………長瀬復三郎  
裁縫(涎掛)……………岡本 ちか

学術

らんぶの話……………函 南 子

講義

児童研究法……………松本孝次郎

史伝

ヴィクトリア女皇の伝……………鄭 越 生

文苑

柞の露……………秋 影 生

細川忠興夫人……………森岡たけ子

蘆湖紀行……………和 歌 子

幼稚園……………小島たつ子

公德唱歌(其一)……………学校の詩人

海辺の夕暮……………い さ り 火

友に別るとて……………東 桑 子

月かげ、故郷の友……………小林 恒子

和歌初秋の風、秋の山家、水……………布士の 舎

同山里の月……………高木まつ子

俳句

説林

口は幸の基……………高木 四郎

寄書

食はず嫌ひ……………飯島八千溪

児童に対する言語……………和田藏子

幸福とは何ぞ……………林寿祐

五十首歌……………松原翠掬

子守歌……………古劍生

懸賞質問題一題

雑録

十月の天地……………ま、か、生

穎敏な娘と母の愛読の書……………Y I

幼稚園より行つた児童と家庭より行つた児童との

学校での成績比較

塩焚く老爺……………溇生

彙報

数十件〇会報

第十一号

巻首

エー、ビー、ヒュース嬢肖像

子ども

黒子太郎、室内手遊(糶み方)ワシントンの勇行、独乙教育話、考へ物。

家庭

親馬鹿といふをよみて……………林ふみ子

親馬鹿(承前)……………ヒツポボタモス、アイランド

昔いろは料理……………石井泰次郎

小さき日記……………印東おとな

学術

不思議の徳利……………関本幸太郎

講義

児童研究法……………松本孝次郎

史伝

野村望東尼……………下村三四吉

ローランド夫人……………鄭越生

文苑

幼き人……………池田みきは  
 蘆湖紀行……………和歌子  
 公德唱歌(其二)……………学校の詩人  
 蛙の解剖……………ろすゐ  
 月前菊、八雲鑑、暮秋、森かげ。  
 和歌…外数十首……………佐々木信綱  
 俳句…数十首……………

説林

幼稚園に於ける幼児個人性の発達及保護……………ミス、ヒュース

寄書

夏休みと児童の発育と……………山根とし子  
 上総の子守歌……………し、はやし  
 予州南部の手毬歌……………清家みすゑ

雑録

十一月の天地……………摩訶生  
 旅の土産(其二、海人の生活)……………滯生  
 房州の婦人……………松本恒吉

幼稚園を出た児童と家庭から行つた児童との学校での成績比較表……………記者

彙報

数十件○会報

第十二号

子ども

黒子太郎。室内手遊。独逸教育話。謎々

家庭

母たらん言葉……………高木四郎

掃除……………香園女史

昔いろは料理……………石井泰次郎

或母の日記……………無名氏

学術……………ろすゐ

昆虫標本製作法……………ろすゐ

講義……………

児童研究法……………松本孝次郎

史 伝

野村望東尼……………下村三四吉

文 苑

天長節に友を招く……………池田愛子

公德唱歌(其三、其四)……………学校の詩人

四季……………小林恒子

遊漁……………東 桑 子

和歌、子、外教十首……………佐々木信綱

俳句、数十首

説 林

歳末の辞……………記 者

罰につきて(ミス、ヒューズ)談話の一節……………林ふみ子  
松村久子

寄 書

理想的の夫の具備すべき資格につきて答ふ……………太田みき子

子供に聞かす咄につきて……………清家みすゑ

上総の羽子つき歌……………し、はやし生

雜 録

十二月の天地……………摩訶訶生

冬至……………せ、く、生

汽車旅行と道運の幼児……………ひ、さ、子

益軒先生の年中家事……………下村生

彙 報

数十件、新刊紹介、会



第二卷

第一号

卷首

台湾神社、台湾女学校生徒遊戯、近江八景

子ども

黒子太郎、かごめの唱歌、同戶外遊戯、室内手遊(摺み方) 天狗の面、一口話、謎々、考へもの

家庭

子供と天然……………安井哲子  
親馬鹿といふをよみて……………林ふみ子  
昔いろは料理……………石井泰次郎  
伝染病……………長瀬復三郎

学術

虎のはなし……………佐藤礼介

講義

児童研究法……………松本孝次郎

史伝

津崎矩子……………下村三四吉  
ウキクトリア陛下……………鄭越生

文苑

門松の説……………布二の舎  
故郷と都……………驚水  
新年梅……………不尽廼舎  
お正月……………同人  
二見が浦……………東条子  
七福神……………小林恆子  
和歌：新年五首外……………佐々木信綱  
俳句……………愛桜外

説林

女子教育につきて……………嘉納治五郎  
ニュー、イングランドの一家庭……………松本亦太郎  
娯楽の撰択……………佐方鎮子

寄書

お正月の子ども.....みなかもの

秋田市正月の名物.....河井たま子

我が地方の毬歌.....平岩繁子

質問題.....田口由之助

雑録

一月の天地.....川口孫次郎

かるたの秘訣.....鷺水

正月の飾物と飲食物.....せく、生

和歌の浦案内.....和歌子

彙報

学事集会、筆の雫、外国彙報、会報

第二号

子ども

黒子太郎(完結)。紙の摺み方。馬車遊び。短篇独乙教育話。一口ばなし。考へ物。

家庭

植物と子ども.....野口幽香

幼児と愛.....松村久子

昔いろは料理.....石井泰次郎

小さき日記.....印東音鳴

学術

動物の生活に是非必要なもの.....東海生

講義

児童研究法.....松本孝次郎

史伝

津崎矩子.....下村三四吉

文苑

御製 新年梅

深夜.....鷺水

雪の朝、雪の夕、花のうたげ.....つねを

和歌三首.....中島歌子

竹柏園歌会.....佐々木信綱 外

春の歌.....鷺 水

新年梅.....団 芽 枝 子

同.....東 衆 子

長野盲人学校生徒の俳句.....飯島八千溪

説 林

ニューイングランドの一家庭.....松本亦太郎

寄 書

女子の総べて男子に比し思考力に乏しき所以如何

といへる質問につきて.....愛読者の一人

子どもの朝寝.....凹 凸 生

雑 録

二月の天地.....川口孫次郎

我国玩具遊戯の話.....関 根 正 直

結婚論.....野 本 生 訳

鬼遣ひ.....せ、く、生

彙 報

御講書始、歌御会始、学事集会、筆の雫、新刊、会報

第 三 号

子ども

骨ものがたり。獅子がり。無言の学士会。紙の摺み方。一口ばなし。考へもの

家 庭

いろ／＼の子ども.....松村久子

昔いろは料理.....石井泰次郎

袖無羽織.....岡本ちか子

或母の日記.....無 名 氏

学 術

動物の生活に是非必要なもの.....東 海

史 伝

津崎矩子.....下村三四吉

文 苑

はるさめ会連句.....ろ す ゐ

少女子.....小 林 恒

竹柏園歌会兼題……………佐々木信綱 外

和歌四首……………辭子、さくら

俳句数十首 長野盲人学校の俳句……………

説 林

男子の貞操

婦人の修養

保育法改良の第一着手

教育家の理想……………前 田 長 太

寄 書

大に女子の反省を求む……………大西永太郎

婦人の心得……………近藤とき子

幼者の教導につきて……………和田くら子

政さんの観念界……………飯島八千溪

植物と子どもといふを讀みて……………中沢よし子

雜 録

三月の天地……………か ま 生

玩弄具及遊技の話……………関 根 正 直

雛祭りの記……………せ、く、生

結婚論……………野 本 生 訳

いろく……………さ く ら

彙 報

学事集会○筆の雫○地方通信○東京通信○新刊紹介○会報

第 四 号

卷 首

幼稚園保母合唱の歌

子ども

骨物かたり○帽子と象○摺み方○狼奇談○笑ひの種○考へ物○謎

家 庭

ないしょといふこと……………林 ふ み 子

伝染病……………長瀬復三郎

幼児の改良服……………星 つ ね 子

昔いろは料理……………石井泰次郎

或母の日記……………無 名 氏

学 術

夢のはなし……………東 基 吉

露の色及虹…………… 函南子 …… 三河の穂歌…………… 近藤とき子

鉄道の話…………… 菊亭

史伝…………… 雑録

津崎矩子…………… 下村三四吉 …… 四月の天地…………… 川口孫次郎

文苑…………… 結婚論…………… 野本生記

狂女…………… 鷺水 …… 灌仏会…………… せく生

花見…………… 東くめ子 …… 寡婦と愛児…………… 一二三 訳

朽ちせぬ花…………… つねを …… 若葉集…………… 松の舎

海…………… 竹柏会同人 …… 学校、集会○筆の雫○海外彙報○新刊紹介○会報○会員名簿

外国にある友に…………… 東くめ子

折にふれて…………… 同人

説林…………… 子ども

保育法の改良…………… 記者 …… 楽隊の大勝利(やまとの翁)源ちゃんの英語(記者)母の誕生日(矢橋)

小児の発達に注意して御覧なさい…………… 単念生 …… 小葩お笑ひ草、摺み方、考へもの、忠義な犬の話(やまとの翁)前

寄書…………… 飯島八千溪 …… 号考へものゝ解、懸賞考へもの、第二卷第三号受賞者披露

色に対する子供の嗜好…………… 平岩繁治 …… 家庭

子供の躰け方につきて…………… 佐藤亀一 …… 幼児に言ふ小言…………… 松村久子

備後の手鞠歌…………… …… 家庭に子供の必要なこと…………… 小島松之助

伝染病……………	長瀬復三郎
昔いろは料理……………	石井泰次郎
三つ身緋入羽織……………	岡本ちか子
小さき日記……………	印東音鳴
学術……………	
鉄道の話……………	菊亭
夢のはなし……………	東基吉
史伝……………	
津崎矩子……………	下村三四吉
文苑……………	
落花……………	鷺水
春……………	東条子
春の夜……………	つねを
和歌……………	佐々木信綱
動物愛憐と教育……………	本田増次郎
寄書……………	

保育上の疑点に付て教を乞ふ……………	横田 鋳
備後の瓊歌……………	佐藤 亀一
我が地方の瓊歌……………	平岩 繁治
雑録……………	
端午の話……………	せく生
結婚論……………	野本生 訳
寡婦と愛子……………	一二三 訳
衛生上の注意……………	黒水 生
彙報……………	
雲の上○学事集会○筆の雫○地方通信○新刊紹介○会報	
第六号……………	
子ども……………	
楽隊の大勝利(やまとの翁)小蝶物語(野口雨情)二人の兄弟(矢橋小葩)笑 ひ草、一口話、謎々 懸賞考へ物	
家庭……………	
家庭雑感……………	広瀬権太郎

伝染病……………長瀬復三郎

昔いろは料理……………石井泰次郎

小さき日記……………印東音鳴

学術

鉄道の話……………菊 亭

夢のはなし……………東 基 吉

史 伝

津崎矩子(承前)……………下村三四吉

文 苑

偶作六首……………佐々木信綱

馬二十五首……………竹柏会兼題

雑詠三首……………い く 子

同……………驚 水

春の歌三首……………敏 子

蝶……………東 く め 子

言はず語らず春の日の……………野 口 雨 情

花の袂……………つ ね を

説 林

動物愛憐と教育……………本多増次郎

寄 書

子供の正直……………平岩繁治

梅ちゃんの日誌……………鈴木かなへ

備後の毬歌、子守歌……………佐 藤 生

肥後の手毬歌……………合 志 章 子

雑 録

六月(みな月)……………せ、く 生

米国に於ける我二人の女学生……………や て

結婚論……………野 本 生 訳

寡婦と愛子……………一 二 三 訳

鐘馗の幟……………秩 浜 生

彙 報

雲の上〇学事集会〇筆の雫〇東京より〇地方通信〇会報

第 七 号

子 ども

鶯鳥の念仏(やまとの翁)小蝶物語(野口雨晴)吝嗇の誠(小島松之助)おむ

すびとおだんご。笑ひ草。狐のお土産（独醒軒主人）。懸賞考へ物当

選披露。

懸賞問答

家庭

子供に聞かせる話につきて……………東 基 吉

日常の作法……………雨 森 劍

伝染病……………長瀬復三郎

昔いろは料理……………石井泰次郎

学術

眼の話……………本 郷 生

史伝

津崎矩子（完結）……………下村三四吉

国学と荷田春満……………米 溪

文苑

偶作六首……………佐々木信綱

鶏……………竹柏会同人

琴の音……………鷺 水

此世の旅路……………東くめ子

蝶……………小畑いく子

一声……………つねを

師を懐ふ……………独醒軒主人

説林

動物愛憐と教育……………本田増次郎

橋梁の観察……………野口保興

本邦古代保育法の一斑……………下村三四吉

寄書

お寺参りの婦人と子ども……………凹 凸 子

母と子と継母……………林 寿 祐

雑録

水と人生……………摩 訶 生

七月（ふみ月又ふ月）……………せ ぐ 生

米国に於ける我が二人の女学生……………や、て

結婚論……………野 本 生 訳

七夕……………節 句 生

彙報

九重の御消息○学びの窓○東京より○地方通信○海外彙報○会報



第八号

文苑

子ども

黒作と狼(やまとの翁)小蝶物語(野口雨情)傲慢な男(小島松之助)樗の木とすゞき。笑ひ草。懸賞問答当撰披露。同次の問答。海水浴に行つて溺れぬ法。水の誠。

婦省.....佐々木信綱外

梅雨晴.....横山碩外

くちなしの花.....東くめ子

はたる.....つねを

一朝の楽しみ.....楓

家庭

説林

子供に聞かせる話につきて(一).....東基吉

大事を取り過ぐるこゝと.....林ふみ子

学校病.....長瀬復三郎

昔いろは料理.....石井泰次郎

本邦古代保育法の一斑.....下村三四吉

寄書

お寺参りの婦人と子ども.....凹凸子

母と子と継母.....林寿祐

学術

蜜蜂の話.....鶯水

眼の話.....本郷生

鉄道の話.....菊亭

史伝

国学と荷田春満(承前).....米浜

雑録

夏の家庭.....やて

水と人生.....川口孫次郎

幼児の支那人に対する考.....ひさ子

彙報

九重の御消息○学びの窓○東京たより(撃水生)○長野通信(飯島八千溪)○北

海通通信(通信生)○海外彙報(故瀬川友子)○新刊紹介○会報

第九号

子ども

六人の武者修行(やまとの翁)○信濃蟹蔵(雨情)○腰折雀(翁丸)  
懸賞問答

家庭

幼児の友達

救急所置

昔いろは料理

幼児の腹あて

学術

眼の話(三)

史伝

黒沢登幾子

文苑

暴風

暁水鶏

鈴虫

浜辺の五分間

暑中休暇

説林

本邦古代保育法の一斑(承前)

現今の幼稚園保育法につきて

雑録

海

東京市養育院を見る

八月九月の異名

他人を批評することにつきて

彙報

九重の御消息○学びの窓○筆の雫○東京たより(撃水生)○大阪通信(大村芳樹)  
○香川通信(通信員)○海外彙報

第十号

子ども

佐々木信綱

ろすい

浜子

楓

下村三四吉

東基吉

川口孫治郎

ひさ子

せく生

野本生記

ふみ子

長瀬復三郎

石井泰水郎

岡本ちか子

本郷生

本郷生

下村三四吉

下村三四吉

赤堀信成外

赤堀信成外

六人の武者修行(やまとの翁)○松葉牡丹(雨情)○次郎の海遊び(愛鷹)  
 ○ぶた娘(はる子)○湯屋の大黒天(とき子)○懸賞問答当選○この次の  
 懸賞問答

家庭

救急所置……………長瀬復三郎  
 子供を背負ふことにつきて……………雨森釧子  
 昔いろは料理……………石井泰次郎

学術

眼の話……………本郷生

史伝

節女阿正の伝……………米 溪  
 祇園梶子の話……………上野紀士

文苑

山家月……………佐々木信綱 外  
 月前雲……………東くめ子  
 花のかげ……………小林つねを

説林

本邦古代保育法の一斑……………下村三四吉  
 現今幼稚園の保育法につきて……………東 基 吉

寄書

幼時の家庭……………萩 子  
 同上……………(一等)……………友 彦  
 同上……………(二等)……………不 扭 軒 人  
 同上……………(三等)……………平野ゆき子  
 同上……………操 女

雑録

窮児の悪くなる有様……………ひ さ 子  
 かみなつき(十月)……………せ く 生  
 牧羊閑話……………牧 羊 生  
 秋の林……………ま か 生

彙報

○学びの窓○北海道通信○高知短信○新刊紹介○会報

第十一号

子ども

お姫様の行方(やまこの翁) ○面白き実験(小島松之助) ○栗鼠退治(雨情) ○問答 ○考へ物

家庭

子どものうそ

林ふみ子

救急所置

長瀬復三郎

昔いろは料理

石井泰次郎

学術

幼児の視覚の話

松本孝次郎

史伝

節女阿正の伝

米溪子

黒沢登幾子

下村三四吉

文苑

紅葉狩

佐々木信綱

蝦夷のみちしば

鷺水

月の夜

同

確水の紅葉

東くめ子

夢

敏子

こころの花

つねを

説林

本邦古代保育法の一斑(承前)

下村三四吉

寄書

所感の一節

和田蔵子

「貞女両夫ニ見エズ」の格言は之を励行する必要ありや

和田蔵子

子供心

広瀬生

子供のみね

飯島八千溪

雑録

小児の損料屋

和歌子

婦人の労働と風俗

雨情

霜月と其異名

せく生

水蒸汽

摩訶生

小西湖四季の夜々(秋)

べいけい

他を批評することに於て(中)

野本生訳

一日の楽しみ……………北海生

彙報

皇后陛下行啓○学びの窓○筆の雫○新刊紹介○会報

第十二号

子ども

お姫様の行方(やまとの翁)○入道の降参(雨情)○蛙遊び○考へ物○

一口話

家庭

子どもの読物……………浜子

昔いろは料理……………石井泰次郎

家庭雑感……………その子

学術

幼児の特質……………松本孝次郎

史伝

節女阿正の伝……………米溪

黒沢登幾子……………下村三四吉

文苑

旅のすさび……………鷺水

親しき友に……………木の下いづ子

暮秋……………東くめ子

賤の女……………敏子

歌の曲……………つねを

勇ましき若武者……………澤相賀調両

袴の賛……………相賀調両

説林

明治三十五年を送る……………下村三四吉

本邦古代保育法の一斑……………下村三四吉

雑録

東京市養育院感化部……………ひさ子

八丈島の風俗……………やて

秋星窓日記……………北濤野人

東京の十二月中行事……………せく生

他を批評することに付きて……………野本生訳

十二月和名と其異名……………せく

彙報

○華族女学校行啓○女子高等師範学校○東京音楽学校演奏会○東京女子美術  
学校開校式○婦人読書会○足利幼稚園○歌御会始御題○学生生徒の敬礼法○  
教員検定試験問題○幼稚園と近視眼増加との関係○会報

第三卷

第一号

卷首 天国の民

子ども

打出の小道具(やまとの翁)○時計の唱歌○世界一の旅行博士(北齋野  
人)○笑ひ草○不老不死の薬(翁丸)○考へ物

家庭

子供のおつかさんへ……………野口 幽 香

雑感……………雨 森 剣

家庭閑話……………そ の 子

昔いろは料理附新年の景物……………石井泰次郎

学術

兎の話……………佐藤礼介

史伝

エドワード、デロンダ……………米 溪

文苑

新年の歌三首

佐々木信綱

冬月

竹相園同人

紅梅

牧 羊

かるた遊び

あ づ ま

ひととせ

つ ね を

お年玉

み づ 子

説林

女子の忠

細川潤次郎

話の仕方

尺 秀 三 郎

雑 録

睦月と其異名

せ く 生

服装の事(上)

弥 生 沢

感話

小 林 雨 峰

結婚の教理

牧 羊

幼児自作の唱歌

彙 報

女子高等師範学校○東京音楽学校生徒募集○フレンド女学校の火災○学校に

於ける敬老会○児童の睡眠時間○悪癖遺伝の血統○教員検定本試験問題○北海道通信○新刊紹介○会報

第 二 号

子ども

打出の小道具(やまとの翁)○伊蘇普物語(牧羊)○お日様と風(やよい)○考へものゝ解○福引

家 庭

いらぬ干渉とみはり

家庭閑話

乳母の選み方につきて

小児の感化

富士ちゃんの記事

一週間の献立

学 術

小笠原父島の二見港

史 伝

エドワード、デロング

文苑

第三号

女五首……………佐々木信綱

五婦の歌……………たき生

御代ほぎ……………つねを

若き人のわづらひ……………小林雨峰

お年玉……………金田みず子

説林

読書につきて……………牧羊生

雑録

きざらぎと某異名……………せく生

服装の事(下)……………弥生訳

霞と霧……………摩詳生

幼稚園保育上の誤謬……………キンデルガルテンレヴュー

サンサイ……………原米女

彙報

歌御会始○女子高等師範学校○女子高等師範学校入学試験問題○東京府女子教育会○暹羅文部次官と幼稚園○江原素六氏の食事修身談○肺病の伝染に付きて○有名なる音楽家の報酬○色を以て精神病を治す○遺英美談○教員検定本試験問題○会報

子ども

蛇姫(やまとの翁)○伊蘇普物語(牧羊訳)○親猫と隼鷹(やまとの翁)○笑草(みず子)

家庭

かげひなた……………松村ひさ子

家庭閑話……………その子

昔いろは料理……………石井泰次郎

洗濯水と香水の製法……………平岩学洋

富士ちゃんの日記……………会員某女

学術

幼児の聴覚……………松本孝次郎

小笠原父島の二見港……………やて

史伝

エドワード、デロング(完結)……………米溪

文苑



春風春水……………雨峯生

新体詩学び卒へし友の許に……………平野ゆき子

みやげの剣……………つねを

雛のわかれ……………東くめ子

折にふれて……………和歌子

説林

欧米の家庭教育及幼稚園保育

視察談……………下田次郎

読書につきて……………牧羊生

雑録

幼稚園保育要項……………女子高等師範学校  
附属幼稚園

三月をやよびひとへること……………せく生

帰省日記……………小林雨峯

キングストリート幼稚園……………伊藤せい

彙報

女子高等師範学校○各学校の開始と入学生徒募集○大日本割烹学会○新潟県  
女子師範学校○留学生帰朝○府下滝の川の康樂園○相模通信○北海道通信○  
禁酒学校○会報

第四号

子ども

伊伴物語(やまとの翁)○伊蘇普物語(牧羊歌)○不思議の裁判○兎と亀  
と○人の年を早くあてる法○簡易英語

家庭

生兵法

居眠りも無理ならず……………寛

家庭閑話

素人料理……………その子園

富士ちゃんの日記……………会員某女

学術

子供の観念に関する研究……………松本孝次郎

史伝

江馬細香女史の詩……………小林雨峯

黒沢登幾子……………下村四三吉

文苑

落椿.....雨 峯 生

君の御蔭.....驚 水

病める友を思ひて.....東 く め 子

友のつどひ.....つ ね を

花の袂.....同 人

説林

欧米の家庭教育及幼稚園保育視察談.....下 田 次 郎

雑 録

うつき.....せ く 生

博覧会.....や 歌 子

道すがら.....和 歌 子

静岡紀行.....牧 羊

保育事項実施程度.....女子高等師範学校  
附属幼稚園

彙 報

女子高等師範学校○学習院初等科学生募集○東京盲啞学校教員練習科○芝高等女学校○私立済美学校○女子写真学校○音楽演奏会○教員検定試験○府第一高等女学校談話会○同盟母の会大会○子を持つた人の注意○信愛幼稚園の

保育振○大阪盲啞院救助部○和歌山高等女学校の服制○山形幼稚園○足利幼稚園○野口幽香子○奇聞一束○松操学校○新刊紹介○会報

第五号

子ども

百合姫(やまとの翁)○伊蘇昔物語(牧羊訳)○簡易英語○慈善の麵包○三人の親友(北斗女史)○第三号問題の答、問題

家庭

子供の健康に及ぼす両親の事情、  
幼児を世話する人の感情につきて.....ふ み 子  
昔いろは料理.....石井泰次郎

嬰兒の泣き方につきての研究.....鷺江八重吉

嬰兒負ひ方の注意.....中村多重

乳の少きを多く出す法.....同 上

学 術

記憶につきて.....平岩学洋

史 伝

記憶につきて.....松本孝次郎

大題小題(山撥風の裁判).....米 溪

第六号

文苑

富士山.....竹柏会同人

子ども

折にふれて.....東くめ子

百合姫(やまとの翁)○伊蘇普物語(牧羊訳)○簡易英語○ころんぶすの

自転車三首.....ひむかし

卵(牧羊)

月のかげ.....つねを

家庭

説林

欧米の家庭教育及幼稚園保育

家庭に於ける美的教育

視察談.....下田次郎

婚姻

衣食住と体育との関係.....井口あぐり子

家庭閑話

雑録

今いろは料理.....石井泰次郎

花のかたみ.....や、て

幼児偏性の予制に就きて.....清家恵子

胡蝶の新入学.....故、飯島八千溪

学術

婦人の本領.....小島松之助

幼児の想像に付きて.....松本孝次郎

彙報

史伝

女子高等師範学校○東京音楽学校○音楽学校春季演奏会○実践女学校○竹

大題小題二、(サーモビレーの戦).....米 溪

柏会親睦会○東京府第一高等女学校○三輪田女学校○葵卵園遊会○保育部大

織田信行の侍女勝子.....布士 廻 舎

会○新刊紹介○会報

.....

文苑

夕早苗……………竹柏会同人

首夏二首……………布士 廻 舎

常夏……………同 人

夢に子規を聞く……………同 人

藤衣……………鷺 水

旅……………布士 廻 舎

葉桜……………つ ね を

説 林

幼稚園保母と母の責任……………タッピング夫人

雑 録

花のかたみ……………や、て、

読書余録(フロレンツの獅子)……………撃 水

東京より……………

幼稚園の遊嬉……………女子高等師範学校  
附属幼稚園

相摸の子守歌……………平 岩 繁 治

彙 報

女子高等師範学校○華族女学校運動会○慈善音楽会○東京盲啞学校卒業式○

大阪市に於ける保育大会○清国幼稚園○本会例会○西藏の風習○露国小学生  
徒の修学旅行○北海道通信

第 七 号

子ども

馬と狐(やまとの翁)○伊蘇普物語(牧羊)○アンドロクルスと獅子(牧  
羊)○真実の變心(きみ子)

懸賞考物一題

家 庭

家庭教育上婢僕の位置

母の感化……………ひ さ 子

昔いろは料理……………石井泰次郎

学 術

奇妙な動植物……………田 寺 寛 二

史 伝

大題小題(サーモビレーの戦)……………米 浜

文 苑

船中蟹……………竹柏会同人  
古物語……………うほう

説林

欧米にて観察したる幼稚園……………小泉又一

雑録

幼児の汽車遊び……………和歌子

江馬細香女史の詩……………小林雨峯

幼稚園の遊嬉……………附属幼稚園

読書余録(人情の勝利者)……………東撃水

彙報

女子高等師範学校○女子教育講話会○東京府教育会女子夏期講習会○動物虐待防止会婦人部○音楽会○博覧会行学生乗車大割引○全国人口増加の割合○撰津通信  
新刊紹介  
会報

第八号

子ども

鼯鼠と兎との競争

あるぶす越

いそつぶ物語

一口ばなし

簡易英語

家庭

賢母たるの要素

器具につきて

昔いろは料理

学術

奇妙な動植物

史伝

賢婦郭氏の伝

文苑

夏月涼

月下のピアノ

ひと本野菊

滝

墓まうで

あるぶす越

いそつぶ物語

一口ばなし

簡易英語

家庭

賢母たるの要素

器具につきて

昔いろは料理

学術

奇妙な動植物

史伝

賢婦郭氏の伝

文苑

夏月涼

月下のピアノ

ひと本野菊

滝

墓まうで

説 林

遊戯の方針

町 田 則 文

風の神

雑 録

猿の裁判

いそつぶ物語

江馬細香女史の詩

小 林 雨 峰

慈悲深い天子

幼稚園の遊嬉

和 歌 子

懸賞なぞく

忘れな草の由来

東 牧 羊

懸賞考へ物の披露

樹蔭の独語

夏 山 み どり

家 庭

編輯局より

編 輯 員

訓練の統一

女子高等師範学校

女子高等師範学校

過ぎたる賤け方

彙 報

附 属 幼 稚 園

今いろは料理

府第一高等女学校

東京音楽学校

醤油の黴を防ぐ方及良否鑑別法

東京女芸学校

婦人

家庭閑話

運動場公開の建議

市内公園の運動器械

そ の 子

対男子反情婦人会

伝染

学 術

第 九 号

奇妙な動植物

巻 首

史 伝

紀州の勝景

処女のカザリナ

病媒介者としての蚊

兵庫通信

蕪 風

蕪 風

田 寺 寛 二

そ の 子

石 井 泰 次 郎

和 田 蔵

擊 水

文苑

第十号

返子の歌.....竹柏会同人

おとづれ.....つねを

世の習ひ.....同人

説林

遊戯の方針.....町田則文

雑録

幼稚園案内.....東基吉

蠶魚のくひあまし.....や、て

煙草の好きな男へ○子供の間食○痰の検査○滝謙太郎氏○計入制出

読書余録(二) 婦人 氣質 善悪両面鏡.....撃水

那瀑と静八丁(口絵の解)

彙報

○桜蔭会○文部省検定予備試験問題○作法割烹夏期講習会の景況○女子商業学校設立の計画○東京市教員の俸給題○東京市内小学校と女教員の増加○千葉幼稚園○東京孤児院の新築○東京感化院○白痴の原因○女子服装圖案募集○三十六年間の徒歩旅行○大学卒業生の乞食○身体肥満法○ソールスベリ侯○兵庫県通信○会報

子ども

風の神

プロツスムの話

いそつぶ物語

考へ物二題

前号なぞぐの解

家庭

訓練の統一.....撃水

復讐心の煽動.....美波ゆや

家庭閑話.....その子

トマトー羊羹の拵へ方

牛乳の興へ方

学術

幼児の想像作用.....松本孝次郎

奇妙な動植物.....田寺寛二

史伝

サーモビレーの戦……………米 溪

文苑

人の世……………佐々木信綱

煙……………松寺久雄

旅の空……………つねを

和歌二題……………東くめ子

我伯母上……………しのぶぐさ

説林

遊戯の方針……………町田則文

雑録

幼稚園案内……………東基吉

塩津みやげ(その一)……………和歌子

彙報

女子高等師範学校○文部省検定試験問題○女子商業学校○音楽遊戯協会講習会○大日本女子教育会○綿秋女塾○女子職業学校の出品○聖路易博覧会○台湾女子留学生○香港動物虐待禁止会の活動○天気保険業○新刊の読物○兵庫県通信○交詢欄○会報

第十一号

子ども

おちば……………くめ子 訳

運野四九内……………やまとの翁

いそつぶ物語……………記 者

お笑ひの種……………近藤とき子

英語入短話……………久永童山人

英語一口話……………ゆき子

独乙の考へ物。同前号の解……………記 者

室内の遊び(影しと目探し)……………同上

家庭

吾人身体上の悲観……………寺田勇吉

誕生日……………者

某外国人曰く

昔いろは料理……………石井泰次郎

山根医学士曰く

練乳の分析表

学術



情緒……………松本孝次郎

奇妙な動植物……………田寺寛二

珠鷄の話……………久永達倫

史 伝

大題小題(サーモビレーの戦)……………米 溪

文 苑

わが里……………佐々木信綱

海……………小花清泉

小さき魚……………すみれ

徒然草をよみて……………あふひ

説 林

幼稚園の立場と其務……………森岡常蔵

雑 録

幼稚園案内……………東 基 吉

塩津みやげ(その二)……………和 歌 子

秋風荒む……………や、て

露……………摩 訶 生

私立東洋幼稚園の創立……………東 基 吉

彙 報

女子高等師範学校○府第一高等女学校○女子大学校○竹相会佐々木氏送別会  
○東洋女学校創立○千葉県女子師範学校○文部省検定本試験○新刊の読み物  
○松阪通信○兵庫県通信○交詢欄○会報

第十二号

子ども

運野四九内……………やまとの翁

いそつぶ物語……………記 者

室内遊戯……………記 者

英語一口はなし……………ゆ き 子

前号考へ物の答

この次の考へ物

家 庭

吾人身体上の悲観……………寺 田 勇 吉

昔いろは料理……………石井泰次郎

学 術

児童心理……………松本孝次郎

奇妙なる動植物……………田寺寛次

史 伝

黒沢登幾子伝補遺……………下村三四吉

文 苑

水仙花……………雨峰生訳

御苑の菊……………東くめ子

孝女……………つねを

説 林

幼稚園の立場と其務……………森岡常蔵

雑 録

塩津みやげ……………和歌子

きつす……………やて

友の日記をよみて……………天骨老人

彙 報

女子高等師範学校○公益音楽会○新年歌御会始御題○本会忘年会○兵庫県通信○会報

第 四 卷

第 一 号

卷 首

母の愛

子ども

ばら姫

大蛇の土産

二人の音楽師

いそつぶ物語

室内のお遊び

考へものの答

婦人と子ども

婦人方へ……………野口幽香

子供の新年外四首……………まうへ

割十二ヶ月(むつき)……………石井泰次郎

婚姻の性質……………谷川清

塩津みやげ(その四).....和歌子

禁煙のすゝめ.....東基吉

初春.....雨峰

黒沢登幾子伝補遺.....下村三四吉

偉人の学校時代.....米峰

新光.....雨峰

幼稚園の遊戯(その一).....松村ひさ

子供の性行.....林寿祐

二四戯会.....楠田睦子

忙中閑語.....其子

雑報

編輯局より○日本女子と蒙古王の家庭教師○高等女学校に幼稚園を附設せしむる建議○男女交際論○兵庫県通信○新刊紹介○会報

第二号

子ども

鼯鼠の起源

いそつぶ物語

爪と鳥

室内遊び

奇妙な動植物

そろもん王の智恵

婦人と子ども

安井河野二氏を送る

安井哲子の君を送る

懇話会につきて

御製

怒、自愛、嫉妬の情

子供のおもちや

乳母を撰ぶ法

人の婚姻をいはひまゐらせて

偉人の学校時代(二)

十一月(きさらぎ)

庖厨探險

清少納言

母と幼な子

幼稚園案内

幼稚園の遊戯(其二)

各地の手鞠歌子守歌

珠鶏の話

牧羊

松村ひさ

ふみ子

松本孝次郎

ひさ子

久永童山

つねを

米峰

石井泰次郎

て

富士の舎

つねを

東基吉

松村久子

久永達倫

雜報

編輯局より○桜蔭会発会式○教育青年会の創設○日用惣菜料理部創設○河原操子氏の消息○各国児童生活博覧会○新刊紹介○会報

第三号

子ども

生命の水

賢い答

象のお話し

室内お遊び

そろもんのちゑ

福引き六つ

考へもの一つ

婦人と子ども

母の權威

婚姻の要件

気管支加苔児の話

子供のおもちや

禁煙のすゝめ

谷川清 S、川生 S、子生 S、吉子 S

黒沢登幾子伝補遺

明治廿八年の大勝利割烹号外

和歌三首

折にふれて

折にふれて外一首

出征の前夜外三首

雪の梅

よろこび

一ノ組保育誌

幼稚園の遊戯(その三)

雜報

○女子高等師範学校○女子學術講習會○那成國の割烹教授○新刊紹介○会報

第四号

子ども

生命の水

いそぶ物語

象のお話し

日露戦争福引

下村三四吉 石井治兵衛 石井泰次郎 読人しらず 田鶴子 和歌子 ひむかし すみれ 野口幽香 ふみ子 松村ひさ

笑話

背の高さと鉄砲丸

婦人と子ども

嗚呼我が幼児の友.....牧 羊

家庭教育と幼稚園.....東 基 吉

片田舎の女教師になりける人に代りて.....佐々木信綱

爐辺.....同 人

婚姻の要件.....鈴木毅一

割十二月月.....石井泰次郎

子供のおもちや(その三).....ひ さ 子

偉人の学校時代(三).....米 溪

一の組保育誌(つゞき).....ふ み 子

幼稚園の遊戯(その四).....松村ひさ

雑 報

女子高等師範学校○編輯局より○会報○会員名簿

第 五 号

子ども

鬼中佐

水雷のお話

小学校の茶話会

いそつぶ物語

閉塞隊勇士の行状

婦人と子ども

盲啞教育の起源.....小西信八

幼稚園.....正 臣

同.....葉 静

今年の春某幼稚園の祝意に連りて.....千 秋

女教師の心つくしを思ひやりて.....佐々木信綱

海のあなた.....小林つねを

旗とり遊び.....谷川 清

婚姻の要件.....松村ひさ

幼児の友としての動物.....故飯島八千溪

耳漏の注意と予防法.....平岩学洋

木綿漂白新法.....石井泰次郎

料理詞.....下村三四吉

黒沢登幾子伝補遺(完結)

雑 報

女子高等師範学校○保母養成所○会報

第六号

子ども

金州丸

いそつぶ物語

戦争のお話

面白い問答

法螺国通信

考へ物

婦人と子ども

英国倫敦のフレイベル会

和歌六首

新樹の蔭に佇みて

友に答へて

児童の個性

幼稚園保育法を読みと

ワーナー氏の言葉と子供死亡の割合

割十二ヶ月

家庭に於ける所感

さまざま

偉人の学校時代

河野清子嬢よりの書状

唱歌と動作

幼児の理想

小児に関する取調

陣中佳話

フレイベル会俳句募集

雑報

女子高等師範学校○日本音楽会○音楽学校春期演奏会○会報

第七号

子ども

新鬼が島征伐

いそつぶの話

馬の話

一口話

考へものゝ答

犬のお家

婦人と子ども

ひらいはとしただ

米

溪

幼稚園保育の効果につきて.....牧 羊

婦人と迷信.....市川 源 三

よき家庭.....う ば ら

家庭に於ける所感.....飯塚 忠 次 郎

割十二月月附録季節料理.....石井 泰 次 郎

貞一の日記.....そ の 母

決死隊.....佐々 木 信 綱

青葉集.....其 子

フレーベル会俳句端書集.....塩 野 奇 零

一の組保育誌.....ふ み 子

女子高等師範学校附属幼稚園分室.....東 基 吉

市川君に.....

雑 報

○女子高等師範学校○大日本女子教育会○大塚音楽会○新刊紹介○会報

第 八 号

子ども

鉄橋破壊.....やまとの翁

いそつぶ物語

お笑ひ草

婦人と子ども

家庭の音楽.....牧 羊

氣質について.....松本 孝 次 郎

自然物の色.....か は む ら

割烹.....石井 泰 次 郎

略製アイスクリームの作り方  
略製スチューネックスの作り方

家庭に於ける所感.....飯塚 忠 次 郎

雑感.....平 岩 繁 治

和歌七首.....佐々 木 信 綱

滝廉太郎の君の一週忌に.....東 く め 子

松島に遊びて紅蓮女が事を思ふ.....小 林 雨 峯

フレーベル会俳句端書集.....塩 野 奇 零

海水浴に就て

貞一の日記.....そ の 母

女子高等師範学校分室

市川君の批評に答ふ.....東 基 吉

雑 報

○大阪市保育会○会報

第九号

子ども

真の勇者

猿と左官

愛馬主を救ふ

教を守って斃れた犬

お話三つ

怠惰者のおいのり

婦人と子ども

慎教鏡といふ書物をよみて

牛乳検査法

貞一の日記

松方伯海外貯金の話

家庭に於ける所感

亜米利加の女権

雑感

馬鈴薯各種調理法

フレーベル会俳句端書集

歌七首

修善寺に遊びし折

国風と布引の滝

金の亜米利加

松川浦に遊ぶ

大阪みやげ

宮城県保婦養成所

摩天嶺の花

ダルニーの物価

軍人の幼児救護

紫鉛筆使用の禁止

会報

第十号

子ども

お隆さんの手柄

黒木大将と英吉利の子供

英吉利の子供の恤兵

さるとかどみ

てまらうた二つ

いそっぶの話

東くめ子

米 溪

小林雨峯

東 牧 羊

桑田良隆

林天然

林 天 然

桑田良隆

林天然

林天然

林天然

林天然

林天然

林天然

林天然

林天然

林天然



考へもの三つ……………近藤登喜子

婦人と子ども

賢夫良父の教育……………牧 羊

戦場の満足……………林 天 然

或夜音楽的の小集にもして……………す み れ

えびかづら……………す み れ 会

フレイベル会俳句端書集……………塩 野 奇 零

信州の秋……………小 林 雨 峰

冷水養生……………冷 水 養 生

小児の変死につきて……………小 児 の 変 死 に つ き て

子供のお守り……………子 供 の お 守 り

貞一の日記……………貞 一 の 日 記

割烹……………割 烹

家庭に於ける所感……………家 庭 に 於 け る 所 感

世界最高齢の婦人の死去……………世 界 最 高 齢 の 婦 人 の 死 去

第十一号

巻 首

ニューカッスルの幼稚園

子ども

兵卒フリップ

いそつぶの咄し

賀陽宮殿下の御作文

考へものゝ答

附属小学校運動会の記

婦人と子ども

安逸の教育実況……………安 逸 の 教 育 実 況

子供の家庭教育……………子 供 の 家 庭 教 育

割烹……………割 烹

家庭に於ける所感……………家 庭 に 於 け る 所 感

武田錦子君の女子教育談……………武 田 錦 子 君 の 女 子 教 育 談

高橋章臣

ミス、ハワード

石井泰次郎

飯塚忠次郎

飯塚忠次郎

飯塚忠次郎

飯塚忠次郎

飯塚忠次郎

飯塚忠次郎

飯塚忠次郎

飯塚忠次郎

飯塚忠次郎

飯塚忠次郎

飯塚忠次郎

飯塚忠次郎

フレーベル会俳句端書集

塩野奇零

小供の家庭教育

ミス、ハワード

信州の秋

小林雨峯

貞一の日記

その母

幼稚園案内

東基吉

割烹

石井泰次郎

女子高等師範学校附属幼稚園分室報告

家庭に於ける所感

飯塚忠次郎

日本の幼稚園

各宮妃殿下御歌

濠州ニュー、カツスルの幼稚園

秋の夜

東くめ子

附属高等女学校運動会

和歌

湯川たき子

新刊紹介

同

志田ナカ子

会報

はちす葉

すみれ会

第十二号

フレーベル会俳句端書集

塩野奇零

子ども

新聞紙に見えたる子供の記事

兵卒フリッツ

菜食の功

花買りの遊び

編集局より

亜米利加の子どもからの手紙

新刊紹介

虎の子と鬼の子

会報

絵とき五つ

婦人と子ども

幼児期の衛生と理想の幼稚園

東基吉訳

育児と暗示

太田竜東

第五卷

第一号

卷首

外人の見たる日本幼児の海軍思想養成

子ども

蛙と指環

正月のお遊び

お多福の集会

音楽会

婦人と子ども

第五歳を迎ふ

外人の見たる日本幼児の海軍思想養成

家庭とは何ぞや(答を募る)

小児の病気に つきて

貞一の日記

家庭に於ける所感

若葉籠

割烹

新年歌

新年山

夜の思

フレールベル会俳句端書集

ハイクラツソル

白菊

保育者のため

行進遊戯につきて

予が幼稚園

神戸出征軍人遺族児童保管所実況

大阪の保育界

会報

第二号

子ども

けだもの会議

勇ましい少女

嗅き当てる法

其子

石井泰次郎

後子

東基吉

林寿祐

塩野奇零

ヒライハガクヨ

スミレ会

中村五六

市川源三

榎本常

やまとの翁

太田竜東

軍服の色

お多福会

婦人と子ども

小児の虚言につきて

家事経済学原理

貞一の日記

辻占のお菓子

家庭に於ける所感

みの字づくし料理

ラインスの歌

甲府に行く道にて

鶯

蕙

フレール会俳句端書集

道すがらの感

家庭とは何ぞや

保育者のため

幼稚園案内

雑報

新刊紹介

林天然

第三号

会報

子ども

けだもの会議

春三と「赤」

和藤内の遊び

勇ましい少女

婦人と子ども

幼児依託所

子どもの病気につきて

割烹

家庭教育所感

貞一の日記

ありのまゝ

六花紛々

雪つふで

俳句披露

家庭とは何ぞや

読書の栞

やまとの翁

おききな

おききな

おききな

おききな

おききな

おききな

おききな

おききな

おききな

おききな

おききな

おききな

おききな

おききな

おききな

おききな

河野嬢よりの書面

九州地方の状況……………久保やま

仏国婦人の夜業

会食中の談話

婦人と齒

保育者のため

幼稚園の遊戯……………松村ひさ

大阪市の保育界……………しつ報

雑報

会報

### 第四号

子ども

駱駝追ひ……………やまとの翁

お話大臣……………太田英隆

指輪の遊び

潮干とさゞえ

たんぼ

君さんの摘み草……………太田竜東

婦人と子ども

家庭幼稚園……………牧羊

家庭とは何ぞや(答案披露)

故郷……………小林雨峯

婦人と親族法……………太田英隆

貞一の日記……………その母

割烹……………石井泰次郎

フレーベル会俳句端書集……………塩野奇零

家庭に於ける所感……………飯塚忠次郎

子供のはなし……………和田蔵

保育者のため

附属幼稚園分室報告……………附属幼稚園

幼児の遊戯……………松村久

保姆の読むもの沢山ある……………岸辺福男

読書の栞

小公子

会報

第五号

子ども

駱駝追ひ

お話大臣

いそつぶの話

貝の運動

動物の保護色

婦人と子ども

総会の辞

フレール先生の臨終

家庭の躰

長命の法

貞一の日記

割烹

婦人と親族法

俳句端書集

山吹

愛国婦人会総会の記

九州地方の状況

やまとの翁

太田英隆訳

おきな

高嶺会長

東基吉

太田竜東

その母

石井泰次郎

太田英隆

塩野奇零

林天然

紫波ゆかり子

久保やま

流水日記

東京の手毬歌

紀州の手毬歌

保育者のため

幼稚園に於ける自然研究

読書の葉

日本魂雄

会報

第六号

子ども

蚕豆と赤石

鳥の智慧

お話大臣

ありとはと

むしのごゑ

懸賞考へ物

婦人と子ども

小林雨峰

平山ひさ

幼児個性の觀察法及取扱法につきて……………松本孝次郎

子供と間食……………ひむかし

貞一の日記……………その母

婦人と親族法……………太田英隆

割烹……………石井泰次郎

孤灯独語録……………独語子

愚感一束……………平岩繁治

フレーベル会俳句端書集……………塩野奇零

薩摩守忠度……………林天然

保育者のため

幼稚園に於ける自然研究……………平山ひさ

井上博士の幼稚園談

雑報

幼稚園 保育法 夏期講習会 ○京北幼稚園 ○足立孝子の名著

会報

第七号

子ども

小さい別嬪さん

左甚五郎の嵐

一休のおはなし

魚の感謝状

婦人と子ども

保育法講習会……………牧羊

幼児期の保育につきて……………日向志

婦人と親族法……………太田英隆

莓と夏密柑……………石井泰次郎

笑顔の力……………

麻疹のはなし……………

読書の菜

泰西女訓

枯草

明治の家庭

短歌募集……………みどり短歌会

団楽……………真宮起雲

俳句端書集……………塩野奇零

狂言(附子)

金魚物語……………雨峯

孤灯独語録……………独語子

保育者のため

幼稚園に於ける自然研究……………平山ひさ  
会報

第八号

子ども

小さい別嬪さん

石屋の槌造

蛙になれ

懸賞考へもの披露

孤のちえ

婦人と子ども

女の嗜……………牧羊

実験上の育児法……………瀬川昌著述

貞一の日記……………その母

婦人と親族法……………太田隆東

子供の健康と菜食

子供に絵をお上げなさい

そろもんの箴言

西洋料理筆記の一節……………石井泰次郎

女学生と小説

海水浴につきての注意

結婚に関する親説

幼児の衛生につきて二三語

子供の泣き方につきて

俳句端書募集

短歌募集

平和

読書の栞

家庭  
教育 絵はなし○なぐさめ草○軍人慰問○親鸞聖人

保育者のため

遊戯につきて……………松本孝次郎

東京便り

会報

第九号

巻首

保育法夏期講習会々員



子ども

小さい別嬪さん.....やまとの翁

日露戦争と動物.....林天然

不思議な物語.....太田竜東訳

婦人と子ども

実験上の育児法.....瀬川昌耆口述

婦人と親族法.....太田英隆

貞一の日記.....その母

子供の不思議.....沼田笠峰

フレール会俳句端書集.....塩野奇零

短歌募集.....みどり短歌会

戦場の断腸.....林天然

老人物語.....雨峰生訳

憐れな花売娘.....村田錦葉

東京便り

第十号

巻首

たのしき家庭

子ども

金次のおはなし.....やまとの翁

不思議な物語.....太田竜東訳

鼠の知慧.....平岩繁治

子供の夏休.....おたふく

婦人と子ども

子どもの特性につきて.....尾田信忠

実験上の育児法.....瀬川昌耆述

元禄料理の一節.....石井泰次郎

西洋の女と日本の女との相違

婦人と親族法.....太田英隆

貞一の言葉.....その母

女学生の風儀.....柳桃子

天草洋.....かつら子

のこりの薔薇.....同

かの灯火は.....雨宮起雲

短歌.....真宮起雲

知歌.....桑田良隆

俳句端書集.....塩野奇零

新形西洋前掛.....村田亀子

新刊批評

我家の新家庭

牧 羊

子どもの特性につきて

尾田信忠

保育者のため

実験上の育児法

瀬川昌者口述

習慣につきて

和田蔵子

貞一の日記

その母

二葉幼稚園の状況

同園報告

松茸料理の一節

石井泰次郎

私仙台幼稚園

立花せん

交際につきて

吾妻

雑報

婦人と親族法

太田英隆

第十一号

知歌募集及披露

真宮起雲

巻首

俳句端書集

塩野奇零

これはお前に上げようね

同窓会

小林雨峯

子ども

桑港のわびすまる

と し 子

金次のはなし

やまとの翁

第十二号

東一の手紙

会報

東京保母養成所に於ける  
沢柳局長及岡事務官の演説の概要

いそつぶのはなし

巻首

附風幼稚園の庭園

不思議な物語

太田竜東記

考へもの

子ども

四つの願(お伽噺).....やまとの翁

婦人と子ども

子供の特性につきて.....尾田信忠

子供の教育.....リチャードソン嬢述

実験上の育児法.....瀬川昌者君述

臨時客来料理.....石井泰次郎

貞一の日記.....その母

子供の涎掛.....村田かめ子

婦人と親族法.....太田英隆

短歌.....真宮起雲

俳句端書集.....塩野奇零

桑港のわびずまひ.....敏子

新刊案内

母のみやげ

我子の養生

先世

霊火

保育者のため

幼稚園幼児の机腰掛とその並べ方.....東基吉君談話

幼児に適切なる談話の種類及其教的価値.....女子高等師範学校調査

遊園の設備.....同上

会報

第六卷

第一号

卷首

子らの中に立てる母

子ども

白い雀

子供の新体詩

婦人と子ども

邦人の四大欠点と子供の教育

子供の教育と自然物

実験上の育児

新年の重話

お正月と子供の教育

子供の玩具

電車と子ども

貞一の日記

子どもらのはなし

俳句端書集

漁夫

雪の夕

あめりかのうらだな

幼稚園と家庭

幼稚園から家庭へ望む事ども

幼児への談話の仕方

雑報

懸賞募集○神戸通信○新刊紹介

会報

第二号

卷首

お年玉

子ども

金の手斧

なにに?

記者

塩野奇零

雨峯生

胡山人

朝露生

東基吉述

和田実

やまとの翁

尺秀三郎

竹島茂郎

瀬川昌著

石井泰次郎

東基吉

同

あづま

その母

やまとの翁

婦人と子ども

ウエルズレーの三家庭……………岡田光子

幼児の陶冶性を培養す可し……………和田実

実験上の育児……………瀬川昌著

春の料理……………石井泰次郎

子供ねまき……………村田かめ子

婦人と親族法……………太田英隆

忙中閑語……………熊田露泉

上等の生活と下等の生活 在米國……………朝露生

貞一の日記……………その母

幼稚園と家庭

談話と手技との結合……………和田実

適材教育と幼稚園……………伊沢修二

幼児品評のいろく

質疑応答 数件

雑報

○ヘスタロッチ記念会○女子大学附属幼稚園○精華小学校附属幼稚園○託児場設立の計画○東北凶歉救済の檄○東郷大将記念会○新年の雑誌界○新刊紹介

会報

第三号

子ども

ダイヤモンドと蛙……………倭の翁

退屈しのぎ……………ひさ子

四つの銅像……………太田竜東

婦人と子ども

子だから……………東牧羊

忙中閑語……………天紅

実験上の育児……………瀬川昌著

幼稚園の保育と家庭の保育……………和田実

婦人と親族法……………太田英隆

靴屋の子ども……………米溪

貞一の日記……………基母

述懐……………豊洲

短歌……………真宮起雲

俳句……………塩野奇零

時雨日記……………おさん

保育問答

本誌革新の辭

上流社会に於ける幼稚園の必要

心のかくれば

日の本の奥さまがたへ

子供の日記につきて

思ひ出したるまゝを

貞一の日記

実験上の育児

今時の婦人

昔の玉子料理

新形西洋前掛

治まる御世

短歌

俳句

保育問答

林吾一氏談

野口ゆか

アメリカの下女

東基吉

岡田みつ子

その母

瀬川昌著

天紅生

石井泰次郎

村田かめ子

豊州芙蓉

真宮起雲

塩野奇零

○女子高等師範学校彙報 ○幼稚園の理想的建物 ○女子の詩文を募る ○米國の教育寄附金 ○漸式安全フランコ ○お伽講話會 ○我國に於ける死産児 ○學校の塵埃 ○家婢教育 ○感すべき英國婦人 ○動物愛護會 ○女子高等師範の保育実習科 ○女子高等師範の卒業式 ○フレール會彙報

切のないお話

やまとの翁

春の野

宮川春江画

婦人と子ども

子供と春の自然界

牧羊

女子教育所感

井上哲次郎

女子教育と人生観

三輪田元道

女子の修養に就きて

下田歌子

家庭教師

中村五六

笑ひ方

下田次郎

貞一の日記

その母

実験上の育児	瀬川昌者
春の野遊	豊洲
短歌	真宮起雲
俳句	塩野奇零
うんどう会	鶴齡
煩悶のお菓 <small>おなご</small>	鈍子
端午の茅卷代り	石井泰次郎
婦人と親族法	太田英隆
桑港より	幼
学校幼稚園のため	
学校と幼稚園とに於ける管理の原則	町田則文
雑録	
会報	
子ども	
うだつは上らないよ	豊子

婦人と子ども	
婦人と子ども	
子供の画	牧羊
教育所感	元良勇次郎
女学生風紀問題	東基吉
婦人問題と男女交際	西山抵治
理想の家庭と子女の教育	芙蓉生
貞一の日記	其母
実験上の育児	瀬川昌者
同胞	露子
短歌	真宮起雲
俳句	塩野奇零
婦人と親族法	太田英隆
幼稚園のため	
保育法の研究に就て	中村五六
雑録	
新刊批評	
世論一般	
子ども	

風船虫

福鼠宝の山入

第七号

卷首

瑞典式体操

婦人と子ども

家庭幼稚園

方今の女子問題

幼稚園に対する意見

同

御土産と子ども

婦人と職業

新夫婦の理科問題

家庭衛生及医術上の心得

貞一の日記

実験上の育児

短歌

俳句

手軽料理覚帳

小児改良服.....岡本ちか子  
婦人と親族法.....太田英隆

雑録 数件

会報

子ども

おにばす

春子と夏子

第八号

卷首

自然の友

婦人と子ども

家庭と蔬菜栽培

小児の救護事業

暑中休暇と家庭

同

嘘の価値

子供と浮和雷動

記 豊子

牧 羊

下田次郎

黒田定治

中村五六

巖谷小波

芙蓉生



新夫婦の理科問答……………本郷生

齒の衛生……………某郷生

実験上の育児……………瀬川昌著

短歌……………真宮起雲

黒子と笑顔……………朝露生

アメリカの長松……………朝露生

淀橋浄水工場……………一幹事

雑録 数件

子ども

花ちゃん……………芙蓉

お祖父様の肖像……………芙蓉

カンニトフェルスタント……………豊子

第九号

巻首

陸しき眷族

婦人と子ども

婦人と成功……………湘南

現今の風紀問題に就て……………東基吉

選夫選妻の説……………温香堂主人

贈送につきて……………あけぼの

実験上の育児……………瀬川昌著

子を持てる親方への注意……………わたなべ

遠く慮りて近く行へ……………湘南漁子

幼児に課する遊嬉の種類……………芙蓉生

新夫婦の理科問答……………本郷生

割烹……………石井泰次郎

割烹用前掛……………岡本ちか子

掃除の方法……………竹中成憲

アメリカの寺小屋……………朝露生

雑録 数件

子ども

お日さま

福蔵と貧助……………硯山人

慾ばつた罰……………弥彦

第十号

雑録 数件

巻首

新刊紹介 数件

独逸皇室の家庭

写真版

子ども

婦人と子ども

三人兄弟  
もみぢ

わたなべ  
ゆき子

子どもと秋の自然界

牧羊

幼児教育の特色

和田実

通信事務

湯浅観明

実験上の育児

瀬川昌著

婦人と親族法

太田英隆

巻首  
王様の御通り

写真版

短歌

真宮起雲

婦人と子ども

俳句

塩野奇零

幼児教育と自然主義

湘南生

短篇小説「秋」

堀内新泉

日本の家庭と英国の家庭

宮川寿美子

朝の西洋料理

石井泰次郎

音楽管見

山田源一郎

ずん子

朝露生

下婢と児童

東基吉

名士の家庭

太田竜東

実験上の育児

瀬川昌著

学校と幼稚園

閑人

一つ身袖無被布

岡本ちか子

恩物管見

閑人

知篇小説「小春日」

堀内新泉

りつとあざよ

朝露生

此頃の料理……………石井泰次郎

俳句……………塩野奇零

婦人と親族法……………太田竜東

名士の家庭……………竜東生

雑録 数件

子ども

よわ虫太郎……………弥彦

第十二号

巻首

何うなることやら……………(泰西名画)

婦人と子ども

時計の歌……………山田源一郎

火無し竈……………近藤耕造

日本の音楽……………市村富久

某博士の家事経済……………竜東逸人

育児談……………瀬川昌耆

子供の憶病につきて……………松本孝次郎

三ッ身被布……………岡本ちか子

料理のいろ……………石井泰次郎

俳句……………塩野奇零

短歌……………堀内新泉

家庭小説「小春日」……………西山拓次

米国の男女混合教育……………太田英隆

婦人と親族法……………

雑録 数件

○女子高等師範学校彙報○家庭教育万国委員会○冬期講習会○万国教育会議  
規程○女工教育の成績○東京市歌募集○七五三の祝と子供の服装○楽器の輸出増加○東京保母養成所春鳥会講習所新築○大阪市の女教員○女医受験の好成績

新刊紹介

図書と子ども

子ども

蟻の話……………小柳雪子

第七卷

第一号

卷首

婦人と子ども

英国の新年.....宮川寿美子

学校教科以外の課程.....三輪田元道

樺太所感.....神保小虎

婦人と親族法.....太田英隆

幼児は如何に躡く可きか.....笹野豊美

三輪田真佐子刀自の家庭.....竜東居士

短歌.....

料理.....石井泰次郎

お伽笑話「五重の塔」.....小寺弥彦

家庭小説「梅屋敷」.....堀内新泉

雑録 数件

○女子高等師範学校彙報○井上通女遺徳表彰式○女学校の教員養成科○女学

名家の言論

第二号

卷首

奉祝紀元筋絵はがき

愛犬

婦人と子ども

奉祝紀元筋

家庭に於ける諸儀式

カレーとシチウ種の実験

素人診断学の必要

模範の家庭日課

撃水余韻

現代婦人の一大欠点

米国の小学校

結婚と其時期

火の要らぬ炬燵を見る.....なにがし

校卒業者と其学力○家政研究会○巴里の幼児倶楽部○八十才の大学生○競馬  
賭博と学生○一夫一婦と天理○戦後の勞銀○冬期と室内の空氣○高等教育會  
議○富豪の公供事業

ホーヘンリンデン会戦の詩

保育局外観

四五才小児の廻はし

料理

家庭小説琵琶の秘曲

お伽訓話不思議の裁判

編輯記事

懸賞募集

### 第三号

巻首

音楽

婦人と子ども

子供のいたづら

婦人の幸福

理想の母親

家庭に於ける諸儀式

音楽と家庭

入浴上の衛生

篁

田代勝之助

岡本ちか

石井泰次郎

堀内新泉

あづま

(泰西名画)

子供の早熟

笑顔の力

婦人と親族法

台所の改良

在米日本婦人

短歌

此頃の料理

真似方料理

お伽猫なし村

愛らしのカール

亜米利加よりの私信

旅の道草

### 第四号

巻首 総領むすこ

本誌の本領

嫁と姑

将来の家事教科

家庭に於ける諸儀式

米国東方の幼稚園

家庭保姆の選択

和田実

孤蓬生

太田英隆

道子

西山拵治

石井泰次郎

もと子

硯山人

つる子

幻子

旅の道草

記にがし者

宮川寿美

若林幾造

後閑菊野

甲賀藤子

中村五六

おはなし……………筑紫の媼

「火無し籠」の実験……………本郷生

ナポレオンの母……………孤蓬生

温泉に就きて……………新免義男

自然界と保育……………畔柳銀子

割烹……………石井泰次郎

婦人と親族法……………太田英隆

四つ身被布……………岡本ちか子

お伽話 パンを粗末にはいきません……………硯山人

不思議なおみやげ……………とよ子

雑録……………とよ子

### 第五号

巻首挿画「お手つだい」

いぬる児……………孤蓬 訳

家庭の諸儀式……………後閑菊野

小児の発熱……………瀬川昌著

欧米在留中の所感……………斎藤清太郎

幼稚園に於ける觀察的誘導……………中村五六

幼稚園新入幼児の取扱方につきて……………つる子

海水浴につきて……………新免義男

都会と田舎の女学生……………奥田高子

美顔術に就きて……………宮川北洲

総会雑感……………東基吉

迷ひ子……………朝露生 訳

割烹……………石井泰次郎

俳句……………塩野奇零

五頭のさなだ虫……………弥山 彦

太郎と犬……………硯山人

雑録……………硯山人

編集記事……………硯山人

### 第六号

巻首……………あせたる董

あせたる董……………孤蓬 著

小供の胎毒……………瀬川昌著

保母の注意すべき事項……………中村五六

美顔術につきて……………肥の防人

火無し籠の実験……………本郷生

幼児の脳及身体……………孤蓬 生

よしなし草……………東牧羊

幼児の摸倣的遊戯……………和田実

更衣に就て……………新免義男

大陸のおさんどん……………フランク

雪子と墨子……………春潮漁夫

金魚の話……………十時とし

雑録

新刊紹介

編集記事

会費領収

### 第七号

巻首

緑蔭……………孤蓬生

家庭と酒……………中村五六

如何に口をきくべきか……………孤蓬生

音楽と男女両性……………上原六四郎

いづれか真の幸福……………佐治実然

小児の睡眠……………湘南生

応募のお伽話と選択の標準……………新免義男

夏の衛生……………新免義男

夏の飲料……………新免義男

罰と小供……………新免義男

割烹……………石井泰次郎

和歌、俳句……………石井泰次郎

大陸のおさんどん……………フランク

「唯今」の夢……………硯山人

雑録……………硯山人

編集記事

会費領収

### 第八号

巻首挿画 欧洲最近の幼稚園

夏季雑吟……………塩野奇零

野の鳥と親心……………川口孫次郎

幼稚園へ子供を入れるに就いて……………東基吉

金銭に対する観念……………佐治実然

フレイベルの子守歌……………孤蓬生

印度の婦人……………ミス、シンド

小児の精神過勞……………アルフレッド、チユルニ

寄生虫病……………新免義男

気風……………新免義男

筑作文学博士の家庭……………門下生

料理……………石井泰次郎

夏の雨後……………孤蓬生

かくれた金貨……………よし子

豆と石……………乙女

第九号

日本女子に対する希望.....肝付兼行

奉天蒙養院.....河野衛

小児の下痢.....河野衛

幼児の体力的遊戯について.....中村五六

小供と金銭との問題.....和田実

子供の齒.....大屋要作

失敗せる改良籠.....白山生

割烹.....石井泰次郎

女学校に於ける家事科に就て.....河口愛子

女子と体育.....寺田勇吉

傘屋のおぢいさん.....硯山子

名家言論

第十号

育児法の誤謬.....篠田利英

幼稚園攻撃.....野尻精一

一般教育か特殊教育か.....和田実

お伽芝居に就て.....巖谷小波

鼠族駆除と家屋改造.....井上豊太郎

近視眼の衛生.....新免義男

粘土細工に就て.....藤五代策

猿と人間.....瀧の舎主人

照天姫.....硯山

第十一号

小学校より見たる幼稚園.....通藤未吉

家庭に於ける諸儀式.....後閑菊野

婦人の娯楽及教育に就て.....江原素六

幼稚園の教育.....中村五六

英国の家庭及婦人に就て.....宮川すみ子

野猪と組討ち狙討ち.....川口孫次郎

色の話.....藤五代策

割烹.....石川泰次郎

俳句.....塩野奇零

短歌.....真宮起雲

三つの答.....硯山人

董御殿.....とよ子

第十二号

子供は何んなもの.....中村五六

幼稚園の局外観.....川口孫次郎

保母となりし最初の一週間.....某教生



子供の我まゝ……………和田実  
色板排べに就て……………藤五代策

きつねの心理学……………川口孫次郎

幼児観察……………石井泰次郎

割烹……………石井泰次郎

雑録……………石井泰次郎

一口噺……………石井泰次郎

お伽宝袋……………白山生

### 第八卷

#### 第一号

初夢……………後藤ちとせ

家庭に於ける諸儀式……………後閑菊野

小供と大人……………加藤玄智

切貫細工に就いて……………藤五代策

幼児教育雜観……………白山生

保姆となりし最初の一週間……………某教生

狸学と文学……………川口孫次郎

春の料理……………石井泰次郎

狼と羊と白菜……………硯山人

不思議な薬……………硯山人

蚤びの話……………漁翁

#### 第二号

誤解せる種痘……………瀬川昌者

女学生墮落の遠因……………棚橋絢子

婦人の病氣……………某医学士

育児の経験……………光藤泰次郎

子供の遊戯の種類……………小出末三

幼稚園に於ける所感……………和田倉子

保母となりし最初の一週間……………某女

馬には乗つて見ろ……………川口孫次郎

此頃の料理……………石井泰次郎

婦人の剛徳……………塩野生

俳句……………塩野奇零

短歌……………真宮起雲

柿と栗との話……………なにがし

### 第三号

独逸に於ける幼稚園……………エム、ウイ、オツシ

教育の力……………吉田熊次

美……………笹岡芳名

育児の経験……………光藤泰次郎

保母となりし最初の一週間……………某女

教育者の楽しみ……………楽天子

記念の牛塚……………川口孫次郎

密柑の御料理……………藤五代策

此頃の料理……………石井泰次郎

美ちゃんの幼稚園観……………後藤ちとせ

雑録

鳥の話……………なにがし

機織り娘……………硯山人

### 第四号

話の種子……………下田次郎

歐洲に於ける幼稚園思想……………エム、シ、オツシ

保育論上に於ける根本的二思想……………和田実

育児の経験……………光藤泰次郎

如何にして美しく円満なる家庭は作らる可きか……………白山生

女子教育に就きて……………塩野生

読書の選択……………虚空子

此頃の料理……………石井泰次郎

記念の牛塚……………川口孫次郎

ウエレーとロイン……………エ、コツク

短歌……………塩野奇零

泳ぎの太郎……………なにがし

### 第五号

独逸に於ける幼稚園教育の状況……………乙竹岩造

児童の個性及取扱法……………松本孝次郎

実用児童学講義……………中村五六

遊戯とは何ぞや……………和田実

育児の経験……………光藤泰次郎

牛肉と魚肉……………二葉生

熱心なる母親の質問……………白山生

いなとほら……………川口孫次郎

湖畔記……………朝露生

短歌……………鈍子訳

雨の日……………鈍子訳

### 第六号

子供と音楽……………松本孝次郎

児童の個性及び其取扱法に就て……………中村五六

实用児童学講義……………川口孫次郎

家庭に於ける趣味の涵養……………光藤泰次郎

育児の経験……………和田実

玩具に就いて……………塩野生

統計学上の結婚……………石井泰次郎

此ごろの料理……………かはぐち

松魚釣り……………かはぐち

雑録数件……………おきな

粉屋の風……………おきな

何でも博士……………おきな

### 第七号

保育上に於ける自然主義の誤用……………榎山栄次

独米に於ける幼稚園……………中村五六

实用児童学講義……………虚空子

自治と愛情……………松本孝次郎

児童の個性及其取扱法……………光藤泰次郎

育児の経験……………雨峯生

都会は子供を育つるに都合よきか……………大元茂一郎

余がノート……………楽天子

人生の七時期……………朝露生

田吾作生活……………朝露生

### 第八号

児童の個性及び其取扱法……………松本孝次郎

幼児教育の方法に関する重なる理由とは如何なる……………和田実

ものなるか……………和田実

習慣の理法と幼児教育……………光藤泰次郎

成功の幼時……………楽天子

家庭に於ける趣味の涵養(其二)……………川口孫治郎

亀の児頂戴……………かはぐち

喜多方行……………川口得

おいしいお甘薯……………伴 茂 樹

第九号

無心の感化……………和田 蔵子

児童の個性及び其取扱法……………松本孝次郎

大器は晩成……………下田 歌子

児童の詐に就て……………尾田 信忠

子供をして労作を重んぜしむべし……………雨 峰 生

家庭に於ける趣味の涵養(其三)……………川口孫治郎

活動と元気の養成……………桑 天 子

余がノート(二)……………大元茂一郎

洗濯の仕方……………丸山 芳子

夏の月……………かはぐち

蒟蒻料理……………石井泰次郎

第十号

幼稚園の本領

児童の個性及び其取扱法……………松本孝次郎

頭の研究と教育との関係……………横山 栄次

幼稚園に於ける所謂共同的遊戯に就いて……………和田 実

都会の児童の長所と短所……………光藤泰次郎

育児の経験……………某 夫 人

花と気象との関係……………桑 天 子

此頃の料理……………石井泰次郎

短歌……………真宮 起雲

幼稚園の効果に対する質問に答ふ……………記 者

御伽 喋り王と喋べり亀……………と よ 子

第十一号

女教師問題と保姆……………湘 南 生

児童の個性及び其取扱法……………松本孝次郎

幼稚園問題……………和田 実

松平定信の半面……………雨 峰 生

育児の経験……………某 夫 人

再び幼稚園の共同遊戯に就て……………和田 実

音声と婦人の氣質……………桑 天 子

此頃の料理……………石井泰次郎

黄金の魚……………と よ 子

第十二号

奢侈を戒む……………下田 次郎

小児の顔貌……………三輪信太郎

小学校と幼稚園との関係……………大元茂一郎

児童の個性及其取扱法……………松本孝次郎

幼児の遊戯は如何に指導す可きか	後藤ちとせ
幼稚園問題に就いて	和田実
吾人の道往観	楽天子
指吉の話	硯山人

第九卷

第一号

新年を迎ふ	湘南生
幼児教育とお正月	和田実
小児のいさかひ	中村五六
父兄に対する希望	如柳子
教育上の所感	藤井利菅
幼稚園の特技と小学校の手工	藤五代策
幼児の遊戯は如何に指導す可きか	後藤ちとせ
婦人百話	楽天子
烈公の家庭教育	芙蓉子
子供と絵	野生司香雪
料理	久仁子
俳句	塩野喜零
短歌	真宮起雲
雑録	三件
お伽訓話「三つの願」	とよ子

第二号

冬の山里……………S K 生  
 我国に於ける幼稚園の特色……………和田実  
 二宮尊徳先生……………光藤泰次郎  
 父兄に対する希望……………如柳子  
 幼児の遊戯は如何に指導す可きか……………後藤ちとせ  
 婦人百話……………楽天子  
 玩具の撰び方……………中村五六  
 嬰兒の哺育……………R H 生  
 婦人と家政……………乗竹孝太郎  
 独逸に於ける学生給食法……………とよ子  
 お加童話「鈍太郎」……………とよ子

第三号

春の野遊……………豊子  
 幼稚園の前途……………寺田勇吉  
 幼稚園の課程に関する根本原則……………アールパーネス  
 幼児の唱歌は如何に取扱ふ可きか……………後藤ちとせ  
 玩具調査に関する研究報告……………大津幼稚園  
 吃りに就いて……………ドクトル、クノツブ  
 ミシン裁縫に就いて……………秦利舞子

占相……………なにがし

幼児笑話……………(数件)

短歌……………真宮起雲

お伽笑話「藁と炭と蚕豆」……………とよ子

第四号

保母合唱の歌……………細川潤次郎作歌  
 英国民の特色……………奥好義作曲  
 お伽噺を読ませる上の注意……………下田次郎  
 唱歌のうたはせ方……………巖谷小波  
 遊戯場の価値……………後藤ちとせ  
 惣菜料理……………楽天子  
 春の旅……………石井泰次郎  
 文苑……………千歳子  
 雑録……………肥塚南山外数名  
 お伽訓話「不思議の布呂敷」……………三件  
 第五号……………如柳子  
 会員諸君に告ぐ……………高嶺秀夫  
 婦人と子供……………下田次郎  
 英国に於ける児童虐待防止会……………吉田熊次  
 子供と談話……………後藤ちとせ

幼稚園に於ける幼児保育の実際	池田とよ
玩具研究に就て	和田実
此ごろの料理	石井泰次郎
春の旅(続き)	千歳子
お伽訓話「猫なしの国」	加藤貞子

第六号

沈着なる可きこと	それがし
幼児の教育機関に就て	寺田勇吉
童私に就て	高島平三郎
子供と談話	後藤ちとせ
幼稚園に於ける幼児保育の実際	某女史
主人と僕婢	楽天子
玩具店を開きて以来の余の感想	高市次郎
配布玩具の説明	和田実
お伽話「金の鴨」	とよ子
雑録	数件

第七号

卵の花	きをい生
子供の嘘言	倉橋惣三
幼稚園問題	和田実

小学校より見たる幼稚園	藤井利蒼
幼児保育の実際	某女史
嬢方の方針	某女
孤児教育の一斑	楽天子
此頃の料理	石井泰次郎
六月常会の記	記者
お伽話「小人の大助」	とよ子

第八号

水を喫て	小形楡郎
規則的運動の効果に関する実験	井口あくり
遊戯的手工とは何ぞや	和田実
幼稚園に於ける幼児保育の実際	某女史
愛情と子女の養育	楽天子
酒と烟草を家庭外に放逐す可し	湘陽生
蚊と蚤	神尾驥子
西洋美貌法の今昔	A. S. 生
玩具研究部記事	
最近玩具の紹介	高市次郎

第九号

光陰を惜しむ可し	貝原益軒
----------	------

子供の遊戯としての箱庭	野口ゆか
手技としての排べ方に就いて	和田実
能く話す父母の子は幸なりと云ふことに就いて	とみ子
個性の研究に就いて	湘陽生
拙著幼児教育法に対する批評に就いて	和田実
幼稚園より小学校へ入学したる児童の實際生活如何	藤田東洋
玩具研究部配布玩具の説明	一記
玩具の使用法	丁生
此頃の料理	石井泰次郎

第十号

十七字詩	塩野奇零
家庭問題の眼目	下田次郎
十年前後の女子は男子の様に育てる	河島右一
飛んだお客様	如柳子
徳育に就いて	楽天子
小児に玩具を持たせぬ主義に就いて	湘陽生
幼稚園問題に就いて	藤田東洋
幼稚園出身児の成績に関する調査に就いて	和田実
美貌に就いて	S、U生
此頃のお料理	石井福子
配布玩具の説明	記者

家庭と育児	原胤昭
-------	-----

第十一号

一年の好節時	徳富蘇峰
幼稚園出身者の成績に就いて	和田実
幼稚園改良案	藤田東洋
都会に於ける小児保育上の注意	雨峰生
如何なる児童が取扱に骨が折れるか	峰間信吉
母としての実験談	金森夫人
第一期の家庭教育	塩野奇零
人間の匂ひ	本郷生
如何にして美人となるか	桑田芳蔵
配布玩具説明	記者
雑録	記者

第十二号

明治四十二年を送る	寺田勇吉
家庭と学校	和田実
遊戯的手工の積方に就いて	和
幼稚園の保育を終りたるものと家庭より直に入学したるものとの小学校に於ける成績の比較	笹野豊美
育児実験談	光藤泰次郎



個人主義の弊	塩野奇零
子供の健康を図ること	光藤夫人
産時の思ひ出	某女史
医師の選択に就きて	母
小児消化不良症の話	内海静一
お伽腰折れ雀	とよ子
雑録	教件

第十卷

第一号

母親	下田次郎
三越呉服店に於ける玩具展覧を観る	和田実
子供と活動写真	倉橋惣三
家畜の訓らし方を見て	芙蓉生
種痘の心得	S K 生
冬期と病氣	前田実
羽子板の話	湘南生
保母の修養	寒月生
子供の健康を図る事	光藤夫人
此頃の御料理	記者
智恵の種子	同
雑録	同
お伽相話 五色の鹿	とよ子

第二号

大人と子ども	倉橋惣三氏談
米国の婦人と子ども	巖谷季雄氏談

白痴と子供……………井上亮一氏談

来宮に対する時……………佐方しづ子氏談

虚弱児童の鑑定……………伊藤氏談

子供と感冒予防……………瀬川昌耆氏談

母親への戒め……………白山山生

徳育の開発につきて……………光藤夫人

寄綴の仕方……………上村百代女子談

此頃の御料理……………記者

智恵の種子……………同

雑録……………同

お伽 不思議な白……………とよ子

### 第三号

児童と金銭……………黒田定治氏談

幼稚園に就きて……………佐々木吉三郎氏談

子供の憶病……………倉橋惣三氏談

宗教は家庭の中心……………高橋順次郎氏談

室内の装飾……………吉田博氏談

智力の発達を図る事……………光藤夫人

マニラの話……………小寺みさを

此頃の惣菜……………記者

智恵の種子……………記者

雑録……………記者

お伽 太郎の豆……………鈴木たま

### 第四号

十七字詩……………無一庵奇客

室内の装飾……………下田次郎氏談

英国人の家庭……………宮川寿美子氏談

児童と金銭……………鳩山春子夫人談

家庭の感化……………江原素六氏談

感情の教育……………楽天子

薬箱……………記者

学齡児童と父兄……………弘田医学博士談

保育叢話……………光藤夫人

遊戯的手工指導法……………和田実

料理のいろく……………記者

お伽 玉の靴……………とよこ

### 第五号

重ね写真に就いて……………坪井正五郎

習慣の話……………上野陽一

新入学児童……………藤井利誉

支那の婦人と子供に就いて……………法貫夫人

倫敦の母学校……………田中太郎氏談

保育叢話(承前)……………光藤夫人

家庭に於ける花壇……………東京農事試験場技手談

小鳥の話……………磯川生

お伽 訓話 不思議の火打石……………硯山人

第六号

清国婦人と子供(承前)……………法貞慶次郎氏夫人

痲痺に就て……………瀬川昌者氏談

日本婦人の姿勢……………田代義徳氏談

児童に対する尊敬……………キング博士演説

婦人と園芸……………記 者

保育叢話(承前)……………光藤夫人

天竺牡丹の栽培法……………千葉晚香氏談

金魚の飼ひ方……………記 者

御伽訓話……………久保田米齋氏談

第七号

幼児の歯に就いて……………奥村鶴吉

保育叢話(承前)……………光藤夫人

子供の想像……………倉橋惣三氏談

小児と冷水摩擦……………三輪信太郎氏談

家庭と和歌……………佐々木信綱

日本婦人の不行義……………北里柴三郎氏談

眼の養生……………一 記 者

洗濯の仕方……………一 記 者

お伽 訓話……………記 者

第八号

幼児の遊戯に就て……………倉橋惣三氏談

子守の心得……………楽天子

保育叢話……………光藤夫人

一独乙人の見たる日本……………磯川生

マニラの話……………一 記 者

レントドンストラレンの話……………Y K 生

雑録……………一 記 者

御伽訓話……………記 者

第九号

幼児の遊戯に就て……………倉橋惣三氏談

向上的修養……………中島徳藏氏談

保育叢話……………光藤夫人

逝けるナイチンゲール嬢……………記 者

バイオリンの話……………磯々生

虫の色々……………記

動物園の彩色……………記

乳媼の選択……………記

婦人の服装……………田代義徳氏談

御料理……………みさを

雑録……………一記

御伽訓話……………記

第十号

日本人の覚悟……………記

女子と時代病……………新渡戸稻造

西洋の小児と日本の小児……………高島平三郎

家庭の改善……………寺田勇吉

保育叢話……………光藤夫人

脂肪の話……………記

マニラの話……………小寺みさを

スープの話……………とよ子

雑録……………記

御伽訓話……………久留島武彦

第十一号

感化誘道……………記

阪神地方の保育界を見る……………和田実

自然物を材料とせる子供遊びのいろく……………B O 女

子供と両親……………奇山人

婦人の節操……………楽天子

保育叢話……………光藤夫人

女に剛徳養成の大切なる事……………記

中村敬宇先生の母……………記

第十二号

雑録数件……………記

道……………尾藤二洲

女学生と結婚……………武谷等氏談

感じたるまゝ……………楽天子

人となれ……………Y K 生

保育叢談……………光藤夫人

虫歯の原因……………記

薔薇の話……………磯川生

此の頃の御料理……………記

雑録数件……………記

第十一卷

第二号

第一号

家庭と子供の躰け	中川謙二郎
早蕨幼稚園の保育	久留島武彦
関西の保育界を見る	和田実
幼児の笑顔	源良英
みかんの話	保井この
松の話	礫川生
保育叢話	光藤フデ
保育の実際	
種子の採集	野口幽香
毎朝のお話	山下つや
体育と衛生	鈴木まさ
机辺だより	倉橋惣三
クラーク大学の児童研究事業	
タンネル氏の「保育上の三注意」	
バルマー氏の「保育法の基礎としての発達の原理」	

保育研究の急務	中川謙二郎
注意の話	元良勇次郎
保母の家庭訪問	甲賀藤子
小児の伝染病に就て	唐沢光徳
保育法改良上の要点	和田実
野猪の話	平島権蔵
保育の実際	
保育座右の銘	宇式かん
山国の幼稚園	勝村春枝
強い子弱い子	松田清
机辺だより	倉橋惣三
心理学の参考書に就て	
ヒル氏の「幼稚園唱歌」	
雑録	
新刊紹介	
第三号	
幼稚園に関する諸問題(一)	佐々木吉三郎
幼稚園の任務	
注意の話(承前)	元良勇次郎

摘録  
雑報

自己活動の原則に就て……………和田 実

小児の伝染病(一)……………唐 沢 光 徳

幼稚園に於ける図書……………藤 五 代 策

桃の花……………保 井 コ ノ

梅……………小 寺 弥 彦

家庭叢話(続)……………光 藤 ふ で

母の不在……………

新入園児の取扱方(一)

(一)やさしく……………雨 森 鋼

(二)色分けの徽章……………折 井 弥 留 枝

(三)自然を待ちて……………鈴 木 マ サ

談話資料……………

金ちゃんのお魚……………松 田 清

お山の火事……………同

雑報……………

第 四 号

外へ外へ……………

社会と児童……………小 林 照 朗

父兄の注意すべき教育上の要件……………和 田 実

家庭叢話……………光 藤 ふ で

母親の子供に侮られぬ工夫が大事……………

食事の訓練……………

新入園児の取扱方(二)

(一)……………岸 辺 福 雄

(二)……………橋 本 は な

(三)……………佐 藤 満 寿

(四)……………後 藤 り ん

保育の実際……………

文字を書く幼児……………藤 田 東 洋

自由保育……………鈴 木 マ サ

保育資料……………

新遊戯法……………飯 沼 静

途上だより……………倉 橋 生

はぐみ……………

お父さんの成功……………

子供すきの博士……………

第 五 号

玩具研究に就つて……………中 川 謙 二 郎

児童の弁当……………倉 橋 惣 三

幼稚園問題(承前)……………佐 々 木 吉 三 郎

社会と児童(承前)……………小 林 照 朗

桜草とげんげ……………保 井 コ ノ

思ひ出のまゝ……………後藤りん  
保育の実際……………

幼児自作の唱歌……………学習院女学部

子ども遊戯……………坂本小学校附属幼稚園

弊園の特色……………静岡幼稚園

和氣藹々……………

## 第六号

今日二十一日……………

幼稚園に関する諸問題(三)……………佐々木吉三郎

幼稚園の種類……………

招かれし家庭のいろく……………河井道子

子供の残酷性……………寺田精一

米国幼稚園教育の現状……………石原きく子

家庭叢話(続)……………光藤ふで

保母のすゝめ……………後藤りん

子供の自重心……………倉橋惣三

## 第七号

児童の自我観念……………元良勇次郎

幼稚園と小学校との課業上の連絡……………佐々木吉三郎

子供の色彩感覚に就いて……………菅原教造

保育叢話……………光藤ふで

子供の望診……………塩野奇零

子供の自重心……………倉橋惣三

伝ふことを聞かぬ子供に就いて……………和田実

愛児を失ひし二三の実例……………戸倉広雅

保育の実際……………

幼児に対しての説話振り……………後藤りん

## 第八号

うるほひ……………富士川游

異常児童の話……………菅原教造

子供の色彩感覚に就いて(下)……………後藤りん

園のをぐさ……………

保育の実際……………

唱歌の紹介(甲賀ふじ子氏)……………倉橋惣三

机辺だより……………

幼稚園の改良(スタンレーホール氏)……………倉橋一生

## 第九号

秋風の賦……………如柳子

一致協和……………

児童の模倣に就て.....	倉橋惣三
遊戯上に現はれたる幼児の模倣性.....	和田実
医者同志で全て反対の養育法.....	道師如柳子
玩具に就て.....	山脇春樹
色鉛筆.....	若き父
玩具は如何に選択すべきか.....	高市次郎
幼児預所に就て.....	倉橋生
幼稚園の戸外運動器具.....	

第十号

図画科の衛生に就いて.....	菅原教造
幼稚園に関する諸問題.....	佐々木吉三郎
栗の話.....	竹島茂郎
夏休後の幼児(其一).....	野口ゆか
(其二).....	小向きみ
幼稚園に於ける室内裝飾品の作り方.....	藤五代策
随感.....	安井哲
机辺だより.....	倉橋惣三
幼稚園の改良(スタンレーホール氏)	
機嫌のよしあし.....	倉橋生

第十一号

欧米女子教育の趨勢.....	斎藤斐章
感情の発表.....	川島庄一郎
身体の成長と発達.....	日田権一
子供の叱りやう.....	羽仁もと子
哺乳児營養法.....	本間辰藏
子供の癖に就て.....	杉浦恂太郎
切花の取扱.....	こむかひ
机辺だより.....	倉橋惣三

幼稚園の改良(スタンレーホール氏)

雑録

第十二号

寒風.....	小関源助
児童教育上に於ける試み.....	増田惟茂
動物心理の研究法.....	杉浦恂太郎
子供の癖に就て.....	速水信
養育日記の中より.....	こむかひ
挿花水揚法.....	倉橋惣三
机辺だより.....	
子供の人形遊び(サリー氏)	

新刊紹介

高島氏「教育に應用したる児童研究」



第十二卷

第一号

新らしみ

幼児教育者に対する希望

小児画家ラルソンの話

古き回想と新しき感想

冬季と子供の衛生

ほんだはらの話

森の幼稚園

中川謙二郎

菅原教造

野口幽香

唐沢光徳

保井コノ

S K 生

第二号

子どものしもべ

お早うとお休み

子供の不成績は監督者の不注意から

子供の癖に就て

子供の衛生

食膳に上る鉢物(一)

切花の取扱ひ

縁の家

黒田定治

宮川寿美

杉浦恂太郎

石塚保吉

平島権蔵

こむかひ

若き父

森の幼稚園..... S K 生  
机辺だより..... 倉橋惣三

——ブライアント氏「話の仕方」——

雑録

### 第三号

三月

欧米初等教育近時の傾向.....

真に子供のため.....

森の幼稚園.....

机辺だより.....

——グル、チンスカ女史「人形遊びの実験」——

随感.....

雑録

### 第四号

春風

家庭と幼稚園.....

欧米初等教育近時の傾向.....

モンテッソリの教育.....

子供と胃腸病.....

「のうるし」と「しやうくぼく」.....

森の幼稚園..... S K 生  
机辺だより..... 倉橋惣三

——スターンレホール氏「幼稚園の教育」——

雑録

### 第五号

ころもがへ

フレーベルに就て.....

フレーベル主義と婦人.....

花と子供の興味.....

子供の衛生.....

研究録

空、風、雨、雷に対する幼児の想像.....

新入園当時と一年後との幼児の

心理状況の比較調査.....

森の幼稚園(五).....

雑録

### 第六号

子供の将来を案め.....

学齡未滿児童教育方法の研究を望む.....

フレーベル主義新釈.....

大瀬甚太郎..... S K 生  
倉橋惣三..... 倉橋惣三

菅原教造..... 菅原教造

石塚保吉..... 石塚保吉

静岡幼稚園..... 静岡幼稚園

城東小学校附属幼稚園..... 城東小学校附属幼稚園

S K 生..... S K 生

篠田利英..... 篠田利英

乙竹岩造..... 乙竹岩造

倉橋惣三..... 倉橋惣三

藤橋源太郎..... 藤橋源太郎

倉橋惣三..... 倉橋惣三

石塚保吉..... 石塚保吉

保井コノ..... 保井コノ

下田次郎..... 下田次郎

倉橋惣三..... 倉橋惣三

藤橋源太郎..... 藤橋源太郎

石塚保吉..... 石塚保吉

保井コノ..... 保井コノ

哺乳児の營養法……………石塚保吉

面白き表榊細工……………藤五代策

はなしやうぶ……………保井コノ

研究録

幼稚園一の組織念界調査……………坂本小学校附属幼稚園

幼児の色彩識別力調査……………同上

きかぬ子……………倉橋惣三

森の幼稚園……………S K 生

雑録

### 第七号

夏の幼稚園……………藤井利誉

家庭に於ける雇人と子供……………寺田精一

哺乳児の營養法……………石塚保吉

夏のお伽話……………長沼せき

保育の実際

自然物の利用……………膳たけ

室の内外……………佐藤満寿

保育の一日……………みどり

児童の救急手当法(一)……………藤井秀旭

雑録

関西行……………倉橋惣三

### 第八号

婦人の地位と子供の地位……………吉田熊次

母のため子のため……………倉橋惣三

児童營養法……………石塚保吉

綿細工の製作法……………藤五代策

金糸雀に育てられた雀……………杉井ふき

保育の実際……………和田くら

子供のつくりし謎……………同上

京坂神連合保育会提出遊嬉(京都市の部)……………藤井秀旭

児童の救急手当法(二)……………倉橋生

幼稚園參觀記……………同上

### 第九号

幼児に対する暗示的教育……………槇山栄次

教育と動物心理……………菅原教造

病氣の子供……………石塚保吉

金糸雀に育てられた雀……………杉井ふき

京坂神連合保育会提出遊戯(大坂の部)……………藤井秀旭

雑録

児童の教育手当法(三)……………同上

第十号

事物に念を入れる習慣養成の必要……………中島力造  
 子供は子供らしく教育せよ……………速水滉  
 自分の一番よく知つて居る人……………岡田みつ  
 子供の病氣予防及手当……………石塚保吉  
 京坂神連合保育会提出遊戯(神戸市の部)  
 幼児保育の新目標……………倉橋惣三  
 大坂にて……………倉橋生

干涉主義と自由主義  
設備上の理想と簡易

子供の盗み……………寺田精一  
 保育叢話……………藤園女  
 保育上の新らしき試み……………倉橋生  
 神戸幼稚園の大円形机  
 江戸堀幼稚園の砂箱  
 城東小学校附属幼稚園の露台利用

第十一号

新たに考へよ  
 子供の盗み……………寺田精一  
 『自分が一番よく知つて居る人』……………岡田みつ  
 お月様と虫……………久留島武彦  
 喬たん……………後藤りん  
 児童救急手当法……………藤井秀旭  
 雑録

神戸通信

第十二号

歳暮雑感……………編者

第十三卷

第一号

幼稚園教育界の二大急務

簡易幼稚園の普及

保姆養成機関の普及

色彩と美術

如何にして幼児に図画を描かしむべきか

一月に咲く花二つ三つ

二羽の雛

教へない教育

第二号

幼稚園の保姆

児童救済事業と婦人

幼児と迷信

少女エビー

初生児の為の注意

雑録

失明児教育の注意(東京盲学校)

附録

美学講話(第一回)

第三号

情の觀察

国民祭

少女エビー

玉ちゃんの一年

小児の伝染病

幼稚園の増設を望む

坊やの創作

附録

美学講話(第二回)

第四号

病的の虚言

独逸に於ける幼稚園改良問題

小児の伝染病(二)

フレイベル伝雑感

雑録

研究心に富める関西保育界——盲児幼稚園

会告

菅原教造

佐々木吉三郎

垣内松三

岡田みつ

芙蓉 峯

石塚保吉

藤田東洋

若き 父

菅原教造

富士川游

上野陽一

石塚保吉

倉橋惣三

附録

美学講話(第三回)……………菅原教造

第五号

保母論

英文学にあらはれたる子供(五)……………岡田みつ

『トム』と『マギー』

小児の伝染病(四)……………石塚保吉

手工応用玩具の造り方……………藤五代策

保育の此頃……………佐藤満寿

元良先生と坊や……………若き父

附録

雑録

美学講話(第五回)……………菅原教造

第六号

児童に対する觀念の変遷……………吉田熊次

教育系統上幼稚園の保つべき地位……………榎山栄次

英文学にあらはれたる子供(六)……………岡田みつ

『トム』と『マギー』(つづき)

手工応用玩具の造り方……………藤五代策

雑録

附録

美学講話(第六回)……………菅原教造

第七号

子供を取扱ふ人の気分を持ち方……………乙竹岩造

榎山督学官の「教育系統上幼稚園の保つべき地位」を

読みて所感を述べ併せて御示教を乞ふ……………日田権一

英文学にあらはれたる子供(七)……………岡田みつ

手工応用玩具の造り方……………藤五代策

第二十回京阪神連保育会提出遊戯歌曲

『恩物』に就て……………倉橋惣三

砂場に屋根をつくれ……………倉橋生

附録

美学講話(第六回)……………菅原教造

第八号

幼稚園の問題に関して日田権一君に答ふ……………榎山栄次

触覚筋覚閥節覚を其根柢とせる図画教授の實驗的研究

……………望月くに

苦文学にあらはれたる子供(八)……………岡田みつ

手工応用玩具の造り方……………藤五代策

第二十回京阪神連合保育会提出遊戯歌曲

雑録

附録

美学講話(第七回)

菅原教造

第九号

胎教

下田次郎

幼稚園問題に關して日田権一君に答ふ(一)

榎山栄次

英文学にあらはれたる子供(九)

岡田みつ

恐ろしき疫痢

石塚保吉

手工応用玩具の造り方

藤五代策

第二十回京阪神連合保育会提出遊戯歌曲

附録

美学講話(第八回)

菅原教造

第十号

保姆論(二)

英文学にあらはれたる子供(十)

岡田みつ

『デミ』と『デージー』(アルコット)

雁の歌

久留島武彦

手工応用玩具の造り方

藤五代策

机辺だより

兒童の繪画(タンネル)

子供展覽會に就て

倉橋生

大道玩具の研究

K T 生

附録

美学講話

菅原教造

第十一号

子供から学べよ

岡田みつ

英文学にあらはれたる子供(十一)

『ジェーン・アイア』(フロンテ)

手工応用玩具の造り方

藤五代策

保育と自然知識

神戸幼稚園

文展の子供の絵と彫刻

倉橋生

附録

美学講話(第十回)

菅原教造

第十二号

齒牙衛生に就て

古瀬安俊

英文学にあらはれたる子供(十二)

岡田みつ

『ジェーン・アイア』

手工応用玩具の造り方

藤五代策

大道玩具の研究(二)

K T 生

大島の女と子供……………田 中 生

附録

美学講話(第十一回)……………菅 原 教 造

第十四卷

第一号

幼稚園教育の普及的必要……………中川謙一郎

保育入門(一)……………倉橋惣三

一 幼児の生活

美及び芸術……………菅原教造

『トムソーヤ』……………岡田みつ

子供の衛生……………石塚保吉

幼稚園日記(一)……………田中生訳

フレibel自伝(第一回)……………倉橋惣三訳

第二号

自動性の教育……………下田次郎

学齡前児童の発達と教養……………入沢宗寿

『ジェーン・アイヤ』……………岡田みつ

子供の肺炎……………石塚保吉

我園の郊外保育に就きて……………佐藤ます

幼稚園日記(二)……………田中生訳

保育入門(二)……………倉橋惣三



フレーベル自伝(第二回)

第三号

子供といふもの.....巖谷季雄

人類の子供時代は何故長いか.....上野陽一

学齢前児童の発達と教養(一).....入沢宗寿

『ジェーン・アイヤ』(四).....岡田みつ

大阪の童謡.....浪花の子守

腭方の準的.....榎崎浅太郎

保育入門(三).....倉橋惣三

三、幼稚園.....倉橋惣三

フレーベル自伝(第三回).....倉橋惣三

第四号

学齢前児童の発達と教養(三).....入沢宗寿

多様にして統一ある一時期保育実況.....日野清子

『ジェーン・アイヤ』(五).....岡田みつ

船待ち.....わかき父

大阪の童謡(一).....浪花の子守

子供の問食.....石塚保吉

腭方の準的.....榎崎浅太郎

雑録

東京市保育研究会発会式  
東京市教育会主催幼稚園講習会

フレーベル自伝(第四回).....倉橋惣三

第五号

哀悼の辞.....乙竹岩造

フレーベルと現代思想.....入沢宗寿

学齢前児童の発達と教養.....岡田みつ

『トム・ソーヤー』(一).....岡田みつ

幼稚園日記(二).....田中生

保育入門(四).....倉橋惣三

四、幼稚園教育の原則.....倉橋惣三

フレーベル自伝(第五回).....倉橋惣三

第六号

幼児声域の標準及び其発達.....望月クニ

子供の睡眠の深さ.....上野陽一

『トム・ソーヤー』(三).....岡田みつ

梅雨期と子供の衛生.....石塚保吉

保育入門(五).....倉橋惣三

五、幼稚園教育の顧慮.....倉橋惣三

フレーベル自伝(第六回).....倉橋惣三

第七号

科学の進歩と児童研究……………高島平三郎  
 教育上から見た子供の模倣全盛期……………福島政雄  
 『ポール・ドンビー』(一)……………岡田みつ  
 保育入門(六)……………倉橋惣三  
 幼稚園教育と美的陶冶……………倉橋惣三  
 雑録……………倉橋惣三  
 フレーベル自伝(第七回)……………倉橋惣三

第八号

家庭と幼稚園……………大槻快尊  
 感官の練習……………岡田みつ  
 『ポール・ドンビー』(二)……………石塚保吉  
 注意すべき子供の胃腸病……………倉橋惣三  
 保育入門(七)……………倉橋惣三  
 六、幼稚園教育と設備(下)  
 七、幼稚園教育の方法  
 第一、其の基本——自発遊戯……………倉橋生  
 幼稚園の遊園とアスファルト……………倉橋生  
 フレーベル自伝(第八回)……………倉橋惣三

第九号

高等女学校と幼稚園……………岡田みつ  
 『ポール・ドンビー』……………三宅登芳子  
 我国在来の玩具と恩物……………紹介生  
 英国の幼稚園教育……………倉橋惣三  
 保育入門(八)……………倉橋惣三  
 八、幼稚園教育の方法  
 第一、其の材料——遊具……………倉橋惣三  
 雑録……………倉橋惣三  
 フレーベル自伝(第九回)……………倉橋惣三

第十号

一般教育が疾病に及ぼす影響……………石塚保吉  
 少年俳人……………若き父  
 英国の幼稚園……………紹介生  
 雑纂……………  
 ○ベルリンの幼者保護(小河滋次郎氏)——○幼児の訓練(安井哲子)——  
 ハウ女史歓迎会(神戸某氏報)——○時局と幼稚園(丸山義一氏)——○福  
 島文学士著『児童の模倣』(編者)……………  
 保育入門(九)……………倉橋惣三  
 幼稚園教育の手段——一般論——音楽論……………倉橋惣三

雑録

フリーベル自伝(第十回).....倉橋惣三訳

第十一号

我国及欧米に於ける玩具製造に就て.....鶴見左吉雄

子供の戦争ごっこ.....岸辺福雄

湖畔詩人に歌はれたる子供.....福島政雄

『ポール・ドンビー』.....岡田みつ

文展の子供の絵と彫刻.....倉橋生

フリーベル自伝(第十一回).....倉橋惣三訳

第十二号

フリーベル会に対する希望.....野尻精一

幼稚園教育雑感.....湯原元一

我国幼稚園児童身体発育調査.....安井哲

おちば.....久留島武彦

『ポール・ドンビー』.....岡田みつ

雑録

京阪神三市連合保育会——静岡県保育会——東京市保育研究会

フリーベル自伝(第十二回).....倉橋惣三訳

第十五卷

第一号

幼稚園の副次的任務

幼児教育と暗示

京阪神の幼稚園の視察

『ポール・ドンビー』

応接十分間

京阪神連合保育会提出遊戯

保育入門

フリーベル追懐録

第二号

個人主義か家族主義か

子供が物を口へ入れる癖

夏期に於ける幼児の睡眠時間

ピップの話

幼稚園の歌の中より

保育入門(十一)

フリーベル追懐録

上野陽一

土川五郎

岡田みつ

みどり

倉橋惣三

倉橋惣三

深作安文

宮本仲

司馬のぶ

岡田みつ

水町京子

倉橋惣三

第三号

幼稚園を修了する幼児達に

幼児保育の方針に就て

ピップの話

うさぎ

フレール追懐録

小西重直

岡田みつ

岡崎幼稚園

雑録  
フレール追懐録

第六号

疲労と練習

『菊ちゃんの新遊嬉』(アルコット)

此頃流行する子供の病氣

第二十二回京阪神連合保育会提出遊戯及歌曲

(京都市保育会及大阪市保育会の部)

松本亦太郎

岡田みつ

石塚保吉

第四号

今回幼稚園関係者大会

独逸の婦人と子ども

関西保育界とモンテッソリー女史教育思想

ピップの話

麻疹の話

雑録

フレール追懐録

三田谷啓

膳たけ

岡田みつ

石塚保吉

雑録

フレール追懐録

第七号

将に來らんとする全国幼稚園関係者大会

北米合衆國に於ける幼稚園

『菊ちゃんの新遊嬉』(アルコット)

第二十二回京阪神連合保育会提出遊戯及歌曲

(神戸市保育会の部)

吉田熊次

岡田みつ

第五号

幼児教育雑感

「ピップ」の話

つとむさん

グロースの遊戯論

下田次郎

岡田みつ

狸園

倉橋生

園外保育

保育入門(十二)

雑録

フレール追懐録

倉橋生

倉橋惣三

第八号

児童遊園問題	乙竹岩造
「教育と児童の身体障禍」	上野陽一
露天主義の我幼稚園	西山悠治
幼児の睡眠時間と体重	司馬のぶ
夏季の水遊び	小山ひで
『菊ちゃんの新遊戯』	岡田みつ
雑録	
フレーベル追懷録	

第十号

全国幼稚園関係者大会に出席して	大村芳樹
子供の衛生上保姆の常に注意すべきことども	宮本仲
話の起源	K T 生
『トプシイ』(一)	岡田みつ
ねずみ	広島女学校幼稚園
子供のわがま	倉橋惣三
雑録	
フレーベル追懷録	

第九号

幼稚園教育の特色	倉橋惣三
幼稚園と自然	三田谷啓
幼稚園に於ける教の取扱に就て	望月くに
幼児観察記	野田千代
菊ちゃんの舞踊会	岡田みつ
摘録	

○フレーベル氏の九原則を評す(高島平三郎氏)——幼稚園保育の陥り易き  
弱点及其起因(大阪市保育会調査委員)

雑録  
フレーベル追懷録

第十一号

婦人と戦争	深作安文
発作的に動作する子供	寺田精一
『トプシイ』	岡田みつ
幼児生活に於ける体現	K T 生
文展の「子供」の絵	倉橋生
雑録	
フレーベル追懷録	

第十二号

壮なりし今年の保育界

幼稚園に対する余の希望	土川五郎
幼稚園と家庭との連絡の方法	小山秀
寒國の幼稚園	今きよ
校底の舗面工事と其の維持方法(カーチス氏)	
フレイベル氏の九原則を評す(高島平三郎氏)	
保育入門(十三)	倉橋惣三
フレイベル追懷録	

## 第十六卷

### 第一号

学齡前教育の研究(一)(二)(三)(四)	棚橋源太郎
幼児の仕事に就て	安井哲
幼児の今昔に就ての所感	福島政雄
「エミール」の幼児教育の感懐(一)	東京府女子師範学校 附風見幼稚園
保育の目的及び養育の要旨	
問題の子ども	
○乱暴な太郎さん	坂口けい
○知能の特に優れた子	須子トミ
○いろ／＼の子ども	坪内キク
○剛情で共同心の乏しき子	和田くら
○落ちつかない子	姫宮うめ
フレイベル追懷録	

### 第二号

幼児教育の第一義	
小学校から幼稚園への希望	

前田松

二	河野清丸
三	稲垣知剛
幼稚園から小学校への連絡	
一	小山ひで
二	岡政
三	小向喜美
四	橋本よしぢ
五	三宅トモ
六	望月くに
幼稚園の古い図	
書架より	
若き父	
紹介子	

○リズムの話(リー氏)	
フレール追懐録	
第三号	
亜米利加幼児教育視察談	
岸辺福雄	
京阪神幼稚園の視察	
土川五郎	
無口な子を教育した実験	
○毯唄でさそひて	
宇式かん	
○自重心に訴へて	
折井弥留枝	
幼稚園可否の論を読みて	
土川五郎	
フレール追懐録	

第四号

新入園児を迎へて

幼稚園保育に就ての希望……………杉浦恂太郎

「エミール」の幼児教育の花園……………福島政雄

幼稚園の卒業式……………野口幽香

附添人を離れぬ子供……………須子トミ

お話の仕方……………紹介子

雑録

第五号

保育材料の循環的排列……………和田実

「エミール」の幼児教育の感懐(三)……………福島政雄

ブロー女史を憶ふ……………ペラ・アルウキン

ブロー女史を憶ふにつけて……………倉橋惣三

お話の仕方……………紹介子

小夏子……………若葉

第六号

学齡前教育上の注意……………三輪田元道

幼児情況調査……………安井哲

『エミール』の幼児教育感懐……………福島政雄

白痴教育者セガン……………紹介子  
 夏子(じよき)……………若葉  
 第廿三回三市連合保育会

第七号

文部省保育講習会  
 更に加へて

自由主義の誤解……………河野清丸  
 モンテソリー教育主義とフレール教育主義……………クライン  
 園児の絵画観察の様式……………森小糸  
 ペスタロッチとフレールとの弱点(ヘイワード氏)紹介子  
 水田氏「お話の研究」を讀みて……………倉橋生  
 雜録

第八号

文部省保育講習会員諸君を迎ふ

幼稚園の副事業……………倉橋惣三  
 タゴオルの児童観……………吉田源次郎  
 プレイクより……………K T 生  
 郊外の幼稚園……………記  
 夏の玩具……………記  
 児童の個人性(ヘイワード氏)……………紹介子

第九号

卓上より  
 モンテソリー教育説に就て……………河野清丸  
 お月様(スチヴンソン)……………K T 生  
 幼年唱歌に就て……………葛原 鹵  
 卓上より

下田氏氏の「母と子」……………倉橋生  
 夏の玩具追記……………記  
 雜録

第十号

子供に還る……………久留島武彦  
 婦人教育者……………宮田 修  
 学校教育の基礎としての幼児教育……………野田義夫  
 幼稚園參觀記  
 フレールの思想……………紹介子  
 舊のいろく……………京 子  
 雜録

第十一号

満鮮幼児教育視察談……………倉橋惣三



幼稚園出身の成績……………山辺知之

秋のうた……………三宅友

薔のいろ……………京子

幼児感情調査……………城東幼稚園

フレールベルの思想……………紹介子

行啓の日……………

文展の「子供」の絵……………倉橋生

雑録……………

第十二号

斯くてまた暮れゆく……………倉橋生

現代に於ける日本画の潮流……………沢村専太郎

満鮮幼児教育観察談……………倉橋惣三

私が園長になりましたら……………みなと

無邪気なる子供の言葉……………浦川ハル

フレールベルの思想……………紹介子

第十七卷

第一号

現代文化と幼児教育の研究

幼稚園教育の積極性

幼稚園生活が幼児に与ふる弊害の一方面……………安井哲

幼児の衛生……………土川五郎

遊戯と体操(リー)……………紹介子

七不思議……………みなと

一月……………記

色彩の心理……………菅原教造

第二号

保母その人

何を以て導かんとするや

紀元節と幼稚園……………

朝江東城日豊  
海東洋東白明  
幼幼幼幼幼  
稚稚稚稚稚  
園園園園園

節分の話……………村尾節三

七不思議……………みなと

保育の教材と方法に関する……………紹介(子)

デー教授の意見……………紹介(子)

吾々は幼児を尊重する人でなければならぬ……………菅原教造

色彩の心理……………菅原教造

第三号

春が来る……………久保良英

北米合衆国に於ける幼稚園教育の理想及び実際……………久保良英

幼稚園保育趣旨及び細目(米國沙市)……………岸辺福雄

雑の節句と幼稚園……………野口幽香  
久留島武彦  
中野よね

菱餅の話……………村尾節三

室内裝飾に就て……………杉本りつ

色彩の心理……………菅原教造

第四号

学ぶべき春よ……………久留島武彦

お話の材料は何処に求むべきか……………久留島武彦

幼児の好む色……………安井哲

幼稚園保育趣旨及び細目(米國沙市)……………岸辺福雄

新保育期に当りて……………横濱小学校附属幼稚園  
生祥幼稚園  
豊出幼稚園  
坂之小学附属幼稚園  
東京府女子師範学校附属幼稚園

灌仏の話……………村尾節三

七不思議……………みなと

第五号

歌ふ歌ふ……………倉橋惣三

うるほひ……………倉橋惣三

幼稚園保育趣旨及び細目(米國沙市)……………岸辺福雄

研究記事拾遺……………乾隆幼稚園  
三原女子師範附属幼稚園

七不思議……………みなと

雑録……………菅原教造

色彩の心理……………菅原教造

第六号

夏の寝床……………倉橋惣三

布袋讀……………倉橋惣三

幼稚園教育の要旨……………和田 田 美 記 者

幼稚園出身児の成績……………笹 野 豊 美

貧児保育の話(一)……………徳 永 恕 子

音楽の味ひ方……………田 辺 尚 雄

第七号

お舟のゆくへ……………谷 津 直 秀

伝染病を媒介する動物……………稻 垣 知 剛

水泳の効果はどの位あるか……………土 川 五 郎

七不思議を読む……………徳 永 恕 子

貧児保育の話(二)……………村 尾 節 三

盂蘭盆の話……………

麴町幼稚園に於ける畜音機の利用

第二十四回京阪神三市連合保育会

同会提出遊戯の歌曲

雑録

第八号

本邦幼稚園の発生時代……………小 西 信 八

体格検査の問題……………菅 原 教 造

三市連合保育会提出遊戯及歌曲(一)……………大 阪 市 保 育 会

幼稚園教育の科学的研究の前途……………紹 介 子

児童楽園を訪ふの記……………記 者

第九号

弘前の栗の実……………久 留 島 武 彦

幼稚園の遊戯に就て……………土 川 五 郎

老嫗昔がたり……………北 野 京 二

朝鮮幼児保育苦心談……………京 口 さ だ 子

三市連合保育会提出遊戯及歌曲(三)……………京 都 市 保 育 会

雑録

第十号

秋が来た

私立幼稚園の発達(本邦保育界の追憶)……………田 中 ふ さ 子

夏季林間保育実施報告……………豊 島 と も 子

朝鮮幼児保育苦心談……………京 口 さ だ 子

近頃の玩具……………武 田 真 一

第十一号

就任の挨拶……………湯 原 元 一

国民性に就て……………野 田 義 夫

「婦人と子ども」記者へ……………M T 生

幼稚園教育の科学的研究の前途……………紹 介 子

近刊紹介

雑録

色彩の心理……………菅原教造

第十二号

冬の絵本(ステウソン)

遺伝と保育……………永井潜

福岡県保育界の模様

第八回 幼稚園教育の科学的研究の前途……………紹介子

雑録

色彩の心理……………菅原教造

第十八卷

第一号

園丁雑感

本真剣……………倉橋惣三

幼児教育上に於ける国語問題……………和田実

幼稚園時代の追憶……………宮田修

御題海辺の松……………中沢とめ

豊園幼稚園今昔……………村尾節三

正月の童謡……………三原女子師範附属幼稚園

我県に於ける最初の試み……………大阪市保育会

大阪市保育会創立二十年記念展覧会 出品目録……………大阪市保育会

第二号

園丁雑感

本真剣……………倉橋惣三

リズムに就て……………土川五郎

ぶらんこ

亜米利加の保育界の現況……………大西義衛

幼稚園児童の貨幣と色彩に対する知識に就て……………大西義衛

彦根幼稚園沿革大要

雜録

「真向き」と「横向き」……………菅原教造

第三号

園丁雜感

親しむ心……………倉橋惣三

米国の婦人と子供……………佐々木吉三郎

新入学の尋常一年生……………北沢種一

幼児訓練の標的(一)

動物園あそびの記……………とよ子

燕の玩具……………はる子

三月と児童……………村尾節三

大正幼年唱歌集の完成

第四号

園丁雜感

米国の婦人と子ども……………佐々木吉三郎

関西保育界の視察……………山辺知之

律動的遊戯の過去及び将来……………土川五郎

幼児訓練の標的(二)

保育の標的に関する谷本博士の意見

第五号

園丁雜感

関西保育界の視察(承前)……………山辺知之

幼稚園は如何なる処か……………倉橋惣三

彩色遊びに就て……………つや子

在園期間に於ける幼児身体の發育率……………東京女高師附属幼稚園

幼稚園の自由……………紹介子

保母の務め……………中川優

小学校に現れた幼稚園の成績……………市島貞三

新しい試み……………紹介子

ピョン太郎……………東京女子高等師範学校附属幼稚園研究部

第六号

幼稚園の此頃……………倉橋惣三

現代保育の一欠陥……………和田実

三市連合保育会……………小高つや

子供の想像生活……………小高つや

象と鯨の綱曳……………東京女子高等師範学校附属幼稚園研究部

慾張り王様

第七号

子供の衛生.....弘田長

幼稚園の此頃.....倉橋惣三

関の西より.....楓二子

フレールを憶ふ

不思議なマント(お伽ばなし).....ないとう生

多摩川に遊ぶの記.....記者

雑録

第八号

内外に於ける昼間保育の施設状況に就て.....生江孝之

幼児の自由撰状につきて.....池田とよ

花の物語.....吉田力

お伽話(黄金の林檎、魔法杖).....ないとう生

第二十五回京阪神連合保育会提出遊戯の歌曲

関の西より(二).....楓二子

雑録

第九号

内外に於ける昼間保育の施設状況に就て.....生江孝之

夏期転任の思ひ出.....徳永恕

おばさん幼稚園.....佐藤ます

ブラジルのお伽話.....檜山京子

保育の一斑.....乾隆幼稚園

記念会.....小川幼稚園

雑録.....市島貞三

第十号

幼児と齒.....青木醇一

人形病院及び人形供養.....西山哲治

幼稚園に於ける談話の使用法に就て.....小高つや

子供を通して.....坂内みつ

諸国お伽話.....フレール会研究部

会告

雑録

第十一号

会長の挨拶(総会に臨みて).....湯原元一

神話の心理.....桑田芳蔵

人形病院及び人形供養(承前).....西山哲治

文展の子供.....倉橋生

関の西より(三).....楓二子

雜録

會告

諸国お伽話……………日本幼稚園協会研究部

第十二号

日本幼稚園教育の黎明……………ソファヤ・アラベラ・アルウキン

律動的遊戯を盛ならしめよ……………岸 辺 福 雄

玉繫ぎの遊び方……………土 川 五 郎

転地保育の実際……………尾 崎 ト ヨ

雜録……………

諸国お伽話……………日本幼稚園協会研究部

幼児教育

第十九卷

第一号

幼児教育と自然科……………沢柳政太郎

家庭より見たる幼稚園……………羽仁もと子

再び律動的遊戯に就て……………土川五郎

改良と計画と理想と……………二十九幼稚園

冬の自然……………堀 七 蔵

一月の園芸……………有川ひさえ

會報

新年附録

孔子の教育……………古川竹二

良寛と子供……………原田勸平

第二号

米国に於ける幼稚園可否論……………岸 辺 福 雄

小児の服装に就て……………入 沢 常 子

土川先生に呈するの書……………竹 村 一

冬期に起る小児の病氣……………青 木 醇 一

米國加州幼稚園に於ける自由選択保有の実験

紹介子

表情遊戯

土川五郎

二月の園芸

有川ひさえ

二十四孝の中より

山岸徳平

新作お伽話 羊の毛ごろも

望月くに

会報

大戦の開始、経過、終局

斎藤清太郎

第三号

かく育てたしと思ふこと

倉橋惣三

表情遊戯

土川五郎

神戸幼稚園の新しい試みの一端

志賀末

古端書細工をお勧めしたい

小山ひで

琴平だより

久住もと

三月の園芸

有川ひさえ

おもちゃ絵の話

権田保之助

第四号

新入園児の家庭の方々へ

倉橋惣三

春の自然

一、春の景色

堀七蔵

二、引き潮の跡

平島権蔵

三、春の雜草

竹島茂郎

神戸幼稚園の新しい試みの一端(二)

志賀末

表情遊戯

土川五郎

四月の園芸

有川ひさえ

雜録

幼稚園と児童保護

谷本富

第五号

子供の論理と正義

下田次郎

我が子を小学校に送りにて

平田静子

「キンダーガルテン」と云ふ名は改むべきか

紹介子

富士見行

竹村一

表情遊戯

土川五郎

五月の園芸

有川ひさえ

各地保育界の状況

各地保育会

スタンレーホールの教育意見

谷本富

第六号

英米幼稚園の現況

藤井利誉

子供の研究は個人的でありたきこと

倉橋惣三

弘ひろしさんのお母様

楓二子

フレイベルの日に(一)

江戸堀研究会



六月の園芸……………有川ひさ江

雑報

モンテッソリの方法に就て……………谷 本 富

第七号

近刊の子供絵雑誌に就て……………倉橋惣三

夏の病氣と幼児の食物……………青木醇一

桃太郎かるたに就て……………米山えん

表情遊戯について……………土川五郎

フレイベルの日に(二)……………江戸堀幼稚園

雑報

幼稚園教育と新哲学……………谷 本 富

第八号

生きた教育を……………羽仁もと子

「キンデルガルテン」と云ふ名について……………井上愛策

幼児の天性と自然的保育……………岡本あい

フレイベルの日に(三)……………江戸堀研究会

思ふまゝ……………一 会 員

雑報

児童心理学研究指針……………谷 本 富

第九号

幼稚園と小学校との連絡問題……………藤井利誉

岡山市の幼稚園に就て……………貞松修蔵

分団保育の試み……………池田とよ

園児の水遊び……………岡本あい

表情遊戯……………土川五郎

子供の為めに……………米山えん

ヘッベル「わが幼時」(二)……………紹介子

雑報

簡単な心理実験色々……………谷 本 富

第十号

雙生児童に就て……………小西信八

今年の夏に(一)……………倉橋生

夏休みを終へて……………HN子

ヘッベル「わが幼時」(一)……………艶子 訳

保育手段としてのお話(二)……………倉橋惣三述

雑報

第十一号

フレイベルと現代思潮……………小西重直

分団保育を試みつゝ……………折井弥留枝

第二回全国幼稚園関係者大会の記……………てい子

月夜の兎……………土川五郎

大阪市立児童相談所を訪ふ(一)……………会員

雑報……………

ヘッベル「わが幼時」(三)……………艶子 訳

第十二号

生活か教育か……………倉橋惣三

園外保育日誌……………京都市日彰幼稚園

幼児教育と絵画……………米川えん

大阪市立児童相談所を訪ふ(二)……………一 会 員

大会所感……………出席者の一人

雑報……………

ヘッベル「わが幼時」(四)……………艶子 訳

第二十卷

第一号

幼児の調節生活……………森川正雄

改造運動の根本問題……………三田谷啓

我園の一日……………各地幼稚園

学制改革の上より見たる幼稚園……………和田実

雑報……………

ヘッベル「わが幼時」(五)……………艶子 訳

第二号

我が園保育の近況……………桃園

勅題にちなみて……………中沢登免

我園の一日を(一)……………全国各地幼稚園

雑報……………

大会所感の記事を読みて……………関西の一会員

第三号

幼児の要求と其取扱法……………森川正雄

文字調査について……………岡山市立幼稚園

我園の一日を(三)……………各地幼稚園  
おことはり……………大会出席者の一人

雑報  
ヘッベル「わが幼時」(六)……………艶子 訳  
訳了の後に

#### 第四号

児童保護の問題に關して……………湯原元一  
神戶 園児の能力調査……………望月くに  
おひなまつりの記……………若き母

保育のある一日……………岡政  
近頃興味を感じた保育の一節……………須子トミ  
逝ける園児の偈……………日彰幼稚園

表情遊戯……………土川五郎  
動物の教育(一)……………久門嘉裕  
幼稚園に關する法令抄録……………岡田美津

#### 第五号

幼稚園は親と子との要求を満足させよ……………田子一民  
神戶園児の能力調査(二)……………望月くに  
市俄古より……………倉橋惣三

「海」の遊戯……………土川五郎  
幼稚園と小学校との連絡問題(一)……………紹介子

会報  
少年音楽家(二)……………岡田美津

#### 第六号

盲兒童の觀察……………田町則文  
子供と結核……………青木醇一  
我が園の武者祭り……………四谷第一幼稚園  
シカゴ大学附屬小学校……………紹介子

さゝ小舟……………土川五郎  
会報……………土川五郎  
少年音楽家(三)……………岡田美津

#### 第七号

乳兒幼兒の保護を如何にすべきか……………生江孝之  
幼兒の供述……………塚原政次  
楽しい思ひ出……………愛友幼稚園  
嵯峨行きの記……………日彰幼稚園  
ノートの中より……………K T  
螢采い。水鉄砲。桃太郎。鳩。……………土川五郎  
雑録(講習会。音楽会。其他)

少年音楽家(四).....岡田美津

第八号

我國の現状と幼児教育問題.....乗杉嘉寿

簡易幼稚園及其方法の研究についての希望.....乙竹岩造

豆ちぎり.....京都日彰幼稚園

林間保育について.....滋賀八幡幼稚園

雑報

発達せざる心の偉大さ.....菅原教造述

子供と食物.....青木醇一述

第九号

良い児に現はれる徴候について.....桑野久任

玩具自作の奨励.....藤五代策

児童福祉増進会を設立せよ.....艶子訳

我園の積木.....日彰幼稚園

紅葉狩.....土川五郎

児童衛生展覧会趣旨書.....内務省

幼児の養護について.....青木醇一述

少年音楽家(五).....岡田美津

第十号

託児所の保姆.....藤井利誉

内務省が児童衛生展覧会を開催する所以.....久住謹輔

秋季皇霊祭の朝の二時間.....平島権蔵

玩具選択上の標準.....藤五代策

日記の中より.....日彰幼稚園

幼稚園の改造意見.....久門嘉祐

雑報

少年音楽家(六).....岡田美津

第十一号

児童の保健衛生.....久住謹輔

児童衛生展覧会を観る.....星野楽子

育児に関する迷信的伝説.....内務省

出産に関する特殊の風習.....内務省

児童の子守唄.....内務省

律動遊戯の補遺.....土川五郎

雑報

少年音楽家(七).....岡田美津

第十二号

幼児と宗教心.....姉崎正治

眼の衛生.....石原博士

秋の虫・山の向ふ……………神戸市保育会

風車・水車……………大阪市保育会

お伽噺と幼稚園董話……………萩野ヒサ

玩物使用法とその効果……………久門嘉祐

雑報

日本幼稚園協会評議員会・京阪神保育会・福島県保育会・其他

第二十一巻

第一号

社会の趨勢と本会の計画……………湯原元一

幼児保護に関する諸問題……………生江孝之

児童観の変遷……………高島平三郎

幼稚園教育と児童保護事業……………小沢一

託児所の実際……………丸山千代

我子に試みつくある一二……………榎田千恵子

童話の撰択とその心理的基礎……………青木誠四郎

此頃思ふこと……………甘粕なべ子

侃あげ……………池田とよ

婦人共立育児会について……………一會員

街上雜観……………みどり

雑報

少年音楽家……………岡田美津

第二号

おとぎばなし(口絵)……………加藤まさを

現時の保育問題……………森川正雄

国家と児童……………三輪田元道

森の幼稚園……………倉橋惣三

米国における児童福祉事業の新計画……………高木光之介

まゆだまに就いて……………坂内ミツ

雑報……………黒瀬艶子

幼児のうその研究……………黒瀬艶子

### 第三号

独逸の子供に代りて……………メヒレンブルヒ博士

独逸児童教育の頓挫……………前田不二三

聞いたまゝ……………みどり

独逸の児童は如何にして成育するや……………チール嬢

看過され易きことども……………長尾美知

神戸に生れた英語遊戯会について……………一保 姆

雑報……………黒瀬艶子

幼児の発問の研究……………黒瀬艶子

### 第四号

児童保護宣伝の趣意……………湯原元一

新入園の幼児を迎へて……………藤井利誉

遠足と携帶品……………竹野芳次郎

子供のためのサンマー・カテーヂ……………石原君子

米国視察談……………大森亜仁子

日記のひとふし……………やよひ

皆様に聞いて頂きたいことは……………みかさ

伝染病予防及消毒法……………東京女高師医局

児童保護宣伝の諸計画……………

雑報……………

現時の保育問題……………森川正雄

### 第五号

両親教育の話……………後藤新平

子供に代りて……………安井哲子

子供の食物……………坂本花代

粘土細工に就て……………宇都宮多歌子

子供の要求する庭園……………上原静子

小児の伝染病……………豊福環

習ひ性となる……………松岡久子

会報……………

児童保護宣伝の盛況……………一 幹 事

### 第六号

幼児教育と幼児保護事業

小 沢 一

幼稚園におけるプロジェクト

久保良英

彼等に勝利を与へよ

河井道子

教育について感ずることども

茂木山子

謡曲の仕舞を遊戯とせし形

大和田りよう

子供をのんびりとにこやかに

林 久 子

二十余年の経験から

千葉 秀子

水上学寮の子供達

古屋としの

子供を大切にせよ

塚本はま子

米国の夏と日本の夏

林千代子

奥国児童保護事業の情况

甘粕なべ子

乳児期から四歳迄の子供の食物(三)

一戸伊勢子

読者の声

地方の一会員

日本幼稚園協会に望む

地方の一読者

岸和田の児童保護宣伝

佐藤満寿

倫敦より

都鄙児童自由画展覧会を見て

一 会 員

雑報

会報

総会、講習会、神戸児童学会、神戸保育会、第二回全国幼稚園関係者大会、

独逸児童救済寄附金報告、等

### 第七号

童話選択の諸原則

松村 武雄

ニウージイランドにおける母子保護問題

生江孝之

我が子に就て感ずることども

前田すみこ

新設江東橋託児所に就て

梶 塚 要子

米国の秋と音楽

安村楨子

乳児期から四歳までの子供の食物(一)

一戸伊勢子

「子供のお家」の創立に就て

門 田 つ や

会報(夏期講習会其他)

会報

独逸児童救済に對す感謝

ゾルフ大使

幼児保護事業(一)

小 沢 一

### 第八号

第十号

神童と幼児教育……………吉田熊次

子供の教養……………北豊吉

子供は心を正直に体を丈夫に……………松本蓮子

日本聾話学校……………畑足子

子供の歌について……………外山国彦

賛育会の近況……………河田茂

三崎会館託児所……………保坂ひろ

古川橋保育所について……………津久井とし

東京感化院の此頃……………勝又井と妙

会報……………土田行学

幼児保護事業(一)……………小沢一

異常児の幼稚園……………樋口長市

細民階級の幼児保護……………野田忠広

三人の子の母として……………塚原はま子

此頃思ふことも……………松岡久子

子供と音楽……………小松広子

自然的要素と児童教育……………留岡幸助

東京児童保護協会……………三浦謹三郎

大正婦人会託児所……………佐伯富士子

福田会内の新設乳児保育所……………神田董子

会報……………淡路円次郎

児童の睡眠時間……………淡路円次郎

第十二号

盲児に幼稚園教育の必要なる所以……………町田則文

小児結核予防と衛生幼稚園の必要……………岡田道一

幼稚園への希望……………桜井光華

冬になって母親の考へること……………戸野みちゑ

新栄養学説の話……………本間辰蔵

幼児糞便検査について……………大阪市立桃園幼稚園

第二十八回京阪神連合保育会……………同会

其の会を見るの記……………他県の人

全国保育者大会の概況……………帝国教育会

大正十年を送る……………黒瀬艶子



第二十二卷

第一号

フレーベル教育思想の一面観	乙竹岩造
米国に於ける母性保護法案	生江孝之
幼児教育の改善	野口援太郎
児童保護問題に対する一斑的考案	宮川宗徳
<small>新年</small> 旭光照波	中沢登兎
子供等を日光に浴させよ	丸山千代子
東京府代用児童研究所開設	武田真量
都会児童のために遊園地を	青木醇一
日暮里護幼会設立に就て	佐藤智孝

第二号

就任の辞	茨木清次郎
澄宮殿下と我が幼稚園	宇佐美けい子
子供向き雛節句の料理	手塚かね子
大阪市幼稚園動植物育養方針	神戸保育会
幼児の躰方	千葉秀子
ピョン太郎歌留多に就て	野尻てつ

膳先生銅像除幕式の日	楓二子
たゞ一言	膳まき子
浅草会館の諸事業	矢島保高
会報	
フレーベル巡礼	倉橋惣三

第三号

末子や独り子と幼稚園	平田華蔵
離乳後子供に与へる食物	竹野芳次郎
中間学校としての幼稚園	青木誠四郎
子供とダンス	池内とく子
女工及内職従業者の子供	林かつ子
<small>愛国</small> 児童健康相談所の調査	武崎宗三
<small>婦人会</small> 乳児生齒期の注意	竹内茂代
会報	
幼児の家庭の職業とその知能との關係	苦瓜恵三郎

第四号

幼稚園の価値	吉田熊次
モンテソーリの母親学校を觀る	樋口長市
子供の喜ぶ春の御馳走	坂本花代
シカゴとベルリンの子供	上原敬二

異常性格の児童に対する家庭教養上の注意……………杉田直樹  
 児童音楽倶楽部の設立について……………安村楨子  
 子供の洋服に就いて……………福岡安子  
 子供の育て方について……………村田美都子  
 砂場の設計に就き質問……………一會員  
 御答へ……………坂内ミツ子  
 会報……………

日本に於ける基督教幼稚園……………アニー・エル・ホーキ―

第五号

童話の遊離性に就いて……………松村武雄  
 玩具製作と家庭教育……………藤五代策  
 幼稚園の同窓会……………甲賀ふじ  
 春の自然に親ませよ……………平島権蔵  
 幼児の遊戯について……………小向喜美子  
 児童就学前の衛生……………豊田作太郎  
 歐洲児童の健康状態に就いて(ジョセフソン)  
 雑報……………

第六号

親たるつとめ……………佐々木吉三郎  
 子供の思考力の養成……………石原きみ子

教育と盆栽……………竹島茂郎  
 子供のそだて方……………竹内薫兵  
 児童と建築……………渡辺仁  
 幼児教育と唱歌……………青木存義  
 日記の一節……………坂内ミツ  
 都会の子供等への同情……………一會員  
 新案おてだま……………久門嘉祐  
 雑報(各地児童愛護宣伝)……………

第七号

新設善隣館の諸事業……………山田やす子  
 幼稚園時代の男児服と下著……………樫田千恵子  
 童謡雑話……………松島彝  
 手軽に出来る女児服と其の下著……………及能いそ子  
 夏季小児の衛生に就て……………五島博  
 幼児に対する私の愚見……………熊代豊  
 欧米に於ける児童保護……………倉橋惣三  
 雑録……………

第八号

子供を実生活に接触せしめよ……………佐々木秀一  
 新しくして快い玩具に就て……………坪井秋家  
 岩崎義塾……………

幼稚園時代の男児服と下着……………榎田千恵子  
 手軽に出来る女児服……………及能いそ子  
 小児の脳症に就て……………坂内医学士  
 戦後の教育……………沢柳政太郎

第九号

児童と製作……………中田俊造  
 小児の食物に関する実話……………小野辰次郎  
 小児の百日咳に就いて……………豊福環  
 童謡の要訣……………葛原幽  
 子供は親の親である……………山田忠正  
 異常児の身体的特徴に就いて……………寺沢巖男

第十一号

体育と幼稚園……………富永たか子  
 異常児童の身体的特徴(一)……………寺沢巖男  
 動物虐待の心理的考察……………広井辰太郎  
 童謡二つ……………茂子由子  
 デフテリヤの話……………宇都野研  
 過去十箇年……………会沢タカエ  
 消化不良に対する家庭手当法……………依田春子  
 女児の下着兼用スウェーター……………中島しげ子

福岡幼稚園だより……………萩野ヒサ子  
 新案幼稚園観物……………新案幼稚園協会  
 シカゴ及コロンビア大学の幼稚園……………倉橋惣三  
 雑纂

独逸フレイベル会のために——女学校同窓会の幼稚園——信州上高井幼稚園  
 ——福島県保育大会——松村博士「童謡と児童の研究」——「幼児の研究」の創刊——大日本家庭幼稚園の事業

謹告

独逸フレイベル会寄附金募集

第十二号

子供の経済心の養ひ方……………倉橋惣三  
 家庭に於ての子供に關した節約に就て……………塚本はま  
 二葉保育園の廢物利用……………記者  
 異常児の身体的特徴に就て(つゞき)……………寺沢巖男  
 おはなし……………新城よし子  
 託児所の教育的意義……………三好豊太郎  
 消費展を見る……………K・H  
 謹告

独逸フレイベル会寄附金募集

第二十二卷

第一号

表紙絵(リヒター)

巻頭

幼児教育の急務

都市の発達に伴ふ児童問題

子供は如何なる本を読むのを好むか

低能児教育に就いて

動作遊戯「ピョン太郎の運動会」

幼稚園のゲーム

大阪保育会の感想

リヒターについて

英国の保育学校

万国幼稚園協会案幼稚園要目

雑纂

第二号

巻頭

社会教育と子供

昼間託児所の諸問題

冬の小児の保健

保姆と園児との接触と幼児の興味

おはなし二つ

幼稚園のゲーム

個人性格と社会性格

幼稚園要目(二)

第三号

表紙絵(リヒター)

巻頭

幼稚園経営者としての立場から

ペスタロッチ先生の跡を訪ふ

幼稚園改善の急務

「幼稚園改善の急務」を讀みて

「幼稚園の理論及実際」より

児童就学に対する母親の注意

幼稚園に我が子を送て感じた事

幼稚園要目

第四号

表紙絵(リヒター)

朝原梅一

太田孝之

馬場定一

新庄よし子

土川五郎

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

巻頭

幼児の美的陶冶……………阿部重孝  
 小学校から幼稚園への希望……………堀七蔵  
 幼稚園から小学校へ……………倉橋惣三  
 幼児最初の学校生活……………山内俊次  
 幼稚園附属設備について……………馬場定一訳  
 英国保育学校令並に訓令―「社会と教化」より―  
 四月の園芸……………竹島茂郎  
 お子さんを初めて幼稚園に送る方へ……………倉橋惣三  
 幼稚園のゲーム……………土川五郎  
 幼稚園要目

第五号

表紙絵(リヒター)  
 巻頭  
 幼稚園教育の普及策如何……………藤井利誉  
 平凡の真理……………下田次郎  
 子供の間食に就いて……………樫田十次郎  
 幼稚園の細目……………馬場定一訳  
 英国保育学校規定並に訓令―「社会と教化」より―  
 製作に於ける自由材料と廃物の使用……………メリー・ウキルコックソン  
 幼稚園要目

第六号

表紙絵(リヒター)  
 巻頭  
 総会開会に当りて……………茨木清次郎  
 社会と自分……………大島正徳  
 林間保育……………長浜幼稚園  
 幼稚園の細目……………馬場定一訳  
 総会の記  
 幼稚園要目  
 雑纂

第七号

幼児の教育  
 第七号  
 本誌の拡張に就て……………茨木清次郎  
 プロジェクト法と幼稚園の作業……………乙竹岩造  
 教育問答(一)……………倉橋惣三  
 子どもの悪癖と僻み……………天野誠斎  
 初夏の幼児の保健に就て……………太田孝之  
 夏の自然(委節の科学)……………堀七蔵  
 童話 可愛らしい光姫たち……………よしを  
 児童芸術と彫塑展覧会……………朝蔭其明

私の子供の絵……………山形寛

石鹼玉遊びの玩具いろ／＼……………藤五代策

童謡 かけくら……………作曲・萩原英由一  
……………作詞・藤原英由一

万国幼稚園 幼稚園要目(続き)……………本誌記者

英国其他諸国に於ける保育学校の近況……………本誌記者

長編 小説 お春……………岡田美津

雑報……………記者

日本幼稚園協会 会員名簿

### 第八号

東西洋の子守唄……………松村武雄

ある奥さんとの話……………倉橋惣三

子供の心……………天野誠齋

衛生 子供の夏の旅行に際して……………竹内薫兵

途上劇 子供すぎ……………K M 生

子供に させる 塗り絵と貼り絵……………及川ふみ

童謡 小さい音楽家……………山崎みつ子

童謡 大きなお日様……………作曲・萩原英由一  
……………作詞・藤原英由一

律動 大きなお日様・かけくら……………土川五郎

遊戯 大きなお日様・かけくら……………倉橋生

児童彫塑展覧会を看て……………倉橋生

詩 生長する環境……………橋爪健

家庭 おもちや箱から……………藤五代策

鳴く虫の話……………平島権蔵

万国幼稚園 幼稚園要目(続き)……………本誌記者

海外 幼稚園・小学校の初等年級のプロジェクト……………本誌記者

長編 小説 お春……………岡田美津

雑報……………記者

### 第九号

情操教育と芸術教育……………倉橋惣三

東西洋の子守唄……………松村武雄

子供の生活と教育……………河野清丸

子供の健康……………天野誠齋

童謡 おほし様……………増水耕三

楽譜 お星様……………高沢隆

表情 お星様……………土川五郎

遊戯 お星様……………橋爪健

詩 焦燥……………山崎みつ子

童話 人が馬になる話……………川副佳一郎

童謡 BATA NO SHISHI……………藤五代策

玩具 おもちや箱……………本誌記者

万国幼稚園 幼稚園要目(続き)……………本誌記者

長編 小説 お春……………岡田美作

第十二号

第二十四卷

会員諸君へ……………	倉橋惣三
大災と幼児教育……………	倉橋惣三
不良児の研究に就て……………	三好豊太郎
新年を利用して子供の矯正……………	天野誠齋
長詩 春の寝顔……………	橋爪健
童謡 手毬と紙鳶……………	吉丸一昌作歌 楠美恩三郎作曲
律動 手毬と紙鳶……………	土川五郎振付
叱り方いろく……………	天野誠齋
大震雜感……………	坂内ミツ
本願寺託児所について……………	記者
お茶の水の幼稚園の焼け跡に立ちて……………	倉橋生
東京市の罹災幼稚園……………	記者
小説 お春……………	岡田美津

第一号

読者諸君へ……………	主
東京市幼稚園復興問題……………	田中三郎
バラック幼児保護調査……………	倉橋惣三
個人対話の教育価値……………	馬場定一
幼稚園細目(統)……………	藤五代策
玩具は発見発明の街道……………	土川五郎
雀の学校(遊戯)……………	倉橋惣三
『家なき幼稚園』を訪ふ……………	倉橋惣三
第二号	
自発活動と目的活動……………	倉橋惣三
メルタルテストに就て……………	古川竹三
童謡 鬼さん……………	土川五郎
楽譜	
遊戯	
童謡 とはせんぼ……………	土川五郎
楽譜	

遊戯

長編 小説 お春……………岡田美津  
此の春……………倉橋生

第三号

自発活動と目的活動……………倉橋惣三  
メンタルテストに就て……………古川竹二

たこ(童謡)……………茂木由子  
凧(楽譜)……………萩原英一

凧(遊戯)……………土川五郎  
長編 小説 お春……………岡田美津

第四号

自発活動と目的活動……………倉橋惣三  
幼稚園細目……………馬場定一

夏……………堀七蔵  
如何なる玩具を選ぶべきか……………山内俊次

長編 小説 お春……………岡田美津

第五号

創造性と鑑賞性……………倉橋惣三  
幼稚園細目(続)……………馬場定一

幼児保育の疑義……………五味義武

お月様……………堀七蔵  
露天保育……………記者

小学校に於ける初年教育の標準……………フレドリックビーボンサー  
外苑の雑草……………みどり

長編 小説 お春……………岡田美津

第六号

創造性と鑑賞性(二)……………倉橋惣三  
二人の父……………石田馥

泰西名家幼稚園観……………記者  
動作遊戯(お池の緋鯉)……………土川五郎

南支那地方視察の一節……………視察団記者

第七号

行啓を迎へまつりて……………倉橋惣三  
幼稚園細目……………馬場定一

保育日記……………記者  
砂場自由遊……………オ、ツカ

ある一日……………吉川コハル  
断片……………河野ソノ

第四回全国幼稚園関係者大会



泰西名家幼稚園観……………	記	市川みち
第四回全国幼稚園関係者大会状況の御報告……………	よ	し
夢の国旅行……………	を	

第八号

幼稚園は初年教育に対して

如何に準備するか……………マリー・ジー・ウエスト

幼稚園細目……………馬場定一

小話……………おちば

泰西名家幼稚園観……………記者訳

大正十三年を送る……………K H

第二十五卷

第一号

幼稚園細目……………馬場定一

御挨拶……………倉橋惣三

遊戯 雨だればつづりさん……………土川五郎

私の子供の字を覚えた話……………山形寛

小児衛生「子供の姿勢に注意なさい」……………岡田道一

大正十三年最終の保育誌……………頼原美代

長編小説『兼ちやん』……………岡田美津

第二号

幼稚園の使命……………堀七蔵

幼児の口腔衛生について……………金谷増

御挨拶……………堀七蔵

遊戯 動作「あられ」……………土川五郎

子の思を知って……………金子彦三郎

東京保育協会の設立……………記者

重心を利用した玩具の作り方……………藤五代策

眩惑……………土川五郎

東京市保育会の近況……………記 者  
長編『兼ちゃん』……………岡田美津

### 第三号

欧米の保育状況……………上島直之  
高等女学校に幼稚園を附設せねばならぬ……………堀七蔵  
踊雛のいろく……………藤五代策  
遊戯「雪の子」……………土川五郎  
動作……………金子彦三郎  
妙な子守唄……………  
幼児の眼……………東京女子高等師範附属幼稚園  
群馬県保育会総会情况……………森島順之助  
附属幼稚園だより……………医 峰  
長編『兼ちゃん』……………岡田美津

### 第四号

欧米の保育状況……………上島直之  
幼児の家庭……………東京女子高等師範附属幼稚園  
遊戯「蕃音機」……………土川五郎  
幼児にきかせる話……………水谷年恵  
保育叢談……………  
幼なぐさ……………臥 雲  
東京女高師幼稚園だより……………医 峰

長編『兼ちゃん』……………岡田美津  
第五号

幼稚園の朝……………倉橋惣三  
幼児の目測に関する研究……………神戸幼稚園  
親鳥と雛……………堀七蔵  
八百屋遊び……………及川ふみ  
初学年児童の数値念調査……………岩下吉衛  
保育者代表協議会の状況……………記 者  
打たずに鳴る太鼓……………金子彦二郎  
育児叢談(一)……………記 者  
東京女高師幼稚園だより……………医 峰  
長編『兼ちゃん』……………岡田美津

### 第六号

幼児教育の方法……………北沢種一  
幼児の舞踊について……………倉橋惣三  
秋の圃場……………竹島茂郎  
新任の一日……………松木初枝  
幼児の活動性……………堀七蔵  
育児叢談(二)……………記 者  
幼児の生活……………附属幼稚園一保母

遊戯講習会の盛況……………記 者

教育会館の建設に就いて再び全国二十万の教育家

諸君に訴ふ……………沢柳政太郎

小説 兼ちやん……………岡田美津

第七号

幼児教育の方法……………北沢種一

幼児の自由か保育者の予定か……………ムラサキ

哺乳に関する二三の事項……………堀七蔵

秋の園場(一)……………竹島茂郎

我が幼稚園に於ける訛音の調査……………中村楠雄

幼児に聴かせる唄、赤い瓶青い瓶……………水谷年恵

育児叢談(四)……………記 者

地から湧いた幸福……………金子彦二郎

幼ぐさ……………臥 雲

小説 兼ちやん……………岡田美津

第八号

幼児教育の方法(三)……………北沢種一

双子の蚯蚓……………シゲル

第三十二回京阪神連合保育大会……………大西精一

秋の一日……………孝 子

きびがら細工(其二)……………山形寛

育児叢談(五)……………記 者

地から湧いた幸福(二)……………金子彦二郎

東京女子高等師範学校創立五十年記念……………医 生

幼児教育の根本原理……………静 枝 訳

第九号

幼児の食物……………堀七蔵

心理学の新傾向……………松本亦太郎

きびがら細工(其二)……………山 形 寛

幼児にきかせるおはなし……………政 衛

喜びの保育……………中村楠雄

幼稚園のお母様はかやうに……………水島さゆり

大阪市露天保育……………松川ヨネ

育児叢談(六)……………記 者

小説 兼ちやん……………岡田美津

幼児教育の根本原理(二)……………静 枝 訳

第二十六卷

第一号

御令旨

大臣祝辞校長式辞

東京女子高等師範学校開校五十年記念式日より

本邦幼稚園教育創始滿五十年

内親王殿下御誕生

皇孫御養育の御革新

きびがら細工(其三)

田舎の幼児を集めて

育児叢談(七)

幼児を入園させて

子供の世界

智慧くらべ

長編小説 兼ちやん

第二号

本邦に於ける幼稚園教育史

きびがら細工(其四)

英ちやん物語

維納市に於ける幼稚園に就いて

育児叢談(八)

猿が恩を返した話

和歌山保育会の成立と活動

我が園の一日

長編小説 兼ちやん

自由遊び

第三号

本邦に於ける幼稚園教育史(二)

私立幼稚園の経営

こども

お雛祭り

きびがら細工(其五)

草花の播種に就いて

幼児食物の實際

長編小説 兼ちやん

自由遊び

第四号

本邦に於ける幼稚園教育史(三)

鹿の子

小山秀子

記者

金子彦二郎

中橋楠雄

山崎ひさ子

岡田美津

ふじの沢

堀七蔵

和田実

よしこ

松川ヨネ

山形寛

大岩金

政衛

岡田美津

ふじの沢

堀七蔵

幼児に聴かせる嘶、みみちやんと雀……………水谷 年 恵

感じたるまゝを……………松川 ヨシカ

初めて童魂に触れて……………平尾 ヨシカ

草花の播種に就いて(一)……………大 岩 金

保育叢談中より……………中村 楠雄

まがりかど……………倉橋 惣三  
室崎 琴月  
土川 五郎  
振曲 歌

育児叢談(九)……………記 者

お茶の水幼稚園だより……………医 生

長編 兼ちやん……………岡 田 美 津

自由遊び……………ふ じ の 訳

### 第五号

幼稚園令公布……………倉 橋 惣 三

幼児の嗜好、恐怖に関する調査……………堀 七 蔵

都市の幼稚園と幼児の保健……………青 木 醇 一

トーム式教育法……………伊 藤 堅 造

端午のお節句の話……………松 川 ヨシカ

花壇の作り方……………大 岩 金

おもいでのようにえん……………手塚 禎子

ぬり多孔雀……………及 川 文 子

影ふみ……………土 川 五 郎

幼児にきかせる話、ライオンと兎……………し げ る

フレーベルの日に……………倉 橋 惣 三

——フレーベル巡礼の思ひ出を辿りて——

長編 兼ちやん……………岡 田 美 津

### 幼稚園令

### 第六号

幼稚園保姆の実質……………倉 橋 惣 三

低学年児童と其陶冶の一斑……………洪 谷 義 夫

林間幼稚園経営の実際……………中 村 楠 雄

花壇の造り方(二)……………大 岩 金

保護者会に臨みて感じたるまゝを……………大 江 政 衛

一銭玩具展覧会を見て……………よ し こ

チヨコレート……………土 川 五 郎

ぬり多……………及 川 文 子

新幼稚園令に依る保姆……………清 水 福 市

長編 兼ちやん……………岡 田 美 津

### 第七・八号

(幼稚園令発布記念全国幼稚園大会記録)

大会光景(写真)

声明書

大会日程

大会議案

議長開会の辞

祝辞及挨拶

幼稚園功労者への感謝状及謝辞

大会議事

第一日 第二日 第三日

議長閉会の辞及謝辞

講演

幼稚園令並同施行規則について

幼稚園令の実際の問題

研究発表

幼児人物画の発神達

大阪に於ける幼稚園の沿革

都市幼児の情操教育に就て

大会出席者名簿 大会余録

第九号

口絵 砂遊び自動車

「善良なる性情」

世界的な二つの幼児教育

(一)保育学校と母性.....マクミラン女史

(二)ジュネーブに於ける子供の家.....レスター女史

保育事項としての「観祭」に就て.....和田実

遊戯「砂のトンネル」.....土川五郎

童話「春雄さんと蟻」.....中村楠雄

童話「兄ちゃんの夢」.....大塚喜一

幼児に聴かせる話.....お茶の水幼稚園

「猫のお見舞」.....

「ポコポコ」.....

麦湯.....よしこ

托児所にありて感じた事ども.....高梨花子

砂遊び自動車.....富士見幼稚園

雑録.....

第十号

口絵、「小鳥かご」.....

直感の指導について.....吉田弘

幼稚園の御姉上に保育所の妹より.....小林正金

遊戯「冬」.....土川五郎

童謡について.....久門嘉祐

手工テープに就て.....山形寛

金魚草に就て.....大岩金

幼児に聴かせる話「珊瑚のくびわ」	よ	し	こ
自然界の勸察	平	島	権
幼稚園令の説方	倉	橋	惣
観察実施案	名	古屋	市
幼稚園雑草を囲んで	の	ぎ	く
雑録			

第十一号

口絵 急行列車

幼稚園令の説み方(つゞき)	倉	橋	惣
幼稚園教育に対する所感	田	代	順
幼児の弁当	青	木	醇
柿	大	岩	金
ぬりゑ、柿	及	川	文
童話、チュンテニク小雀	中	村	楠
遊戯、月	土	川	五
公園の朝	み	ど	り

第十二号

口絵	倉	橋	惣
観察に就て	倉	橋	惣
子供の教生活の指導	岩	下	吉
	兵	衛	

紹介欄

改正幼稚園令の精神	(森岡常蔵)				
平凡なる事実	村	田	次	郎	
「蟹作り」に就て	大	岩	金		
遊戯、犬、小馬	土	川	五	郎	
幼児にきかせる話	附	属	幼	稚	園

第二十七卷

第一号

口絵 おもちゃ屋遊び

小学校に於ける直観科

観察の地方色

ありのまゝ

仁川公立記念幼稚園観察案

小樽幼稚園の近況

正月の胡瓜はどうして作るか

遊戯、兎

パンを焦した王様

ぬり糸、紙風船

白帆が走る

創作「いてぶのおうち」

童話「いてぶのおうち」

おもちゃ屋遊び

第二号

口絵

(ペスタロッチ肖像  
アメリカ人形)

ペスタロッチー記念日

ペスタロッチを記念す

幼稚園の課程について

観察材料の予定について

観察の地方色(一)

観察の実際

地方中心観察指導予定案

幼稚園雑草を読み

ある日

お遊戯、海の上

嵯峨野の膳女史

雑録

第三号

口絵 アメリカ人形歓迎会

幼稚園保姆の恩給について

子供時代に於ける境遇と受けし教育

我国幼稚園の生長

一、我国に於ける幼稚園の発達

二、幼稚園創立の当時

三、幼稚園の懐旧を辿りて

観察の地方色(三)

倉橋惣三

渋谷義夫

木下一雄

和田実

会沢タガエ

田坂雪

磨須子

おちば

土川五郎

倉橋惣三

野口援太郎

柿谷華王子

森岡常蔵

氏原銀子

望月くに子



冬季に於ける観察科……………大分幼稚園

各期に於ける幼児の観察について……………富田八千穂

熱帯地冬季に於ける観察実施草案……………下野江まつ

冬季に於ける観察計画……………静岡幼稚園

北海道の冬……………塚本秋

冬の観察……………佐藤満寿

観察の一日……………松若幼稚園

お遊戯、人形……………土川五郎

雑録

#### 第四号

口絵 花吹雪

アメリカのお友達を囲みて

幼稚園と尋常一年との連絡について……………木下一雄

始期の教育……………田原美栄

女児幼少時代の家庭生活について……………吉田弘

春爛漫……………水谷年恵子

新しい潮干の遊び……………平島権蔵

雑草……………大岩きん

二匹のかへる……………中村楠雄

遊戯春のよるこび……………土川五郎

動物園あそび……………女高師附属幼稚園

#### 第五号

口絵 緑蔭 チャンケンボン

幼児の伝染病……………青木醇一

幼稚園と尋常一年との連絡について(二)……………木下一雄

幼稚園生活と最初の学校生活……………山田俊次

保育上に於ける自由意志……………和田実

幼稚園の懐旧を辿りて(二)……………望月くに子

雑草(二)……………大岩きん

塗絵 シヤボン玉……………及川ふみ

童話 「雷様の太鼓」……………内山憲堂

童話 「不思議な鞠」……………水谷年恵

私の視察した欧米の幼稚園教育……………堀七蔵

遊戯 春のよるこび(つゞき)……………土川五郎

ある幼稚園の一日……………つばな

#### 第六号

口絵 砂場 お遊戯

幼稚園と尋常一年との連絡について(三)……………木下一雄

私の視察した欧米の幼稚園教育(二)……………堀七蔵

金魚……………平島権蔵

東京に於ける乳幼児愛護デーの概況……………小林正金

蕃茄の作り方……………大岩金

偶威……………大塚喜一

旅の思ひ出……………池田栄

童話 お猿の踊、狐の智慧……………水谷年恵

遊戯 かくれんぼ……………土川五郎

九州中国地方保育大会状況……………東本正水

### 第七号

口絵 手術室の設備 産婦室の光景

私の視察した欧米の幼稚園教育(三)……………堀七蔵

幼稚園の懐旧を辿りて(三)……………望月くに子

第五十二回帝國憲給法中改正法律案委員會議録 (抄出)  
國議會衆議院

頰米幼稚園の二時間……………小林正金

廿日大根と酸漿……………大岩金

童話 蟹のあぶく 慾深三太郎……………水谷年恵

星の子……………久門嘉祐

始めて保姆となつた人々のために……………中村楠雄

遊戯 雲雀……………土川五郎

幼稚園の歯磨教練と桃園幼稚園の模範的設備……………高安光三

雨の日——おながく会……………お茶の水幼稚園林の組

雑録

### 第八号

口絵 ネスト、みのり、子供園、七夕祭、遊戯の講習

めでたき準備整ふ

私の視察した欧米の幼稚園教育(四)……………堀七蔵

この頃……………千葉女師附属幼稚園

考へさせる話……………高安光三

七夕祭……………富士見幼稚園

疫痢の話……………瀬川博士

倍達幼稚園……………L・Y・S生

童話 太郎山の兎 赤い玉と白い玉……………水谷年恵

みのり子供園……………設立者

遊戯 影法師……………土川五郎

恐るべき皮膚病……………真家博士

お話 赤い洋傘 お粥の洪水……………阿閉生

雑録……………

九月の幼児生活……………卜部たみ

### 第九号

口絵 粹登り

内親王殿下御誕生

私の視察した欧米の幼稚園教育……………堀七蔵

幼稚園の懐旧を辿りて……………	望月くに子
幼児の身体教育に就いて……………	宮田覚造
成田幼稚園……………	山口政
開けてびつくり物語……………	金子彦二郎
童謡遊戯の振について……………	戸倉ハル
マツチ箱の手工……………	山形寛
童話……………	水谷年恵
童話……………	A
童話……………	B
童話……………	C
遊戯 紅葉……………	土川五郎
南満行……………	倉橋惣三

第十号

口絵 運動会……………	堀七蔵
私が視察した欧米の幼稚園教育(六)……………	ト部たみ
十月及び十一月の幼児生活……………	水島さゆり
私の幼稚園——蓑虫の巻……………	戸倉はる
童謡遊戯の振と表情について……………	久門嘉祐
幼稚園のお話……………	安間公観
ライオンの赤ちゃん……………	和田都久路
天狗の団扇……………	及川ふみ
園児作品展覧会について……………	及川ふみ
粘土でつくつた木の葉のお皿……………	及川ふみ

  

南満行……………	倉橋惣三
児童生活展覧会の印象記……………	千束
遊戯 木の葉……………	土川五郎

雑録

第十一号

口絵 マクミラン女史 記念室……………	堀七蔵
私の視察した欧米の幼稚園教育(七)……………	青木醇一
幼児と清潔の習慣……………	望月くに子
幼稚園の懐旧を辿りて(五)……………	ト部たみ
十二月の幼児生活……………	戸倉ハル
童謡遊戯について……………	水島さゆり
私の幼稚園——猫の巻……………	宮田覚造
園児の体育……………	小石
コスモス日和……………	A
赤い帽子……………	B
連合体育会に出席して……………	C

雑録

大塚喜一

第二十八卷

第一号

口絵 数へ遊び(兵隊、花)

私が視察した歌米の幼稚園教育(八)

我が国幼稚園教育界の現状と問題(一)

一月の幼児生活

遊戯に忘れてならぬ三つの要件

はつかねずみの話

ゴツタード木型板作業の時間的分析

私の幼稚園

童謡遊戯について

童話 五色の羽

遊戯 ご門

灰色の父

雑録

第二号

口絵 商ひ遊

私が視察した欧米の幼稚園教育(九)

幼児の抽出検査

二月及び三月の幼児生活

学校伝染病に就いて

幼児の劇

行進遊戯について

商ひ遊

遊戯 七夕

象

雑録

第三号

口絵 雛祭り

幼児の眼

幼児の運動的遊戯に就いて

私の幼稚園

幼児の遊びを如何に整理するか

児童の劇演出

良きふりかへり

行進遊戯について

童話 蟹のお寺

鶯と亀 ポン太郎の石ころ

遊戯 お菓子子の汽車

京都市保育会

卜部 たみ

矢尾板ヨキ

長尾 豊

戸倉 ハル

高崎第二幼稚園

大阪北区保育会

土川 五郎

荘司 秋白

寺谷 朝蔵

水島 さゆり

三浦 ひろ

長尾 豊

中村 楠雄

戸倉 ハル

久門 嘉祐

水谷 年恵

土川 五郎

四月の幼児生活……………ト 部 た み

第 四 号

口絵 ベスタロチーフレールベルハウス

私が視察した欧米の幼稚園教育……………堀 七 蔵

我が国に於ける群団テストの実際……………東京市番町小学  
校附属幼稚園

性質の生物学的考察……………哲 化 人

五月の幼児生活……………ト 部 た み

保育要目配当表……………熊本幼稚園

童話……………水 谷 年 恵

時計の歌

雑録

第 五 号

口絵 端午の節句 万国子供の日の集ひ

私が視察した欧米の幼稚園教育……………堀 七 蔵

幼稚園の懐旧を辿りて(六)……………望 月 くに

御茶水在園幼児の観念調査……………東女高師教生

六月の幼児生活……………ト 部 た み

遊戯としての劇……………長 尾 豊

交通整理遊びに就て……………大阪市道仁幼稚園

万国子供の日の所感

童話(蛙のお舟、昭和の金太郎、鯉のぼり)

雑録

第 六 号

口絵 砂箱、大積木

日本幼稚園協会総会予告

私の視察した欧米の幼稚園教育……………堀 七 蔵

七月の幼児生活……………ト 部 た み

簡単な運動の遊戯化……………三 浦 ひ ろ

劇よりもお話……………長 尾 豊

幼児の特技について……………久 門 嘉 祐

朝の一時間……………む ら さ き

此の頃の実話……………つ ば な

遊びの二三……………及 川 ふ み

童話 藝蛙の自慢……………水 谷 年 恵

桐の花……………さ お り

遊戯 田植……………土 川 五 郎

ちい坊……………水 島 さ ゆ り

東京市保育会総会

第七号

口絵 七夕祭 自然物を応用した額

日本幼稚園協会絵会予告

私の視察した欧米の幼稚園教育

行儀作法嬢方の根本方針

幼児期の情意教育に就て(一)

幼児の夏の病気

自然物を額に応用することについて

保育手帳から

幼児の特技に就て

或る夜のできごと

裸ん坊

遊戯 蛙と蜘蛛

第八・九号

口絵 日本幼稚園協会絵会 人形の家

私の視たる米国の幼稚園教育

幼児期の情意教育について(二)

子供の遊戯と表情

お話と劇と

交通遊びについて(一)

幼児の抽出検査(一) 京都市保育会研究部

童話 黄金の花 水谷年恵子

入道雲とボン太郎 同

くちなし さをり

保育作用の積極的方面 倉橋惣三

九月及び十月の幼児生活 卜部たみ

暑さの午后 今治昭和幼稚園 田坂雪

うす泥棒 金子彦二郎

日本幼稚園協会絵会 記 者

幼児の仕舞について 久門嘉祐

幼児の書き方について 本郷区第一幼稚園

我が園児の心に映じた金魚 東京市番町小学校附属幼稚園

一年の先生とお話しての感想 卜部タミ

立体紙摺の世界と観察の世界 静岡桜幼稚園 林せい子

幼稚園に於ける自由遊びの地位 大塚喜一

感想 高松玉藻幼稚園 推名静枝

同 石野喜十郎

創立当時の唱歌 氏原銀子

感想 桑港金門学園 膳真規子

同 多田池袋幼稚園長 河合長子

同 総会出席者の一人

堀 七 蔵  
和 田 実  
大塚 喜一  
青木 醇一  
望月 タニ  
卜部 たみ  
久門 嘉祐  
新庄 よしこ  
水島 さゆり  
土川 五郎

堀 七 蔵  
大塚 喜一  
三浦 ひろ  
長尾 豊  
大阪市立道仁幼稚園

文部省主催幼稚園に関する講習所感……………医 峯 生

第十号

口絵 大工仕事・ふら〜人形

私の視察したる米国の幼稚園教育(一)……………堀 七 蔵

幼児期の情意教育に就て(三)……………大塚 喜 一

尋一の教育から……………田 原 美 栄

十一月の幼児生活……………ト 部 た み

見るものと見せるもの……………長 尾 豊

最近欧米ダンス界に表れし一傾向……………三 浦 ひ ろ

秋……………よ し こ

私の幼稚園……………水 島 さ ゆ り

草莓……………大 岩 金

ふら〜人形……………及 川 ふ み

お猿のはなし……………水 谷 年 恵

幼児の仕事の一つ……………新 庄 よ し こ

御大典奉祝遊戯千代の栄……………土 川 五 郎

かげぶみ……………戸 倉 ハ ル

雑録

第十一号

口絵 運動会・秋季大運動会・紐育の保育学校の保育室・屋上運動場のすべ

り台  
奉 祝

偶感……………吉 岡 脚 甫

私の視察したる米国の幼稚園教育(二)……………堀 七 蔵

幼児期の情意教育に就て(四)……………大塚 喜 一

我国最初の保姆豊田英雄女史をお訪ねして……………倉 橋 惣 三

葡萄……………さ お り

アメリカの幼児教育を見て(一)……………宮 田 覚 造

断片……………一 保 姆

狸が恩を返した話……………金 子 彦 二 郎

連続的作業を中心としての手技……………及 川 ふ み

十二月の幼児生活……………ト 部 た み

第十二号

口絵 自然物利用、教育会館

私の視察したる米国の幼稚教育(四)……………堀 七 蔵

視察に関する研究(一)……………台 北 幼 稚 園

アメリカの幼児教育を見て(二)……………宮 田 覚 造

劇演出以前に……………長 尾 豊

おはなしの仕方……………金 子 彦 二 郎

一月の幼児生活……………ト 部 た み

童話 ちびすけ・たたり柿……………水 谷 年 恵

童話 森の中の古靴、駒鳥の胸の赤くなつた話……………	A
遊戯 進軍……………	B
幼稚園懐旧談話会の日……………	C
新庄よし子	
自然物の玩具に就て……………	膳真規子
雑録	

第二十九巻

第一号

口絵 豊田美雄子先生、小西信八先生	
文部省訓令第二十号	
昭和四年を迎へて……………	堀 七 蔵
我が国幼稚園の歴史……………	下田田鶴子
幼児教育の今昔……………	豊田美雄子
私の監事時代……………	小西信八
中村正直先生……………	氏原銀子
所感……………	膳真規子
入学以前に於ける幼児の教的生活(一)……………	卜部たみ
観察に関する研究……………	台北幼稚園
二月の幼児生活……………	卜部たみ
遊戯 おほさむこさむ……………	土川五郎
童話 ちい坊の初夢……………	水谷年恵
自然物の玩具に就て……………	膳真規子

第二号

口絵 お雛様



私の視察したる米国の幼稚園教育(五)……………堀 七 蔵

子供の遊びに関する材料の変化について……………三 浦 ひろ

劇といふ名を聞いて……………長 尾 豊

こはい動物といやな動物……………東京女子高等師範学校附属幼稚園

或る座談会……………小 石

金港幼稚園の此の頃……………石 野 孝

自然物利用の雛祭に就て……………膳 真 規 子

三月の幼児生活……………卜 部 た み

幼児に聞かせる話……………一 保 姆

遊戯 雛まつり……………土 川 五 郎

幼稚園に於ける観察(一)……………堀 七 蔵

### 雑 録

## 第 三 号

口絵 台湾宜蘭幼稚園……………高崎第一幼稚園

幼稚園のおまつり(積木利用の山車)……………堀 七 蔵

私の視察したる米国の幼稚園教育(承前)……………卜 部 た み

入学以前に於ける幼児の数的生活(二)……………水 間 盛 三 郎

日本大学幼稚園に於ける口腔衛生の現況(一)……………膳 真 規 子

小犬……………一 保 姆

幼稚園の園芸に於て……………膳 真 規 子

岡山訪問記……………一 保 姆

童話といふもの……………長 尾 豊

母の心……………千 代 子

感想……………吉 武 よ し 子

セルリの栽培(一)……………大 岩 金

幼児の体育は如何にすべきか……………竹 内 茂 代

幼稚園の手工……………山 形 寛

幼稚園に於ける観察(二)……………堀 七 蔵

すみれ……………土 川 五 郎

## 第 四 号

口絵 電車が走る……………倉 橋 惣 三

幼稚園医令の発布……………堀 七 蔵

私が視察したる米国の幼稚園教育(承前)……………及 川 ふ み

新入園幼児をむかへて……………卜 部 た み

入学以前に於ける幼児の数的生活(三)……………水 間 盛 三 郎

日本大学幼稚園に於ける口腔衛生の現況(二)……………膳 真 規 子

岡山訪問記(二)……………堀 七 蔵

紐置き遊びに就て……………膳 真 規 子

踊と幼児教育……………水 島 さ ゆ り

謡曲から童話へ……………水 谷 年 恵

セルリの栽培(二)……………大 谷 金

五月に於ける「観察」……………堀 七 蔵

第五号

口絵 ひかげ、大きなお日さま、おはなし……………東京女子高等師範学校  
附 属 幼 稚 園

夏季講習会予告

農繁託児所に就て……………倉 橋 惣 三

私の視たる米国の幼稚園教育（ホストン）……………堀 七 蔵

血液型の話……………古 川 竹 二

幼稚園の五月……………よ し こ

宿泊保育実際……………岡山県女師附属幼稚園

満四歳児の数観念……………東京女子高等師範学校  
附 属 幼 稚 園

岡山訪問記（二）……………一 保 姆

三通りの童話……………長 尾 豊

セルリの栽培（三）……………大 岩 金

童話 山のみやげ……………水 谷 年 恵

遊戯 小さな兵隊さん……………戸 倉 ハ ル

六七月に於ける観察……………堀 七 蔵

雑 録

第六号

口絵 写生、海軍記念日の日に

夏季講習会予告

保姆と詩感の教養……………倉 橋 惣 三

私の視察した米国の幼稚園教育……………堀 七 蔵

倉橋教授の高見を讀みて……………竹 村 一

「宿泊保育実際」を讀みて……………大 塚 喜 一

講習の理想境……………三 浦 ひ ろ

お話の調べはいつ始められるのか……………長 尾 豊

五月のある日……………及 川 ふ み

満四歳児の数観念（承前）……………東京女子高等師範学校  
附 属 幼 稚 園

幼児書に現れた種々……………東京女子高等師範学校  
家 事 科 教 生

嵯峨便り……………老 姉 妹

セルリの栽培（四）……………大 岩 金

童話二ツ……………水 谷 年 恵

糸は針につく……………戸 倉 ハ ル

第七号

口絵 米國イリノイス州立師範大学附属幼稚園

夏季講習会予告

私の視察したる米国の幼稚園教育……………堀 七 蔵

リズムの教育……………小 林 宗 作

倉橋先生の「保姆と詩感の教養」を讀みて……………宇 都 野 研

保育座談会

お話の調べか話方の研究か

長尾 豊

ニューカリ樹の実に就て

膳真規子

セルリの栽培(五)

大岩 金

童話二題

水谷年恵

遊戯 兎ラデオ

土川五郎

遊戯 金魚の昼寝

久保富次郎

雑録

第八号

口絵 シカゴ幼稚園

保育の栄

豊田英雄子

私の視察したる米国の幼稚園教育(シカゴの巻)

堀 七 蔵

保育座談会(第二回)

幼稚園問題に関するデユキー氏の意見(一)

大塚喜一 訳

忘れてならぬ誘導的效果

和田 実

幼児の遊園

井 下 清

狐火

水谷年恵

童話の翻訳

長尾 豊

夏期休暇中に採集せし自然物に就て

膳真規子

幼児のお友達になつてゐる自然

第九号

口絵 遊戯講習会

保育の栄

豊田英雄子

私の視察したる米国の幼稚園教育

堀 七 蔵

幼稚園問題に関するデユキー氏の意見(二)

大塚喜一 訳

幼児の秋の衛生

岡田道一

とんぼの話

哲 化 生

童話の口演

長尾 豊

林間保育随想

狩野寿平

セルリの栽培(一)

大岩 金

幼稚園の遊戯

高橋キヨウ

九月十月に於ける観察

東京女子高等師範学校  
附属幼稚園

第十号

口絵 靖国神社を中心とせる園外保育の状況

夏季聚落(日陰の自由あそび)

堀 七 蔵

私の視察したる米国の幼稚園教育

大塚喜一 訳

園外保育の実際

高橋キヨウ

作業の一般原理の教育的考察

狩野寿平

幼稚園の遊戯について(承前)

狩野寿平

保育座談会——「ぬりえ」と「ぎり紙」——

狩野寿平

静岡市私立桜花幼稚園に付……………氏原 銀

セルリの栽培(七)……………大 岩 金

夏季に於ける移動幼稚園の提唱……………相村辰之助

お話の技術……………長 尾 豊

第十一号

口絵 ハウ女史 箱のお家(一)(二)……………(一)

秋の運動会(東京女子高等師範学校附属幼稚園)

幼稚園の目的論(一)……………堀 七 蔵

我国幼児教育の功勞者……………氏 原 銀

保育談話会——(秋期に於ける觀察)

ハウ女史……………倉 橋 惣 三

園外保育の実際(承前)……………よ し こ

十一月……………よ し こ

保育座談会(粘土)……………及 川 ふ み

箱のお家……………大 岩 金

セルリの栽培(八)……………大 岩 金

童話二ツ(酔ばらひ猫、猿と焼栗)……………水 谷 年 恵

遊戯 くるくるく……………土 川 五 郎

雑録

第三十六回関西連合保育会・第一回静岡県保育部総会・頌策幼稚園並ニ保母  
伝習所創立四十年記念祝賀会とハウ女史幼稚園教育に対する記念講演会

第十二号

口絵 村の一部……………堀 七 蔵

幼稚園の目的論(二)……………

創作と作業との歴史的発展……………デニキ一氏原著  
大塚喜一氏訳

我国幼児教育功勞者……………氏 原 銀

子供のつくつたコードモカルタ……………東京女子高等師範学校  
附属幼稚園

保育談話会——秋季に於ける觀察——(承前)

秋のお遊び……………甲南幼稚園

聾啞学校參觀の一日……………及 川 ふ み

子供の作つた「いろはかるた」……………佐 藤 満 寿

粘土製作につき……………中 村 ひ ろ

研究発表……………吉 田 ゆ か

保育座談会——木工・きびがら細工・豆細工・摺紙・織紙

童話——サンタクロースに化した熊、智慧太郎……………水 谷 年 恵

切抜細工三つ四つ……………山 形 寛

村の一部——連続製作……………新庄よしこ

第三学期に於ける觀察……………東京女子高等師範学校  
附属幼稚園

雑録 朝鮮に於ける全国教育大会・乳幼児のための保護協会

第三十卷

第一号

口絵 賀陽宮家へ献上の立体紙摺

人形芝居「花咲爺」人形芝居の人形、

商ひ遊

昭和五年を迎へて

医師の立場より視たる幼稚園と幼児の伝染病

短信(一)にじみ出る教育

保育時間に関する諸問題(一)

保育座談会——談話について

立体紙摺について

子どもの歌よみ

人形之居

附「花咲爺」

紙を主としての製作附商ひ遊

桃太郎カルタ

休の日に

丸ばかりで作る切抜細工

福寿草

第二号

口絵 桜籬 おまゝごと

保育時間に関する諸問題(二)

七八歳の頃

医師の立場より見たる幼稚園と急性伝染病

ストーブを囲んで——遊戯についてはなし

幼児の握力調査

五十余年前大阪より保育見習のため上京しせ思出

関西保育大会の今昔

おはなしについての反省

幼児漫談

人形 お菓子の家

桜籬のつくり方

シネラリヤ

遊戯 輪あそび

雑録 久保氏の通信、保育実習科生徒募集、本年三月卒業の保育実習科生徒

第三号

口絵 ある日の午後 雪景(砂箱)

幼児の生活

堀 七 蔵

デユキ一原著

大塚喜一 信

島

東京女子高等師範学校 附 属 幼稚園

膳 真 規 子

大塚 喜 一

水 谷 年 恵

菊 地 ふ じ の

及 川 ふ み

大 岩 金

大 岩 金

大 岩 金

大 岩 金

大 岩 金

大 岩 金

大 岩 金

大 岩 金

大 岩 金

大 岩 金

大 岩 金

大 岩 金

矩信(二)季……………倉橋惣三  
 新入幼児を迎へんとして

大阪鳩巢園・東京武蔵野高女附属幼稚園・東京市朝海幼稚園・成田幼稚園  
 ・大阪市立御津幼稚園・東京市本郷区第一幼稚園・東京市富士見小学校附  
 属幼稚園・東京府女師附属幼稚園・福島県郡山幼稚園・東京市番町小学校  
 附属幼稚園

医師の立場より見たる幼稚園と急性伝染病……………島信

遊戲に対する理論の摘要……………土川五郎

面白いコドモカルタ……………奥田兵治

雑感……………坂田ミツ

幼稚園の手工について……………玉成保姆養成所研究生

作り易い草花……………大岩金

雑録 青年訓練所の表彰・長崎市立山町に玉園学園の開設

第四号

口絵 皇后陛下 幼児の外遊びを台覧あらせらる

皇后陛下 東京女子高等師範学校附属幼稚園に御幸あらせらる

皇后陛下 三月二十七日東京女子高等師範学校に  
 行啓遊ばさる……………堀七蔵

箱の家——幼児の生活(一)……………堀七蔵

三十年記念号として……………堀七蔵

昔がたり……………小西信八

粘土製作——幼児の生活(二)

東京女子高等師範学校附属幼稚園創立五十五週年  
 を迎へて及幼児教育三十卷の発行を祝して……………氏原銀

懐古……………和田実

八百屋遊び——幼児の生活(三)……………野間とよ

筆のついでに……………倉橋惣三

会名変更と改題を中心にして……………与謝野晶子

砂箱——幼児の生活(四)……………宇佐美敬

座談より……………小山登美子

英国婦人日常の一端……………大岩金

日記の一節……………春咲き球根類

春咲き球根類……………大岩金

雑録 関西連日保育会代表制度改正建議のため上京・第四回乳幼児愛護デ

第五号

口絵 相撲——幼児の生活(五)——大積木——幼児の生活(六)——おまじこ  
 と——幼児の生活(七)——かごめ——幼児の生活(八)

幼児の身体的保護……………堀七蔵

児童と教科過程(一)……………デユキ一原著

短信(二)保姆諸君と園芸趣味……………大塚喜一訳

幼稚園と家庭との連絡の実際……………倉橋惣三

川県女子師範学校附属幼稚園・岡崎市立幼稚園・昭安幼稚園・神戸慈光幼稚

園・福島幼稚園・石

横浜小学校附属幼稚園

園

園

園

園

園

園

医師の立場より見たる幼稚園と急性伝染病(承前) 島 信

巴里市公立幼稚園 宇佐美 敬

福島県の幼稚園 氏 原 銀

保育座談会——遊戯唱家について 氏 原 銀

会津行の帰途郡山市の子守学校と幼稚園を觀て 及川 ふみ

切り紙(猫の御見舞) 大 岩 金

本月の草花 大 岩 金

雜錄 東京女子高等師範学校保育実習科入学試験問題「欧米の幼稚園及低

学年教育の実際」  
夏期講習会予告

第六号

口絵 丸鬼——幼児の生活(九)—— 梓登り——幼児の生活(十)——

人形芝居——幼児の生活(十一)—— 遠足(長崎市城山幼稚園)——

幼児の運動 遊戯(一) 堀 七 蔵

児童と教科過程(二) デュキ一原著 大塚喜一訳 倉 橋 惣 三

人形芝居の話 末 田 ます

幼児の遊場 宇 佐 美 敬

巴里市ダルクローズのリトミック研究所參觀 和 田 実

兎を飼った経験 長 尾 豊

お話の問題

保育用人形芝居を觀て 氏 原 銀

きり紙「黒」のお客様 及川 ふみ

童話——猫の夢—— 水谷年恵子

幼児に読んで聞かせる話 桜んぼの種 ポチの手柄 さ お り

人形芝居と脚本一つ(浦島太郎) 渡 部 き よ

本月の草花 大 岩 金

雜錄 本会の幼稚園談話会・家庭教育に関する講習会並研究協議会

第七号

口絵 宇式かん女史

謹みて 特別拜謁の光栄に浴して 宇 式 かん

幼児の運動と遊戯(二) 堀 七 蔵

児童の教科過程(三) デュキ一原著 大塚喜一訳

巴里市公立産院・托児所・小児病院・感化院 宇 佐 美 敬

欧米に於ける学校給食の現状 原 徹 一

疫痢の予防について 井 口 乗 海

久振りで鎌倉に行きて 氏 原 銀

童吃驚仰天——ドンちゃん—— 水谷年恵子

人形 小兎とライオン 山 川 幸 枝

遊戯 わたしの手わたしの足 土 川 五 郎

夏の草花 大 岩 金

幸吉の旅 岡 田 み つ

雜録 普通教育図書科学理研鑽の劃て・文部省主催幼稚園保姆講習會

第八号

口絵 砂遊び・何が出来るでせう？(附属幼稚園)

ペスタロチー・フレールハウスの外觀

ペスタロチー・フレールハウスの自由遊び

幼児の運動遊戯(二)

堀七藏

欧米に於ける学校給食の現状(承前)

原徹一

鳥の生活と巢箱

哲化人

童話を幼児に話す準備的過程

小野直

水！ 水！ 水！ 水谷年恵子

童話

玉様のお池・蛇の卵・お菓子と蟻

小野直

敵討をされた猫君の話

土田和雄

睡蓮

大岩金

幸吉の旅 岡田みつ

雜録 家庭教育振興に関する諮問の答伸案・昭和三年度幼稚園統計・文部

省主催幼稚園に関する講習會

第九号

口絵 遊園林間 汽車ぼつぽ

幼児の運動遊戯(四)

堀七藏

農繁期託児所の普及.....倉橋惣三

農繁期託児所の實際

奈良県磯城郡多武峯村栗原農繁期託児所

滋賀県老蘇村農繁期託児所

佐賀県三養基郡麓村立石無料託児所

岡山県真庭郡河内村農繁期託児所

大阪府豊能郡萱野農繁期託児所

欧米幼稚園の實際.....宇佐美ケイ

この夏.....倉橋惣三

夏の幼稚園所感.....檜山京

大自然の乳房から.....水谷年恵子

日比谷公園に於ける東京番町幼稚園暑中休み中の

園外保育を見て.....氏原銀

がきり七匹の小山羊.....及川ふみ

童話赤い浮袋.....小野直

サルピヤ.....大岩金

第十号

口絵 秋 東京女子高等師範学校附属幼稚園

幼児の唱歌遊戯.....堀七藏

児童と教科課程.....大塚喜一原著

保育座談會——觀察について——



欧米に於ける学校給食の現状(承前).....原 徹 一

幼稚園に關する夏季講習会の所感.....氏 原 銀

倉橋先生の本誌五月号に於て「保姆諸師と園芸趣味」の記事を拝読して.....膳 真 規 子

葡萄.....新庄よしこ

臨海保育の所感.....岩和田幼稚園

園外保育.....山崎ひさ

巴里便り.....和田実

十月の手技指針.....和 田 実

おはなし.....小 野 直

不思議な栗、ポンポコ猫ポンポコボン.....金子彦三郎

犬と猿が仲が悪くなつた話.....土田和男

きれく／＼なお知せ.....大 岩 金

幸吉の旅.....岡 田 美 津

第十一号

口絵 お芋掘り 三重県四日市幼稚園

健康週間の手 北陸女学校附属第一幼稚園

幼稚園に於ける唱歌.....堀 七 蔵

短信.....倉 橋 惣 三

ランシングカレッジ在英国ケント州.....宇佐美ケイ

保育座談会——問題の子供について——

愛児の為に語る.....中村 楠 雄

夏の幼稚園について.....檜 山 京

幼児が喜び歌ふ歌.....葛原しげる

大阪の家なき幼稚園.....氏 原 銀

観楓と秋の自然物採集を兼ねて.....膳 真 規 子

健康増進の手技について.....南 タ ミ

十一月の手技材料.....和 田 実

葡萄(一).....大 岩 金

「幸吉の旅」.....岡 田 実

雑録 第五回島根県保育会総会・第二十一回福島県保育大会・全国保育大会

第十二号

口絵 全国保育大会

幼児保育功労者諸氏に深甚の敬意を表す

全国保育大会

大会日程

大会状況

功績者表彰

議事

主幹挨拶

東京文理科大学に於ける教育に關する勅語御下賜

四十年記念展覧会について.....氏 原 銀

第三十一卷

第一号

口絵 暮の街

唱歌の選択……………堀七蔵

フロエベルエデューケーションヨナル インステテユート

トウレーニングカレッジ フォアターチャース…宇佐美ケイ

幼児が喜び歌ふ歌……………葛原しげる

米欧土産教育展覧会を見て……………多田鉄雄

郡山市私立郡山幼稚園の自然物応用手技に就て……………氏原銀

愛児のために語る(承前)……………中村楠雄

欧米に於ける学校給食の現状(承前)……………原徹一

一月の手技材料……………和田実

おはなしポチとお団子……………小野直

果樹取扱の草々……………大岩金

幸吉の旅……………岡田みつ

第二号

口絵 おひなさま 保育談話会に於ける檜崎博士の講演

巻頭言―(数く勿れ)……………倉橋惣三

哲学の人間学と幼稚園問題

檀崎浅太郎

小学校に於ける入学検定

堀七蔵

ヨーク公姫宮エリザベス女王のナーセリー拝観  
保育といふこと

宇佐美ケイ  
大塚喜一

幼児が喜び歌ふ歌(三)

葛原しげる

全国保育大会に就て

氏原銀

コドモ座誕生日の日に

渡部きよ

おち葉をひろひて

新庄よしこ

二月の手技材料

和田実

おひなさま

及川ふみ

嫁接法の種類

大岩金

幸吉の旅

岡田美津

雑録

東京女子高等師範学校保育実習科生徒募集・奈良女子高等師範学校保母養成  
科生徒募集・保育実習科の新卒業生

### 第三号

口絵 ぬひとり

巻頭言 温

フロエベル エ・テュケーションショナル

ユード

入学検定の結果

倉橋惣三

インステテ

宇佐美ケイ

堀七蔵

幼稚園の人物としての医学博士竹村一氏

膳真規子

幼稚園衛生の特色

竹村一

幼児の喜び歌ふ歌(四)

葛原しげる

幼な心へのお話について

大塚喜一

玉成幼稚園参観の記

氏原銀

保母の顔

坂内ミツ

幼稚園の園芸として栽培し易き「マガレット」に  
就て

膳真規子

ぬひとり

新庄よしこ

早春の庭めぐり

及川ふみ

三月の手技材

和田実

幸吉の旅

岡田美津

欧米に於ける学校給食の現状(承前)

原徹一

### 第四号

口絵 楽しいおひる(玉姫託児所)

健康診断(玉姫市民館)

巻頭—驚く心

ミス マクミラン ナーセリースクール

託児事業の特質

参観記—東京市玉姫町市民館

母に代りて

倉橋惣三

宇佐美ケイ

朝原梅一

新庄よしこ

北井ますゑ

ホームに基調せる幼稚園経営の一端……………岡 政

園児の作つたいろはかるた……………福島幼稚園

保育手帖の中から……………会津保育園

春うらゝか……………よしこ

昭和保姆養成所第四回卒業式に列りてぬきがき……………氏原 銀

音喩と仕形……………長尾 豊

四月の手技材料……………和田 実

四月の園芸……………大岩 金

欧米に於ける学校給食の現状(承前)……………原 徹一

### 第五号

口絵 藤棚の下にて

まめやかさ(巻頭言)……………倉橋 惣三

中国四国九州保育連盟成らんとす……………堀 七 蔵

幼稚園の経営私見(一)……………宇佐美ケイ

ノールランド インステテュート……………鎌田 しん

新設幼稚園の経験について……………鎌田 しん

低学年幼稚園座談会……………北陸女学校附属 第一幼稚園

太陽幼稚園……………氏原 銀

朝三分……………氏原 銀

交通機関と通信機関の今昔……………氏原 銀

一つの願ひ……………一 読 者

人形芝居の人形について……………青柳 節子

五月の手技材料……………和田 実

五月の園芸……………大岩 金

お話の論理……………長尾 豊

雑録……………長尾 豊

### 第六号

口絵 託児所保育座談会

先生方よ、睡眠を充分とつて置いて下さい(巻頭言)

幼稚園経営私見(二)……………堀 七 蔵

新設幼稚園の経験について(承前)……………鎌田 しん

託児所保育座談会……………鎌田 しん

六月ごろ……………よしこ

幼児の為の唱歌を作りて……………葛原しげる

葛原先生の講演をきゝて……………氏原 銀

六月の手技材料……………和田 実

紙袋・包紙・古新聞氏を利用してつくるお人形さん……………末田ます

子供向の作り易い草花六種……………富本光郎

六月の園芸……………大岩 金

幼稚園の書架を飾る二つの新刊……………倉橋 生

第七号

口絵 (ある日、ある日)

冷 (巻頭言)

新教育の主調併せて海外幼稚園參觀感想

幼稚園の設備(一)

コロンビア、ティーチャース カレッジ

附属幼稚園

新設幼稚園の経験について(承前)

幼児の為に歌を作りて(2)

幼稚園の昔と今

幼児の絵について

七月の特技材料

七月の園芸

雜錄 文部省主催保姆の講習・全国仏教保育大会

第八号

口絵 (へちまのトンネル・東京市内公立幼稚園長招待・アメリカの「ひなまつり」)

動 (巻頭言)

幼稚園の設備(二)

ニューヨーク西區百二十六街

あなたの幼稚園のお庭は?

子供の性的方面

幼児の為に歌を作りて

幼稚園新築の経験について

幼児の絵について(承前)

梅の実

八月の特技材料

観賞二つ三つ

膳真親子女史著「自然物おもちゃ」の序

雜錄 幼稚園保姆の講習・遊戯講習会・全国仏教保育大会・東京市内公立幼稚園長招待

第九号

口絵 (夏の幼稚園)

自分 (巻頭言)

幼児性情の涵養

リンカーンスクール

汽車中に於ける幼児

夏の幼稚園

麴町区富士見町幼稚園

麴町区番町幼稚園

京橋区鉄砲洲幼稚園

秋の自然物梧桐の実及び其他の木の実の遊に就て

多田鉄雄

葛原しげる

渡部きよ

中村楠雄

水谷年恵子

和田実

大岩金

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

宇佐美ケイ

倉橋惣三

宇佐美ケイ

堀七蔵

堀七蔵

堀七蔵

堀七蔵

堀七蔵

宇佐美ケイ

膳真規子

動物の汽車が出来るまで……………及川ふみ

九月……………大岩金

雑録……………倉橋惣三

この夏……………倉橋惣三

### 第十号

口絵 動物の汽車、夏季学園

秋晴(巻頭言)

保姆養成機関について……………堀七蔵

進出すべき幼稚園保姆の領野……………松山政治

玩具中心教育の提唱……………高市次郎

ヘンリーストリート セントルメント……………宇佐美敬

幼児の為に歌を作りて……………葛原しげる

永観堂幼稚園夏期林間学園の概況……………永観堂幼稚園

夏季学園……………日本大学幼稚園

何かが真違つて居やしませんか……………壘婆

室内掃除法……………和田実

動物と水族館……………甲南幼稚園

或る日……………昭和幼稚園

雑録 幼稚園の設備に関する要項、保姆養成機関向上の建議

### 第十一号

口絵 幼児作品、運動会

ひなた(巻頭言)

小学校入学の準備について……………堀七蔵

ヒル女史小伝……………菊池ふじの訳

シエデーヒル スクール(在ケンブリッジ)……………宇佐美敬

第五回全国幼稚園関係者大会

童心を友として……………大塚喜一

幼児の心情陶冶についての経験……………笠井しげる

幼児に適切なる唱歌の材料……………大阪市保育会

歌……………よしこ

老若の男女……………氏原銀

丸の動物……………及川ふみ

### 第十二号

口絵 たき火

感情清算(巻頭言)

都市幼稚園に於ける観察について……………岡崎常太郎

冬の保育……………堀七蔵

ゼーメルル パーマー スクール……………宇佐美ケイ

座談会 仲間にはいらない子、仲間にはいれない子

談話に就て……………和田実

童詩の吟誦について……………新庄よしこ

歌唱法大・要	沼田利一
託児所に於ける人形芝居の採り入れに就て	牧賢一
子供の不審	さおり
童話 お蕪様	水谷年恵子
人形芝居の人形	及川ふみ
冬の初の土いぢり	大岩金

第三十二卷

第一号

親切(巻頭言)	倉橋惣三
いゝ子を語る——幼稚園座談会	
私の幼稚園——詩と絵と踊り合作の巻	水島さゆり
明治初期に於ける幼児教育機関——寺小屋	新庄よしこ
モンテッソーリ——幼稚園——在イタリー國ミラノ	宇佐美けい
幼稚園の観察	岡崎常太郎
聞かせる唱歌について	和田実
入学前の幼児について	及川ふみ
高女五年生の教育学答案から	大塚喜一
世界人形行脚記	高市次郎
冬の自然観察	堀七蔵
赤い実	大岩金
「大売り出し」あそび	榊原きく
遊戯お餅つき	土川五郎
雑録 東京女子高等師範学校保育実習科生徒募集「保育研究」の創刊	

第二号

口絵 (モンテッソーリ幼稚園)

春待と日記 (巻頭).....

絵本唱歌の編纂について.....

入学検定の所感.....

ヴィスコーザ会社女子寄宿舎.....

保育事項の分類に就て.....

貧しき幼児達の為めに.....

私の幼稚園.....

入れ子雛.....

花壇並に花壇用草花年中行事 一月.....

二月の土いちり.....

押しくらまんちゆう.....

此頃のあそび.....

「およばれの日」あそび.....

貧しき母親の場合.....

第三号

口絵 あたゝか

録 (巻頭言).....

松野クラ、夫人の思出.....

入学検定所感 (一)..... 田代順之  
 尋一入学検定所感..... 森井千代  
 構成力..... 斎藤与助

四肢の運動検定..... 堀七蔵

入学検定の所感..... 和田実

新入園児を迎へて.....

子供の遊び場.....

在ウイン市々立齒の治療所其他.....

幼児の病氣の見分け方.....

世界人形行脚記 (二).....

雑感.....

子供の言葉をどう聞くか.....

梅の節句に就いて.....

保育雑感.....

花壇並に花壇用草花年中行事 二月.....

園芸曆 三月.....

遊戯 ふてく たんぼぼ.....

泉都に於ける保育座談会.....

第四号

口絵 フレーベル肖像

キンダーガルテン (巻頭言).....

田代順之

森井千代

斎藤与助

堀七蔵

和田実

末田ます

宇佐美敬

青木醇一

高市次郎

多田鉄雄

坂内ミツ

小杉さと

渡部きよ

富本光郎

大岩金

土川五郎

大分県保育会

倉橋惣三



フレールベル誕生百五十年.....倉橋惣三

企園 (フレールベル).....フ

新入園児を迎へて.....堀七蔵

幼児期に於ける歌謡の律動的生活.....山内俊次

コードモカルタから幼児唱歌.....葛原 幽

輝ける母.....古川 茂

新任保母の感想を聞く.....和田 実

人形をめぐる人々.....水谷年恵子

童話「毬子さんとヒヤシンス」.....高 島 巖

切抜折紙の動物.....山 形 寛

保育そのとき.....倉橋惣三

花壇並に花壇用草花年中行事——四月——.....富本光郎

園芸暦——四月——.....大 岩 金

遊戯・じどうしや・まりなげ.....土川五郎

### 第五号

口 絵 人形のお家・シカゴ師範大学附属幼稚園.....倉橋惣三

こゝろもち (巻頭言).....倉橋惣三

フレールベルの生れた家.....倉橋惣三

フレールベルを想ひながら.....ソファヤ、アラベラ、アルウキン

幼児と数の問題.....坂内ミッ

幼稚園に於ける数観念の養成について.....坂内ミッ

幼児の数観念の発達.....岩下喜衛

基本教育としてのおはなし.....大塚喜一

幼児にはこんな遊び場を与へたい.....井 下 清

コードモカルタから幼児唱歌 (2).....葛原しげる

世界人形行脚記 (三).....高市次郎

人形のお家を中心として.....菊地ふじの

保育そのとき.....倉橋惣三

花壇並に花壇用草花年中行事——五月——.....富本光郎

園芸暦——五月——.....大 岩 金

遊戯・オニゴッコ.....土川五郎

### 第六号

口 絵 五月の或る日 (東京女子高等師範学校附属幼稚園).....倉橋惣三

心のはだ (巻頭).....倉橋惣三

五月の一週間

はしがき.....倉橋惣三

海の組.....菊池フジノ

山の組.....徳久孝子

川の組.....神原キク

森の組.....新庄よしこ

林の組.....及川ふみ

池の組.....村上露子

保育そのときへ……………倉橋生  
 花壇並に花壇用草花年中行事―六月―……………富本光郎  
 園芸曆(六月 水無月)……………大岩金  
 遊戯エンソク……………土川五郎

園芸曆(七月―八月)……………大岩金  
 遊戯―はたる―……………土川五郎  
 雜録 文部省主催幼稚園保姆の講習・大分県保育会第十回総会  
 第八・九号

第七号

口絵 自動車と汽車

口絵 爆彈三勇士(お茶の水人形座)、各人形同志……………倉橋惣三

羨しい田舎の子どもの夏……………倉橋惣三  
 保姆養成所の問題……………倉橋惣三  
 保姆養成の問題に就て……………倉橋惣三  
 保姆養成所に関する意見と感想……………諸家  
 夏季保育の理論と実際……………ルート、ヴァイランド博士  
 夏と幼稚園……………廣瀬興

幼児保育と小学教育……………浅黄俊次郎  
 保育上に於ける幼児の自由に就いて……………和田実  
 託児所保姆の任務……………朝原梅一  
 觀察のさせ方(一)……………堀七蔵  
 幼稚園に於ける談話……………新庄能子  
 人形に依る「おはなし」の演出に就て……………菊池ふじの  
 「幼児の教育」六月号を讀みて……………大塚喜一  
 幼児詩の問題……………多田鉄雄  
 世界人形行脚記(四)……………高市次郎

夏季保育の衛生……………廣瀬興  
 ベスタロッターフレールベルハウス(在ベルリン)……………宇佐美敬  
 世界人形行脚記(四)……………高市次郎  
 容易く出来る遊び場……………増山他計男  
 わたし達の自働車……………徳久孝子  
 わたし達の特急列車「うさぎ号」……………村上露子  
 「およばれの日」遊び……………柴田みどり  
 でんでん虫とてんとう虫の車……………及川ふみ  
 花壇並に花壇用草花年中行事―七月―……………富本光郎

夏の子童遊園地……………末田マス  
 「幼稚園の手技製作」に題す……………倉橋惣三  
 伝説三ツ

夏市昭和幼稚園……………白根美智子  
 日本大学附属幼稚園の夏季学園……………山田仲子  
 夏の子童遊園地……………末田マス  
 「幼稚園の手技製作」に題す……………倉橋惣三  
 伝説三ツ

夏休み後の保育衛生…………… 広 瀬 興

九月の園庭…………… 及川 ふみ

園芸年中行事…………… 富 本 光 郎

園芸暦（九月 長月）…………… 大 岩 金

遊戯―首ふり人形…………… 土 川 五 郎

童話……………

ミルクのおばちゃん…………… 高 島 巖

フットボール…………… 水 谷 年 恵 子

人形芝居脚本……………

爆弾三勇士…………… 菊 池 ぶ じ の

金太郎…………… 青 柳 節 子

この夏…………… 倉 橋 惣 三

### 第十号

口絵 秋、一年生の作業時間（東京女子高等師範学校附属小学校）

創意なき教育（巻頭言）…………… 倉 橋 惣 三

児童の音楽教育に就て…………… 草 川 宣 雄

観察のさせ方（一）…………… 堀 七 蔵

蝶の二方面について…………… 大 塚 喜 一

低学年の生活全体教育法…………… 東京女子高等師範  
学校附属小学校 低学年教育研究会

一、生活全体教育法の組織…………… 浅 黄 俊 次 郎

二、作業生活指導の実際

尋一「お月見」作業の指導…………… 徳 田 進

「時の展覧会」作業の指導…………… 永 堀 千 鶴 子

### 三、遊戯生活指導の実際

お手紙ごつこの指導…………… 金 成 み き 江

お客様遊びの指導…………… 瀬 野 尾 秀 義

秋詠集…………… よ し こ

秋と園外保育……………

保育そのとき…………… 倉 橋 惣 三

十月のぬりゑ…………… 及 川 ふ み

秋の保育衛生…………… 広 瀬 興

花壇並に花壇用草花年中行事―十月―…………… 富 本 光 郎

園芸暦（十月）…………… 大 岩 金

遊戯 噴水…………… 土 川 五 郎

### 第十一号

口絵…………… 倉 橋 惣 三

うっかりしてゐる時（巻頭言）…………… 和 田 実

保母と訓導…………… 坂 内 ミ ツ

幼稚園の主任といふ事について…………… 堀 七 蔵

観察のさせ方（二）…………… 氏 原 銀

我国最初の幼児教育者 豊田英雄先生の米寿…………… 高 市 次 郎

世界人形行脚記（一）……………

児童遊園に欲しい植物……………末田ます

保育上保健増進に就きて……………牛島隆則

青虫を中心としての幼児生活と誘導の実際……………石原安子

京阪二日(関西連合保育会)……………倉橋惣三

初冬の保育衛生……………広瀬興

およばれの日(クリスマス遊び)……………柴田みどり

製作を中心とした保育……………渡部きよ

十一月のぬりゑ……………及川ふみ

花壇並に花壇用草花年中行事——十一月……………富本光郎

園芸暦(十一月)……………大岩金

わたしのすぎな旗……………土川五郎

雑報

### 第十二号

口絵 日本最初の幼稚園(明治九年のお茶の水園舎)

飢えと寒さの子等(巻頭言)……………倉橋惣三

冬季に於ける託児所保育……………石見江水

保育所の当面せる諸問題について……………丸山千代

幼児給食の趨勢……………朝原梅一

観察のさせ方(四)……………堀七蔵

移転を前にして

ひっこし……………倉橋惣三

おもひ出のまゝに……………新庄よしこ

衛生訓練に就て……………山田仲子

いけないと云はれる子の話(お母さま方へ)……………高島巖

児童遊園に欲しい植物(続)……………末田ます

冬期の保育衛生(其一)……………広瀬興

くれからお正月の遊び……………及川ふみ

花壇並に花壇用草花年中行事(十一月)……………富本光郎

園芸暦(十二月—師走)……………大岩金

遊戯 兎狩……………土川五郎

雑録

第三十三卷

お茶の水時代

第二号

第一号

口絵 東京女子高等師範学校附属幼稚園

新を喜び新を願ふ(巻頭言).....倉橋惣三

人と人(新春の言葉).....倉橋惣三

年頭所感.....森川正雄

幼児の自己発達.....丸山良二

小学校入学に關して.....堀七藏

幼児の唱歌指導.....渡部栄藏

幼年に因みて鶏の童謡いろく.....水谷年恵子

世界人形行脚記(七).....葛原しげる

最終の緑会の研究継続会に列りて.....高市次郎

冬期の保育衛生(其二).....氏原銀

動物のスキー.....広瀬興

かぎ.....及川ふみ

お伽つれく.....新庄よしこ

園芸暦(一月―睦月).....登志衛

遊戯 マメマキ.....大岩金

.....土川五郎

口絵 出発(旅を主題とする保育)

早春(巻頭言).....倉橋梨三

小学校より幼稚園に望む.....椋井美

保育についての一、二.....小山文太郎

言語上の自己中心と幼稚園に於ける社会感情.....田島真治

(ケーテ・シュテルン).....多田鉄雄

衛生訓練について.....山田仲子

三学期の保育.....檜山京

小学校入学前一ヶ月間の保育.....白根美智子

冬期の保育衛生(其三).....広瀬興

桃の花 二種.....及川ふみ

童話.....

かゝしなにかいやだね.....高島巖

園芸暦(二月).....大岩金

遊戯 雛まつり.....土川五郎

講話「いろくの子ども」.....倉橋惣三

お茶の水時代(故雨森釧・小林とし・山口政子・桂和歌子)

たより

第三号

口絵 つくしとり

詫びる心(巻頭言).....

新保育期における計画と所期.....

中田 芳子

早 塚 文

新入幼児のむかへ方

坂内 ミツ

大道 てる

春期に於ける幼児の保健.....

四月の観察.....

エホンシヨウカの歌曲について.....

世界人形行脚.....

遊戯「オヤスミ」「ヒヨコ」.....

講話「いろ／＼の子ども」Ⅱ.....

お茶の水時代(完)

和田 実

大 滝 晴

たより

倉橋 惣三

塩崎 多真

白根 美智子

坂 口 圭

岡田 道一

堀 七 蔵

福井 直秋

高市 次郎

土川 五郎

倉橋 惣三

野間 とよ

大関 とよ

坂内 ミツ

野間 とよ

野間 とよ

野間 とよ

野間 とよ

第四号

口絵 おすまふ

真実(巻頭言).....

勤労家庭の幼児の保育.....

乳幼児愛護週間について.....

五月の観察.....

年長組の新保育期に(一).....

エホンシヤウカの歌詞について.....

世界人形行脚.....

園児の躰と家庭との連絡.....

若き保母としての初経験を語る.....

新園寄せがき帖(その一).....

新入園児の保育衛生.....

金太郎のおもちや.....

遊戯 やねの上の雀.....

講話「いろ／＼の子ども」Ⅲ.....

望月神戸幼稚園長の退職

たより

倉橋 惣三

朝原 梅一

高 島 巖

堀 七 蔵

新庄 よしこ

新国 寅彦

高市 次郎

永観堂幼稚園

永観堂幼稚園

倉橋 惣三

広 瀬 興

及川 ふみ

土川 五郎

倉橋 惣三

倉橋 惣三

倉橋 惣三

第五号

口絵 園芸

教育される教育者(巻頭言).....

幼児性行評定尺度に就て(上).....

聞き捨てならぬ父兄の声.....

ドイツに於ける就学前の教育の発展について.....

六月の観察.....

年長組の新保育期に(一).....

世界人形行脚.....

保育生活感想——子供と共に生きる——

新園寄せがき帖(その二).....

小児腸寄生虫(蛔虫と蟻虫).....

遊戯「まりがつきたい」.....

講話「いろ／＼の子ども」4.....

### 第六号

口絵 魚つり.....

日かげ(巻頭言).....

幼児性行評定尺度に就て(中).....

アメリカ幼年図書.....

幼稚園遊戯の座談会——三浦戸倉両先生を中心として

七月の観察.....

東京市幼稚園の観察予定表

倉橋惣三

淡路円治郎

和田実

白根孝之訳

堀七蔵

新庄よしこ

高市次郎

及川ふみ

広瀬興

土川五郎

倉橋惣三

社会と個人.....

(新園寄せ書き帖(其の三)).....

幼稚園に於ける幼児の栄養問題につきて.....

ある保母さんとの話.....

梅雨期の保育衛生.....

雨の日ながの幼稚園.....

遊戯 かへるのプール.....

たより

### 第七号

口絵 雑草の中で

子供が帰った後(巻頭言).....

幼児性行評定尺度に就て(三).....

アメリカの幼年図書(2).....

幼児教育の統一に就て.....

夏期幼稚園について.....

夏の幼稚園について.....

夏の幼稚園保育衛生.....

八、九月の観察.....

この夏の自由質疑討論講習に就て.....

子供と自分.....

古きもの二つ.....

大塚喜一

新庄よしこ

安間公観

T K

広瀬興

及川ふみ

土川五郎

倉橋梨三

淡路円治郎

松原至大

牛島隆則

和田実

和山京

榎山京

広瀬興

堀七蔵

倉橋惣三

大塚喜一

新庄よしこ

丸山千代女史と語る……………牧賢一  
 子供に劇を与える心持について……………高島巖  
 製作を中心として……………

第八・九号

口絵 夏期講習会・竜宮城・箱の動物

自らを新たにする努力(巻頭言)……………倉橋惣三

保育の真諦並に保育案、保育過程の実際……………倉橋惣三

アメリカの幼年図書(3)……………松原至大

十月の観察……………堀七藏

日本幼稚園協会夏期講習会

開会及び講師の言葉

開会の辞……………倉橋惣三

講師として……………淡路円治郎

プロセクト手技製作について……………及川ふみ

幼児の心にかへりて……………戸倉ハル

会員感想

講習会記

講習会に於ける質疑応答速記

第十号

口絵

健康(巻頭)……………倉橋惣三

幼児性行評定尺度に就て(四)……………淡路円治郎

幼稚園教育の独自性に就きて……………和田実

健康の秋

幼児の健康増進に就て……………岡田道一

幼児体育の話……………岩原拓

幼児の身体教育に対する考察……………宮田覚造

幼児と日光浴……………岩村清四郎

噫 巖谷小波先生……………葛原しげる

幼児教育にも一業専心主義が必要……………牛島隆則

十一月の観察……………堀七藏

自動車利用の園外保育につきて……………協屋直

山下ツヤ子女史と千葉秀子女史……………土川五郎

今秋の関西連合保育会に提出されたる

談話題に就て……………大塚喜一

実際家の意見を集めて……………本会調査部

遊戯「お月さま」……………土川五郎

第十一号

口絵

自ら責める心(巻頭)……………倉橋惣三

性格の病理(一)……………青木誠四郎



遊戯による子供の想像教育……………大石峯雄

十二月の観察……………堀七藏

向寒期の幼児保健……………広瀬興

「旅へ」——誘導保育の一案……………新庄よしこ

童謡 ニュピソ草(一)……………仁古貧生

たどりゑの活動写真……………及川ふみ

木の葉絵の具と御命名を頂きて……………岡田とよ

十月号読後……………檜山京

子供の自由表現に就いて……………村上露子

「保育の真諦」を聴きて(二)……………大塚喜一

今月の草花と春の用意……………大岩金

雑録

### 第十二号

口絵

冬(巻頭)……………倉橋惣三

性格の病理(一)……………青木誠四郎

幼児の芸術教育……………霜田静志

一月の観察……………堀七藏

感冒の話……………広瀬興

童謡 ニュピソ草(二)……………仁古貧生

漫筆 お店屋あそび……………小島その

今秋の関西保育会に列席して……………大塚喜一  
遊戯「かくれんぼ、お手々をたぐけ」……………土川五郎

第三十四卷

第一号

口絵(陽光めがけて).....倉橋 惣三  
 巻頭(国に充つる光と喜).....寺 沢 巖 男  
 幼児教育に於ける体育の重要性.....和 田 実  
 遊戯の自由性に就いて.....浅黄俊次郎  
 入学前期の幼児の教育.....馬淵 冷 佑  
 日本童話を多く聴かせたい.....堀 七 蔵  
 二月の観察.....広 瀬 興  
 御正月の保育衛生.....岡崎常太郎  
 のし(熨斗)の今昔.....西 沢 笛 畝  
 児童に絵を教へるには.....葛原しげる  
 成年に因んで犬の童話を語る.....成 田 順  
 幼児の服装について.....及 川 ふ み  
 人形 花子さん(一).....小 谷 き み  
 私の町を中心として.....津 田 芳 雄  
 我儘大男(童話).....津 田 芳 雄

第二号

口絵(福良美雛).....倉橋 惣三  
 巻頭(いき／＼しき).....多 田 鉄 雄  
 新らしき経済政策と幼稚園幼児.....パティール、スミス、ヒル  
 オーストリーの幼稚園.....廣 瀬 興  
 肺炎の話.....堀 七 蔵  
 三月の観察.....葛 原 幽  
 幼童教育と童話(一).....一 記 者  
 東京市を中心とする幼稚園.....東 山 新 吉  
 伯林の玩具展覧会.....大 塚 喜 一  
 おはなしは心の交流である.....成 田 順  
 幼児の服装について(二).....及 川 ふ み  
 お雛様 人形花子さん(二).....津 田 芳 雄  
 童話ベズワラガル.....氏 原 銀  
 犬の話.....北 原 時 枝  
 読者より.....西 岡 千 代 子  
 実習日記から.....西 岡 千 代 子  
 幼児の自由遊びの取扱方に就て.....西 岡 千 代 子

第三号

口絵(春が来る 春が来る)

巻頭(子ども達の顔).....	倉橋惣三
仏教の幼児教育.....	鈴木積善
基督教主義の保育.....	岩村清四郎
就学齡児の保健.....	広瀬興
幼童教育と童謡(一).....	葛原 幽
最近大阪市の幼稚園の情勢とその保育について.....	岡篤郎
幼児の服装について(三).....	成田順
直き心.....	大塚喜一
愛児の幼稚園生活	
「皆さんと云ふ」心持.....	志波末吉
感謝の二年間.....	緒方こと子
母の言葉.....	西川とよ子
雑感.....	一幼児の母
幸福の王子様.....	津田芳雄
小犬のお話.....	氏原 銀
読者より	
ある保母さんの日記から	

第四号

口絵	
巻頭(この萌芽に対して).....	倉橋惣三
幼児教育上に於ける絵画の領域.....	和田実

幼児の教育と一銭玩具の話.....	松前福広
幼童教育と童謡(三).....	葛原 幽
幼少年の口腔衛生.....	湯浅、泰仁
幼児の服装について(四).....	成田順
街で拾った晰.....	水谷年恵子
スタンブウオーク.....	山形 寛
童鳩ちゃん.....	高島 巖
土いじりの二つ三つ(一).....	大岩 金
童何故さう物語.....	中野好夫訳
そのひととき.....	S・K 生
読者より	
始めて幼児の友となりて	

第五号

口絵	
巻頭(仏心と童心).....	倉橋惣三
幼児教育側面観.....	田代順之
幼児の生活指導方針を吟味する.....	山内俊次
乳幼児愛護週間に就て.....	原 泰一
誰にでも出来る実験(一).....	堀 七蔵
扁桃腺の話.....	広瀬 興
幼児の教育と一銭玩具の話(一).....	松前福広

幼童教育と童話(四).....葛原 蘭

フレーベル祭の前後に.....大塚 喜一

幼児の服装について(五).....成 田 順

話もやもや話.....高 島 巖

人形花子さん(三).....及 川 ふみ

花咲爺さん.....小 園

土いじりの二二三(一).....大 岩 金

話幸福の王子様(つよぎ).....津 田 芳雄

第六号

口絵

巻頭(とじ).....倉 橋 惣三

如何にして宗教に導いたらよいでせうか.....斎藤善太郎

日本幼稚園史序.....倉 橋 惣三

幼童教育と童話(五).....葛 原 蘭

フレーベルの遊戯論.....白 根 孝之

誰にでも出来る実験(一).....堀 七 蔵

幼稚園参観の旅.....及 川 ふみ

話畑の豆.....檜 山 京

幼児の服装について(六).....成 田 順

こどもの詩感.....新庄よしこ

動物河馬の手紙.....浜 田 格

競争遊戯.....村上露子

話王女の猫の話.....中野好夫

第七号

口絵

巻頭(ひきつけられて).....倉 橋 惣三

李王妃殿下の御台臨を忝うして.....倉 橋 惣三

子供の文字意識.....浅黄俊次郎

託児所の夏季保育施設.....朝 原 梅一

季節保育所施設標準.....中央社会事業協会

夏.....夏咲く草の花.....本 田 正次

海は自然の大きな動物園.....久 米 又三

貝類と海藻.....堀 の ぶ子

昆虫談.....吉 田 弘

夏のおもちや.....三越玩具部

研究発表.....幼稚園に於ける数観念の養成について.....坂内ミツ

協同製作について.....北 条 静

幼児の服装について(七).....成 田 順

誰にも出来る実験(三).....堀 七 蔵

夏休の講習を前にして……………戸倉ハル

童話 王女と猫の話……………中野好夫

雑録

第八・九号

口絵

巻頭(雑草)……………倉橋惣三

墮落したる自然主義……………和田実

如何にして宗教に導いたらよいか(一)……………斎藤善太郎

フレーベルに学ぶ(承前)……………大塚喜一

この夏……………倉橋惣三

夏の幼稚園……………及川ふみ

夏期講習感想……………須子啓子

講習の後に……………留岡よし子

本音を吐く……………渡部きよ

夏期講習会を終へて……………

研究……………

園外保育について……………穂積篤子

特殊幼児の保育と其誘導法……………斎藤小静

感じたまま……………佐久間重代

動物 童話 デラフとバイソンの対話……………浜田格

保育項目の実際……………倉橋惣三

第拾二回大分県保育会総会

第十号

口絵

巻頭(自らを)……………倉橋惣三

フレーベルを想ふ……………斎藤善太郎

誰にでも出来る実験(四)……………堀七蔵

思ひ出……………坂内ミツ

蜻蛉の魅惑……………

幼児の服装について(八)……………成田順

秋雑詠……………新庄よしこ

童話 王女の猫の話……………中野好夫

講習会に於ける質疑応答速記

第十一号

口絵

巻頭(飛びついて来た子ども)……………倉橋惣三

光栄の「オモチャヤ」……………倉橋惣三

都市に於ける幼児の健康増進施設に就いて……………牛島隆則

座談会記事……………青木誠四郎

英国に於ける幼児保育の発達……………白根孝之

児童心理学文献抄……………牛島義友

話童晴れ着	津田芳雄
案図やさか皿	白根美智子
話童王女の猫の話	中野好夫

第三十五卷

第十二号

第一号

口絵	
巻頭	倉橋惣三
露天保育と教育原理	倉橋惣三
小学校と幼稚園の連絡問題	久保田亀藏
手技に関する座談会	
おもちゃ	及川ふみ
お母様とのお話あひ	白根美智子
児童心理学文献抄(一)	牛島義友
幼稚園に於ける優秀児の取扱	中村楠雄
保母先生に此人あり	箕作長郎
児童映画に就いて	奥平美雄
話童王女の猫の話	中野好夫

巻頭(よろこびの心)	倉橋惣三
問題をもつ子供をどう見るか	青木誠四郎
保育事項としての遊戯に就いて	和田実
幼稚園の図画及手工に就いて(一)	伊藤堅逸
新年二題	松の屋主人
幼稚園々歌ものがたり(上)	葛原 鹵
月夜の太鼓(幼児童話)	内山憲堂
保育項目配当に就いての座談会	
児童心理学文献抄(親の職業、貧富の影響)	牛島義友
手技の材料	及川ふみ
あなたの机上へ	
情操保育の一日	松若幼稚園
話童王女の猫の話	中野好夫

第二号

巻頭(にじみ出る真実性)	倉橋惣三
小学校が望む幼児	浅黄俊次郎

幼稚園の図画及手工について(一)……………伊藤堅逸  
 幼稚園々歌ものがたり(下)……………葛原 幽  
 来月のお節句に準備して  
 生きて来た雛祭……………山田徳兵衛  
 雛十句……………水谷年恵子

幼稚園のお雛祭

幼稚園に慣れるまで……………久仁子の母  
 児童心理学文献抄(田舎児童と都会児童)……………牛島義友  
 小さい猛者連……………菊池ふじの  
 あなたの机上へ……………大 岩 金

二三月の仕事……………中野好夫  
 童話王女の猫の話……………大 岩 金

第三号

巻頭(春風 春雨)……………倉橋惣三  
 情操陶冶と学習との関係……………森川正雄  
 小学校入学検定を終へて(一)……………堀 七 蔵  
 遺伝と環境……………霜田静志  
 童話は何処にあるか……………石井庄司  
 幼稚園の図画及手工に就いて(三)……………伊藤堅逸  
 プナホの幼稚園……………蠟山銀子  
 衛生上より見たる幼稚園の効果……………岡田道一

児童心理学文献抄(幼児の運動機能の発達)……………牛島義友  
 幼稚園児の健康教育……………野 津 謙  
 大型の動物製作……………村上露子  
 「父と子」の映画……………奥平英雄  
 童話何故さう物語(一)……………中野好夫

第四号

巻頭(進歩するものと進歩しないもの)……………倉橋惣三  
 都市幼児教育の問題(一)……………倉橋惣三  
 独逸プロンヤの幼稚園規定……………多田鉄雄  
 小学校入学検定を終へて(二)……………堀 七 蔵  
 独逸の人形芝居に就いて……………東山新吉  
 幼話 ねずみの話……………氏 原 銀  
 幼話 不思議な金の鈴……………青木信子  
 幼話 へうたんラデオ……………須子啓子  
 あなたの机上へ……………須子啓子  
 児童心理学文献抄(幼児の感覚機能の発達)……………牛島義友  
 第六回全国幼稚園関係者大会出席所感……………大塚喜一  
 芝に就いて……………大 岩 金  
 童話何故さう物語(二)……………中野好夫

第五号

卷頭(五月の日光)……………倉橋惣三  
 都市幼児教育の問題(一)……………倉橋惣三  
 農繁期託児所の経営……………朝原梅一  
 童話の教育的価値……………田中兵治  
 英国文部省の幼児保育指針……………白根孝之  
 幼稚園とラヂオ……………倉橋惣三  
 児童心理学文献抄(幼児の言語の発達)……………牛島義友  
 一年間の保育(一)……………宮本光代  
 縁植の二、三に就て……………大岩金  
 童話何故さう物語(三)……………中野好夫  
 雑録

第六号

卷頭(汗)……………倉橋惣三  
 行き過ぎた幼児教育……………和田実  
 夏の幼年童謡の中より(上)……………葛原 幽  
 幼児童話の特殊性……………内山憲堂  
 都市幼児教育の問題(三)……………倉橋惣三  
 児童心理学文献抄(幼児の社会性並に情緒の発達)……………牛島義友  
 素人出来る木工の話(一)……………山形寛

一年間の保育(二)……………宮本光代  
 あなたの机上へ……………新庄よしこ  
 ひとりがりたり……………小鳥その  
 まはる水車、走る小舟……………小鳥その  
 第七号

卷頭(幼稚園令公布十週年)……………倉橋惣三  
 幼児保育に関する研究調査……………堀 七 蔵  
 保母への希望……………佐々木等  
 夏の幼児童謡の中より(下)……………葛原 幽  
 木の葉を観て描く……………新庄よしこ  
 当選童謡  
 素人出来る木工の話(二)……………山形寛  
 あなたの机上へ……………山形寛

児童心理学文献抄(児童の知覚界)……………牛島義友  
 話大きな贈りもの……………武田雪夫  
 幼児の談話について(速記)……………内山憲堂  
 雑録  
 第九号

卷頭(雑草)……………倉橋惣三  
 こどもが自分を見出す時……………斎藤善太郎



秋の幼年童謡の中より(上).....葛原 隼

幼稚園令公布十週年記念講演

フランスに於ける幼児保育に就て(上).....白根 孝之

児童心理学文献抄(幼児の弁別力と記憶).....牛島 義友

或日のこと.....赤 頭 布

本会主催夏期講習会

今年の講習会.....新庄 よしこ

講習出席の所感.....大塚 喜一

感想.....徳 久 孝

おみやげ問.....S K

幼児の性情の涵養.....倉 橋 惣 三

雑録

### 第十号

巻頭(子どもの目).....倉 橋 惣 三

アンデルセンの性格と才能.....蘆 谷 重 常

フランスの幼児保育について(下).....白 根 孝 之

秋の幼年童謡の中より(下).....葛 原 隼

児童心理学文献抄(数の概念の発達).....牛 島 義 友

話おみやげお団子.....武 田 雪 夫

育児の神様少子部すぎる.....仲 川 明

幼児に聴かせるお話の実際(速記).....久 留 島 武 彦

### 第十一号

巻頭(炉辺昧).....倉 橋 惣 三

幼稚園六十年.....倉 橋 惣 三

幼児に於ける習慣の問題.....山 下 俊 郎

唯、活ける信仰ある者のみ.....斎 藤 善 太 郎

アンダアセン物語.....平 林 広 人

児童心理学文献抄(幼児の智能検査).....牛 島 義 友

保母の心理考察.....坂 内 み つ

保母のよろこび.....及 川 ふ み

花園の仕事.....大 岩 金

幼児性情の涵養.....倉 橋 惣 三

子供の絵について.....菅 原 教 造

### 第十二号

巻頭(廊下).....倉 橋 惣 三

行き過ぎた幼児教育(一).....和 田 実

子供の絵(其一).....菅 野 教 造

児童心理学文献抄(十二).....牛 島 義 友

台湾幼児保育について.....安 部 光 梶

児童の性格.....岡 田 道 一

冬期のこどもの衛生.....岡 田 道 一

一年間の保育(三).....	宮本光代
主任の先生方へ.....	大塚喜一
思ひまゝを述べて.....	米山エン
雑録.....	

第三十六卷

第一号

巻頭(正月).....	倉橋惣三
明治維新前後に於ける我邦児童教育の状況.....	乙竹岩造
子供の絵(其二).....	菅原教造
幼児の宗教教育.....	霜田静志
幼児をよき環境に憩はしめよ.....	砥上種樹
児童心理学文献抄(十四)(言語の発達).....	牛島義友
幼年 踏切ごっこ.....	武田雪夫
素人に出来る木工の話(三).....	山形寛
お角力あそび.....	及川ふみ
第二号	
巻頭(二月).....	倉橋惣三
北支那の見聞.....	堀七蔵
アメリカの就学前幼児の教育.....	多田鉄雄
子供の絵(其四).....	菅原教造
児童心理学文献抄(一五)(幼児の唱歌).....	牛島義友
雑祭と御馳走.....	山田徳兵衛

幼児の放送	F
「おもちゃ箱」	村上露子
おひな様	及川ふみ
全国保育大会状況	

第三号

巻頭(二月)	倉橋惣三
子供の絵(其五)	菅原教造
保育・教育連結の一実験	白根孝之
児童心理学文献抄(十六)(積木と粘土細工)	牛島義友
幼稚園の修了式入園式	
系統的保育案の実際解説	
生活訓練	倉橋惣三
誘導保育	菊池ふじの
唱歌遊戯	村上露子の
談話	新庄よしこ
観察	小島光子
手技	及川ふみ

第四号

巻頭(四月)	倉橋惣三
保育事項に就て	和田実

二つの幼稚園	谷口明三
園児の胸廓について	麴町幼稚園
手紙	新庄よしこ
児童心理学文献抄(十七)(童話)	牛島義友
系統的保育案の実際解説(筆者同前号)	

第五号

巻頭(五月)	倉橋惣三
父母と保母との協力	森川正雄
保育の第一歩	山下徳治
児童心理学文献抄(十八)(子供の人物画)	牛島義友
入選童謡	
こどものお弁当	
心を開かせること	倉橋惣三
系統的保育案の実際解説(筆者同前号)	

第六号

巻頭(六月)	倉橋惣三
都市の幼児教育に対する希望	田島真治
夏期の幼児衛生	井口乗海
気質に関する一二の問題	古川竹二
桃太郎の変遷	小池藤五郎

新入園児を迎へた當時を反省して……………坂内ミツ  
 「母のお話」……………岸田秋  
 遊び場に於ける子供の気持……………西田脩雄  
 夏の食堂……………留岡よし子  
 雑録……………  
 系統的保育案の實際解説（筆者同前号）

第七号

巻頭（七月）……………倉橋惣三  
 幼児の社会性陶冶の問題……………白根孝之  
 「舌切雀」の展開（一）……………小池藤五郎  
 日本産小淡水魚の觀賞とその飼ひ方……………清水良雄  
 児童心理学文献抄（十九）（児童画の問題）……………牛島義友  
 童話石屋さん……………山本ゆき子  
 遊びの場に於ける子供の気持（承前）……………西田脩雄  
 系統的保育案の實際解説（筆者同前号）

第九号

巻頭（九月）……………倉橋惣三  
 まこところ……………曾根保  
 舌切雀の展開（二）……………小池藤五郎  
 欧米幼児教育視察記（一）……………高市慶雄

旅を考へる……………菅原教造  
 児童心理学文献抄（二十）（反抗の心理）……………牛島義友  
 なた豆……………  
 系統的保育案の實際解説（筆者同前号）  
 保育案……………倉橋惣三

第十号

巻頭（十月）……………倉橋惣三  
 子供の放送について……………小尾範治  
 舌切雀の展開（三）……………小池藤五郎  
 欧米幼児教育視察記（二）……………高市慶雄  
 児童心理学文献抄（二十一）（幼児の性格の觀察）……………牛島義友  
 系統的保育案の實際解説（筆者同前号）  
 子供の絵に就いて……………山形寛

第十一号

巻頭（十一月）……………倉橋惣三  
 皇太后陛下の行啓を仰ぎ奉りて……………倉橋惣三  
 感想……………下田たづ  
 欧米幼児教育視察記（三）……………高市慶雄  
 英詩のリズム……………曾根保  
 児童心理学文献抄（二十二）（子供の社会生活）……………牛島義友

観察話を終へて……………山村きよ  
 系統的保育案の実際解説(八)(筆者同前号)  
 幼児の体育……………佐々木等

第三十七卷

第十二号

第一号

卷頭(十一月)……………倉橋惣三  
 豊陞幼稚園……………樋口長市  
 欧米幼児教育視察記……………高市慶雄  
 英詩のリズム……………曾根保  
 児童心理学文献抄(二十三)……………牛島義友  
 子どもを歌った大隈言道……………三津迪  
 対仲直り……………曾根翠  
 系統的保育案の実際解説(筆者同前号)

健康(保姆諸君と語る一)……………倉橋惣三  
 子どもと音楽に就いての感想……………信時潔  
 幼年 床屋さんごっこ……………武田雪夫  
 イギリス保育発達史(一)……………白根孝之  
 フレーベル先生の遺跡を訪ひて(一)……………高市慶雄  
 簡単に出来る 紙芝居の作り方……………内山憲堂  
 絵木応用 公開保育を終つて……………山村きよ  
 系統的保育案の実際解説  
 生活訓練……………倉橋惣三  
 誘導保育……………菊池ふじの  
 唱歌遊戯……………村上露子  
 談話……………新庄よしこ  
 観察……………小島光子  
 手技……………及川ふみ

第二号

服装(保姆諸君と語る二)……………倉橋惣三

幼稚園に於ける幼児の個人調査……………伊藤堅逸

イギリス保育発達史(一)……………白根孝之

鶏さんと英夫さんのお話……………武田雪夫

フレibel先生の遺跡を訪ひて(一)……………高市慶雄

春の歌……………曾根保

おひな様……………及川ふみ

ちん／＼こぼかま……………小泉八雲

幼き者を「ひきいたす」こゝろ……………斎藤善太郎

自他一如……………大塚喜一

誘導保育案の一例……………富士見幼稚園

### 第三号

熱意(保姆諸君と語る三)……………倉橋惣三

イギリス保育発達史(三)……………白根孝之

自然界と児童……………吉田弘

童話ニコ／＼のお日様……………榎木楠郎

幼児の流行病……………田村均

ピパの歌……………曾根保

新しいヌリエ帖について……………及川ふみ

大きいそぎ大きいそぎ……………新庄よしこ

日誌より……………

心の日記の頁……………留岡よし子

保育日誌の中より……………徳久智江子

砂場は幼児の楽園……………大塚喜一

趣き(保姆諸君と語る四)……………倉橋惣三

小学校入学検定で感じたこと二つ三つ……………堀七蔵

猿蟹合戦の変遷……………小池藤五郎

幼児「燕さんのエプロンのお話」……………武田雪夫

春の歌……………曾根保

山姥と三人の娘……………附属幼稚園

教育界の転向と保育……………竹中良治郎

感想二つ……………菊池ふじの

礼儀……………氏原銀

ある試……………北条静

お店あそび……………小島その

生活と職業……………菅原教造

### 第五号

事務(保姆諸君と語る五)……………倉橋惣三

こども党列伝……………石井庄司

「鼠の嫁入」と児童の心……………小池藤五郎

幼児に於ける健康の習慣に就て……………久米京子

子猫ちゃんのお日傘のお話……………武田雪夫  
 ヘレン・ケラー―女史を迎へて者……………記 者  
 学齢前幼児教育機関と幼稚園の問題  
 第七回世界教育会に就て  
 新刊紹介

第六号

言葉(保姆諸君と語る七)……………倉橋惣三  
 「鼠の嫁入」と児童の心……………小池藤五郎  
 幼児の玩具……………牛島義友  
 小さい鳩の坊やお話……………武田雪夫  
 「母の夢」他三篇……………曾根保  
 新しい手技二つ三つ……………竹中良治郎  
 観察話二つ……………Y・Y  
 保育大会に出席して……………小園  
 新刊紹介  
 世界教育会議に就て  
 雑録

第七号

広い関心(保姆諸君と語る七)……………倉橋惣三  
 子供と環境(一)……………山下俊郎

幼児と絵本……………多田鉄雄  
 子供列伝(二)……………石井庄司  
 露子ちゃんと晴夫ちゃんのお話……………武田雪夫  
 路地の子供……………水谷年恵子  
 小向喜美女史の勇退  
 幼稚園を覗く(一)……………竹村一  
 父への思慕……………宇賀寿子  
 或る日の反省……………菊池ふじの  
 馬のお話……………白根孝之

第九号

巻頭―世界教育会議……………倉橋惣三  
 子供の環境……………山下俊郎  
 保育課程と保育案……………和田実  
 お母さん話||子風さんと玉蜀黍のお話……………武田雪夫  
 結核予防対策と虚弱児童養護問題……………牛島隆則  
 第一回フレイベル賞幼児童話審査発表表  
 入選童話十五夜のお山……………倉田せつみ  
 // 時計の子供……………佐藤久子  
 // めだか……………米田ヨネ  
 選外佳作積木の御殿……………中野静  
 幼稚園を覗く(二)……………竹村一

お馬の話(一)……………白根孝之  
 幼児教育の文化性(一)……………倉橋惣三  
 雑録  
 フレーベル賞童話  
 選外佳作「蝶々のくびかざり」……………高桑博子  
 「かたつむりさん」……………宮田国子  
 「ふしぎな卵」……………K・S  
 「メダカの坊や」……………小原すみ子

第十号

巻頭―現下の時局と幼児保育……………倉橋惣三  
 国民教育家及び女子教育家としてのフレーベル……………エツアールド  
 シュプランカー  
 子供の環境(三)……………山下俊郎  
 子供の党列伝(三)……………石井庄司  
 ビスケットとお猿さんのお話……………武田雪夫  
 入選童話「虫の洋服屋さん」……………菅野ミチ子  
 「カツボと蛙」……………山本ユキ  
 幼稚園を覗く(二)……………竹村一  
 幼児童話審査委員会の夜……………記者  
 幼児教育の文化性(二)……………倉橋惣三

第十二号

巻頭―百年前の追想……………倉橋惣三  
 拝み出す保育……………斎藤善太郎  
 クリスマス・ツリーとスミ子さんのお話……………武田雪夫  
 おはなしの道に我が友を得て……………大塚喜一  
 フレーベル賞童話  
 選外佳作 蚤と蝨と蟋蟀の高飛び競争……………幸田信子  
 森のお友達……………中村全江  
 豚の旅……………藤崎と志  
 蛙と螢……………岡本千枝子  
 「トンボは何に乗つて行つたでせう」……………山本文子

第十一号

巻頭―この秋……………倉橋惣三  
 幼児の遊び(一)……………牛島義友  
 幼児童話について……………小川未明  
 百合子さんの遠足のお話……………武田雪夫  
 時局の映ずる保育の二三……………及川ふみ  
 総目次  
 幼児教育の文化性(四)……………倉橋惣三



第三十八卷

第二号

ハイデー・ヨハンナ・スピリ原作……………津田芳雄訳

第一号

巻頭——保育報園……………倉橋惣三

幻……………下村寿一

虎……………尾上柴舟

小学校の入学準備に就て……………堀七蔵

幼児の遊び(一)……………牛島義友

雪女……………小川未明

事変と玩具……………山田徳兵衛

光と炭の挿話……………林太郎

幼稚園を覗く(四)……………竹村一

時局の保育、時局の影響を各地幼稚園に訊く……………

岩手 女師附属幼稚園……………

福島 郡山幼稚園……………

東京 大和郷幼稚園……………

// 本郷第一幼稚園……………

// 富士見幼稚園……………

大阪 中大江幼稚園……………

大分 成溪幼稚園……………

巻頭——御國の子ども……………倉橋惣三

幼稚園に於ける健康教育……………野津謙

子供と環境(四)……………山下俊郎

子供党列伝(四)……………石井庄司

おひな様……………及川ふみ

戦争を描いた昔の随意画……………新庄よしこ

猫と彼……………久米又三

フレイベル賞幼児手技審査発表……………

フレイベル賞手技審査に就て審査員諸氏の御意見御感想……………

手技の創作懸賞募集について……………及川ふみ

此後の幼児の手技は用材を拵げて考へたい……………岸辺福雄

幼児に適するといふことに就て……………倉橋惣三

手技審査雑感……………山形寛

手技作品募集に就いて……………和田実

フレイベル賞入選手技……………

万灯……………荒磯寿子

粘土おしゑ……………K・S

雪だるま、雪兎……………三浦豊子

時局の保育、時局の影響を各地幼稚園に訊く……………

大阪市立久宝幼稚園

再び豊田英雄子先生をお訪ねして

可愛い、幼児画の手拭

ハイディ——ヨハンナ・スピリ原作——津田芳雄訳

第三号

巻頭——保育修了の月——倉橋惣三

お宝の島——小川未明

育ての根拠——倉沢剛

子供党列伝(五)——石井庄司

一年保育に就て——坂内ミツ

フレイベル賞入選手技

兵隊さん——堀田景子

絵馬——藤井君代

金魚鉢——司馬重子

大鋸屑録——西口志佳

母達の話題——常石貞子

子どもの体について——幼稚園衛生室

幼児教育の文化性(五)——倉橋惣三

ハイディ——ヨハンナ・スピリ原作——津田芳雄訳

第四号

巻頭——新しい子等に蘇る先生——倉橋惣三

保母養成所の問題

筵一枚で保育する人——早川喜四郎

保母養成に当りて——エヌ・ポーマン

保母養成に就て——和田実

時局と保母養成所——榊原きく

保母養成事業の重要性——太陽保育学園

私の養成所の概況——土川五郎

保母養成所の重要点——マーガレット・エム・クック

益々重要性を加ふる保母養成——ソフアヤ・アラベラ・アルウキン

保母養成の二方面——森川正雄

保母養成機関の問題に就て——倉橋惣三

保母養成所しらべ——記 者

子供の軍歌——岸辺福雄作曲

新入園児を迎へる——弘田竜太郎作曲

入園児童に就て——ベルニス・ジャンセン

新入園児を迎へる心組——藤本ツギ

新入園児を迎へる——檜山京子

母子保護療法に就て——高島巖

幼稚 童話 お父さんと先生——武田雪夫

ナチス幼稚園保母養成所の教案——多田鉄雄

第五号

巻頭—若葉……………	倉橋惣三
保育所の使命と其の本領……………	藤野井行仁
農繁期託児所の経営……………	荒井庄次郎
母子保護法に就て……………	高島巖
フレーベル賞入選手技……………	小田桐たか子
金魚鉢・台……………	三浦秀
兵隊さん……………	池野倍子
木の葉応用貼紙……………	横瀬末子
櫛……………	S
五月の一週間……………	杉山米子
四月の一週間……………	町田行子
池と子供……………	多田鉄雄
ナチス保母養成の教案……………	

第六号

巻頭—六月のみどり……………	倉橋惣三
こどもの意味……………	石川謙
幼稚園は教育に対して何を貢献し得るか……………	カサリン・アカナ
水棲昆虫記—みつすましの繭造り—……………	久米又三
変つた性質の幼児について……………	及川ふみ

第七号

歯と食物……………	湯浅泰仁
第三回フレーベル賞審査発表……………	
第三回フレーベル賞、幼児童話審査に就て審査員諸氏の御意見御感想……………	
選後の感想……………	小川未明
忠実なる作品を歡ぶ……………	岸辺福雄
苦言……………	倉橋惣三
選者の一人として……………	新庄よしこ
入選童話……………	K
さいとうばらひ……………	S
春が来た……………	杉山よね
ニコ／＼ダルマさん……………	佐藤久子
「劇あそび」について……………	山村きよ
時局の保育、時局の影響……………	島根女子師範学校
今夏の文部省主催保育講習について……………	附属幼稚園
本会主催夏期講習会に就て……………	
ハイディ—ヨハンナ・スピル原作—……………	津田芳雄訳

巻頭—つゆばれ……………	倉橋惣三
幼児の夏季衛生……………	竹内薫兵
紫外線の話……………	林太郎

水棲昆虫記……………久米又三

子供・子供・子供……………内山憲堂

童心慰問の旅……………山内勇仙

氏原銀女史を悼む……………倉橋惣三

摘草と子供……………氏原銀

子どもとリズム……………清水光子

入選童話……………

河童の瓶……………田中まり子

でんぐ／＼虫のお話……………山本ゆき子

猩とお団子……………石堂トヨ子

雪のトンネル……………桂本美枝子

御紹介……………

ハイディ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

### 第九号

巻頭——補ふ心……………倉橋惣三

子供と環境(六)……………山下俊郎

水棲昆虫記——がむし……………久米又三

夏日漫筆……………曾根保

幼児の生活に於ける絵本……………築添正二

体験の中から……………A・B・C

恩師氏原銀子先生を偲び奉る……………宮崎しか

師弟の縁……………大塚喜一

「劇あそび」の脚本(二)……………山村きよ

こども・むし……………杉山米子

私が幼稚園の子供だった時……………

入選童話……………

粘土のよろこび……………小塩れい

公園の椿……………藤子

東京市養育院に奉職して……………菅野まさ

この夏の講習会……………新庄よしこ

夏休みの或る日……………幼児の母

旅のさきさき……………田中美枝子

ハイディ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

幼稚園保育に於ける時局的反省の問題(一)……………倉橋惣三

### 第十号

巻頭——弾力……………倉橋惣三

幼少時に於ける民族優越性の獲得……………森川正雄

消化の話……………藤本薫喜

鮮満——一話一詠(七)……………葛原しげる

幼児の生活に於ける絵本……………築添正二

偶感……………及川ふみ

内台幼児を保育して……………川西久子

本島幼児保育の立場から……………佐竹花  
入選童話……………

貞夫ちゃんとお太鼓……………真木喜久子  
観察の本と、唱歌の本を出したに就て……………倉橋惣三

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳  
幼稚園保育に於ける時局的反省の問題(一)……………倉橋惣三

### 第十一号

巻頭——秋晴……………倉橋惣三

具体と抽象と表現……………黒田成勝

残花集園(日本幼児教育史資料)……………石川謙

鮮満漫筆 一話一詠(下)……………葛原しげる

幼児の保健に就て……………山崎とき

海への幼稚園……………高浜きみの

ある日……………町田行子

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

幼稚園保育に於ける時局的反省の問題(二)……………倉橋惣三

### 第十二号

巻頭 うしろ向き……………倉橋惣三

児童と社会訓練……………依田新

残花集園……………石川謙

幼稚園に於ける健康教育の試み……………穂積篤子  
可愛い慰問……………

関西連合保育大会建議案……………  
ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

幼稚園保育に於ける時局的反省の問題(四)……………倉橋惣三

第三十九卷

第一号

卷頭(実際に担う者の力).....	倉橋惣三
幼稚園関係者諸氏へ.....	下村寿一
幼児の発達程度を検せよ.....	堀七蔵
「新体幼稚園唱歌」の唱ひ方.....	小松耕輔
事変下に於ける談話とその取扱.....	内山憲堂
朝鮮だより.....	
内鮮幼児を保育して.....	麻柄トヨ
朝鮮保育会の過去と現在.....	金聖愛
幼児へのラヂオ.....	森本勉
子供の虚言—真実への教育(一).....	倉沢剛
残花聚園.....	石川謙
偏食の話.....	藤本薫喜
子供の歯は母親の責任.....	湯浅泰仁
記念展覧会を開催して.....	青柳節子
保育用品研究会第一回状況報告.....	みどり会幹事
ハイデイ—ヨハンナ・スピリ原作.....	津田芳雄訳

第二号

卷頭(二月の朝ひる).....	倉橋惣三
子供を理解せんとする母の努力.....	石川謙
子供の虚言倉—真実への教育(二).....	倉沢剛
離人形.....	及川ふみ
幼稚園に於ける歯科衛生施設.....	山田仲子
日本の子供は日本の母の手で.....	竹村一
肖像模倣に於ける幼児の個性と注意の研究.....	森たよ
劇あそびの脚本.....	山村きよ
満洲だより.....	田中美枝
フレーベル賞入選童話.....	
かくれんぼ.....	N子
南京城.....	直野カツ
ハイデイ—ヨハンナ・スピリ原作.....	津田芳雄訳
第三号	
卷頭(わかれの日に).....	倉橋惣三
教育審議会の答申に於ける幼稚園に関する部分.....	倉橋惣三
精神の発達には遅速あり.....	古川竹二
虚弱児の食物に就いて.....	藤本薫喜
蜜蜂の生活断片.....	久米又三

いばら大将……………石井庄司  
 残花聚園(四)……………石川謙  
 保育ノートの中から……………清水光子  
 春が来た……………S・K  
 フレーベル賞入選童話……………

寛さんと蟹……………佃孝  
 蝶々の蜜採り……………石原三重  
 不思議な玉……………三浦秀  
 ハイディ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

第四号

巻頭(迎へる心)……………倉橋惣三  
 日本の幼稚園……………倉橋惣三  
 新入園児の父兄に告ぐ……………和田実  
 幼児の時間観念……………依田新  
 幼児に対する教へ方の指導……………田代順之  
 蜜蜂の生活断片……………久米又三  
 幼児観察の一調査……………弘田芳弘  
 巨人物語……………石井庄司  
 給食と幼稚園……………坂内ミツ  
 その頃……………K子  
 園庭に於ける遊びと動きの調査……………青柳節子

ある一男児の保育日記をめぐりて(一)……………杉山米子  
 ハイディ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

第五号

巻頭(朝)……………倉橋惣三  
 季節保育所の問題……………倉橋惣三  
 幼児の生活調査……………牛島義友  
 健康保育座談会……………  
 蜜蜂の生活断片……………久米又三  
 年長組になった幼児……………及川ふみ  
 鬼と鏡……………石井庄司  
 残花聚園(五)……………石川謙  
 蛙さんの遠足のお話……………武田雪夫  
 一男児の保育日記をめぐりて(二)……………杉山米子  
 ハイディ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

第六号

青少年学徒に賜はりたる勸語……………  
 幼稚園の対象……………倉橋惣三  
 幼稚園新唱歌……………小松耕輔  
 雨……………林太郎  
 日光浴の話……………萩原兼蔵

残花聚園(六).....石川謙

縫はずに着る洋服.....石井庄司

幼稚園の遊戯と体育

雨の日の幼稚園

自由遊びと手技.....及川ふみ

雨の日の観察あそび.....清水光子

遊戯.....小島その

談話唱歌.....町田行子

小さい畑.....大岩金

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——津田芳雄訳

第七号

国策遂行の支部機関としての幼稚園及学校.....倉橋惣三

夏の育児漫談.....竹内薫兵

創設一年後の所感.....梶井辰次郎

関西保育界に於ける童話.....足立勤

幼児の「家の画」の研究.....神戸市保育会

残花聚園(七).....石川謙

精神欠陥者の為めの幼稚園の必要性について保育

関係諸氏に懇ふ.....三木安正

白鳥の童女.....石井庄司

水と子供.....山田伸子

或日の観察.....清水光子

子供との問答.....留岡よし子

関西保育会提出遊戯

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——津田芳雄訳

第八・九号

保母の教養.....倉橋惣三

健全な精神は健康な身体に宿るか.....牛島義友

夏日漫筆.....曾根保

森川先生の御退官.....会沢タガエ

残花聚園(八).....石川謙

正男さんの井戸.....石井庄司

戸外の自由遊び.....及川ふみ

幼稚園と尋常小学校との連絡に関する資料調査(一)東京市保育会

をりがみお月様とたぬき.....内山憲尚

童話話お月様とたぬき.....内山憲尚

幼児に就んで.....武田雪夫

聞かせる話.....久米京子

子供達の幼稚園時代の健康状態.....久米京子

小さな試み.....徳久智江子

幼稚園の時局的注意事項の二点

芝居 出征・戦場.....菊池ふじの

人形 出征・戦場.....津田芳雄訳

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——津田芳雄訳



第十号

第七回全国幼稚園関係者仙台大会……………倉橋惣三  
 保育の特色何故發揮せぬか……………和田実

秋

秋と幼児の健康……………斎藤文雄

健康と食物……………近藤耕蔵

柿と栗……………堀七蔵

秋の野草……………藤沢六馬

残花聚園(九)……………石井庄司

鷺と鮪……………F

杜城偶感……………F

幼稚園と尋常小学校との連絡に関する資料調査(二) 東京市保育会

幼時の追憶……………曾根保

この夏……………倉橋惣三

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

第十一号

保育実践家の貴さ……………倉橋惣三

新支那の教育復興を視る(一)……………倉沢剛

秋晴

幼稚園の運動会……………佐々木等

幼稚園に於ける運動会と遠足……………土川五郎

運動会と遠足……………蒔田ソヨ

私共の運動会と遠足……………高橋タツ

観察資料 紅葉と落葉……………堀七蔵

残花聚園(十)……………石井庄司

樺の兵隊さん(風土記から)……………石井庄司

橋本よしぢ女史……………倉橋生

幼稚園と尋常小学校との連絡に関する資料調査(三) 東京市保育会

本園の総合大運動遊具……………荒木嘉弘

仙台二日……………倉橋生

ことばづかひ……………小島その

雑報

全国児童保護大会

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

第十二号

国民保育者……………倉橋惣三

新支那の教育復興を視る(二)……………倉沢剛

松と竹……………堀正一

冬期・幼稚園に於ける疾病予防……………広瀬興

残花聚園(十一)……………石井庄司

餅的的(風土記から)……………石井庄司

北国の冬の幼稚園………今 ぎ よ  
 幼稚園と尋常小学校との連絡に関する資料調査(四) 東京市保育会  
 幼時の追憶………曾 根 保  
 ハイデー——ヨハンナ・スピリ原作——………津田芳雄訳  
 第七回全国幼稚園関係者大会報告………仙台市保育会

第四十卷

第一号

扉  
 人的資源の涵養と保育………下村 寿一  
 幼児と俱に皇紀二千六百年を迎ふ………倉橋 惣三  
 建国神話と日本精神………蘆谷 蘆村  
 幼児の発育形態に就て………竹内嘉兵衛  
 新年の童謡………葛原しげる  
 子供の咳………竹内 薫兵  
 御初穂にひびく………大浦 キミ  
 家具、園具の修理法………山 形 寛  
 簡単な手技………及川 ふみ  
 幼稚園の氷………杉山 米子  
 月刊「幼児の母」の計画に就て………倉橋 惣三  
 幼児の母  
 幼時の追憶………曾 根 保  
 ハイデー——ヨハンナ・スピリ原作——………津田芳雄訳

第二号

扉

幼稚園の家庭教育補導……………倉橋惣三  
 人を信じてかゝる心……………斎藤善太郎  
 二月の幼児童謡……………葛原しげる  
 古品の御照会……………仙台市東二番丁附属幼稚園  
 お雛様……………及川ふみ  
 冬の満洲……………

満洲の冬と保育の実際……………小山田節  
 園庭寸描……………日高テイ  
 童話・岸辺福叟名話集……………倉橋惣三  
 お話遊び二つ……………徳久智江子  
 困つてること・困つてる子……………岩本とよ  
 室内遊び……………町田行子  
 月刊「幼児の母」の計画に就て……………倉橋惣三  
 幼児の母……………  
 幼時の追憶……………曾根保

第三号

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——津田芳雄訳  
 扉……………  
 幼稚園と小学校の連絡……………倉橋惣三  
 幼稚園の真生活……………時下米太郎

三月の幼児童謡……………

三月の幼児童謡……………葛原しげる  
 春の気候と幼児の衛生……………萩原兼文  
 母性愛の進化……………岡徹  
 新入園児を迎える心……………蒔田ソヨ  
 おはなしの光……………大塚喜一  
 三月の生活訓練……………小島その  
 此の頃の子ども……………船田ふさ  
 紀元二千六百年を迎へて（はがき回答）……………

浦島を乗せた亀に会つた話……………河田礼太郎  
 月刊「幼児の母」の計画に就て……………倉橋惣三  
 幼児の母……………  
 幼時の追憶……………曾根保  
 ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——津田芳雄訳……………

第四号

扉……………  
 幼稚園の理解の普及の必要……………倉橋惣三  
 幼稚園と国民学校……………堀七蔵  
 小学一年生教育を通しての所感……………弘田芳弘  
 新入園児の健康保育……………広瀬興  
 四月の幼児童謡……………葛原しげる  
 お猿さんの誕生日……………武田雪夫

入園当時の様子について……………坂内ミツ

四月の幼稚園……………及川ふみ

四月といふ月は泣いたり笑ったり怒ったり……………留岡よし子

四月の家庭蔬菜園……………大岩金

「幼児の母」の計画に就て……………倉橋惣三

幼児の母

幼時の追憶……………曾根保

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

### 第五号

扉

幼稚園と国民学校(一)……………堀七蔵

児童研究法講義(一)……………松本金寿

五月の幼児童謡……………葛原しげる

幼稚園遠足の心得二つ三つ……………内藤寿七郎

練習船大成丸に便乗して……………田代順之

五月の保育……………及川ふみ

母親と幼稚園……………久米京子

お話試作

鍵穴のお話……………若宮梅子

絵のお帳面……………宮原恭子

見えなくなつたお椅子……………山本美代子

「幼児の母」の計画に就いて

幼児の母

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

### 第六号

扉

幼児保護と幼児教育……………倉橋惣三

幼稚園と国民学校……………堀七蔵

児童研究法……………松本金寿

六月の幼児童謡……………葛原しげる

中村正直先生五十年忌……………倉橋惣三

感激的一幕……………上沢謙二

子供らしさと環境……………波多野勤子

六月の保育……………及川ふみ

第四回フレール賞審査発表(童話・童謡)

選者銘々感

六月の声……………J O X A

幼児の母

幼時の追憶……………曾根保

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

### 第七号

扉

保姆養成の主要点.....倉橋 惣 三

児童研究法講義(三).....松 本 金 寿

夏季の幼児衛生について注意すべきこと.....斎 藤 文 雄

七月の幼児童謡.....葛原しげる

七月の保育.....及 川 ふ み

フレーベル賞入選童話・童謡

童話 鼠さんのお引越.....相 田 多 惟

逃げない小鳥.....佐 藤 久 子

童謡 ダルマサン.....楠 正 子

お洗濯.....相 田 多 惟

汽車.....土 田 千 草

雪よ降れく.....辻 繁

煙.....津 村 満 喜 子

春.....吉 田 ト ミ

お相撲.....神 保 正 世

幼児の母

第八回全国幼稚園関係者大会報告

第八・九号

扉

国民幼稚園を目ざして.....倉橋 惣 三

建国童話.....久留島武彦

児童研究法講義(四).....松 本 金 寿

初秋に於ける幼児の保健.....広 瀬 興

八月の幼児童謡.....葛原しげる

毎月の保育問題.....上 沢 謙 二

紙芝居の生かし方.....砥 上 峰 次

フレーベル賞童謡の作曲と私の追憶.....宅 孝 二

九月の保育.....及 川 ふ み

蔬菜栽培と幼児.....松 原 ユ キ 子

幼児の母.....曾 根 保

婦命毗盧遮那仏.....津 田 芳 雄 訳

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——.....倉 橋 惣 三

第十号

扉

動員せられた幼稚園.....倉 橋 惣 三

建国童話(一).....久留島武彦

毎月の保育問題.....上 沢 謙 二

十月の保育.....及 川 ふ み

フレーベル賞入選童話童謡

紅ちやん朝顔……………福山隆

てんとう虫……………清水あさ

ピアノお道……………川口幸子

お窓の雨……………伊藤逸子

幼児の母

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

国民学校と国民幼稚園(一)……………倉橋惣三

第十一号

扉

幼児保育と幼児教育……………倉橋惣三

児童研究法講義(五)……………松本金寿

十一月の保育……………及川ふみ

満洲の旅みやげ……………武田雪夫

国民学校実施に際して保育者としての立場は？……………山村きよ

あたらしいものへ……………K S

フレーベル賞入選童話・童謡

童話 兄弟熊……………佐々木敬太郎

童謡 電信柱……………若宮梅子

月……………森田明子

蓑虫小虫……………坂本レツ

幼児の母

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

国民学校と国民幼稚園(三)……………倉橋惣三

第十二号

扉

教育者たる幼稚園保母……………倉橋惣三

児童研究法講義……………松本金寿

随筆満洲の旅みやげ……………武田雪夫

毎日の保育問題……………上沢謙二

十二月の保育……………及川ふみ

感じたままに……………徳久智江子

隣組……………土川五郎

フレーベル賞入選童話

雀と奴唄……………中野静

お時計と虹の子供……………山本フミ子

幼児の母

ハイデイ——ヨハンナ・スピリ原作——……………津田芳雄訳

国民学校と国民幼稚園……………倉橋惣三

第四十一卷

第一号

扉

幼稚園と新体制.....下村寿一  
 皇后陛下の御巡覧を幼稚園に仰ぎ奉りて.....倉橋惣三  
 国民学校を前にして幼稚園に望む.....堀七蔵  
 新体制下の幼稚園

まへがき.....倉橋惣三  
 保健方面の使命について.....広瀬興  
 身体的方面のことについて.....坂内ミツ  
 幼稚園の情操教育.....高浜キミノ  
 当園に於ける幼児の躰について.....金原伸子  
 幼稚園の情操教育.....草野京  
 談話.....柴田みどり  
 観察について.....隈井玉子  
 唱歌遊戯について.....山村きよ  
 手技について.....徳久智江子  
 開園式を挙げ得なかつた東洋幼稚園の開園式  
 式の思出.....岸辺福雄

一月の保育.....乃川ふみ  
 各地保育 岩手県保育会概況.....高橋タツ  
 大政翼賛

幼児の母  
 月刊「幼児の母」に就て.....萩原兼文  
 幼児の衛生.....萩原兼文  
 保育実習科新卒業者

第二号  
 扉  
 国民幼稚園の名に於て(一).....倉橋惣三  
 国民学校の実施を前にして.....武藤光太郎  
 児童研究法講義(七).....松本金寿  
 年中行事と保育.....蒔田ソヨ  
 毎日の保育問題.....上沢謙二  
 二月の保育.....及川ふみ  
 人形芝居偶感.....のぼら  
 豊田英雄先生御慰会に列して.....倉橋惣三  
 笛と太鼓の保姆養成所(回想の二).....岸辺福雄  
 第八回全国幼稚園関係者大会委員建議  
 第八回全国幼稚園関係者大会協議題報告

各地保育 富山県保育協会概況.....倉佐シゲ  
 会の活動

幼児の母

幼児の衛生(二)

保育実習科新卒業者

第三号

扉

国民幼稚園の名に於て(一)

児童研究法講義(八)

科学教育と幼稚園—座談会(一)

毎日の保育問題

三月の保育

ふしぎあそび

各地保育会の活動三重県中部保育会の活動状況

フレイベル賞入選童話

みつづく

子供は風の子

幼児の母

月刊「幼児の母」に就て

幼児の衛生(三)

第四号

扉

萩原兼文

倉橋惣三  
松本金寿

上沢謙二  
及川ふみ

清水光子  
鈴木武治

真木喜久子  
荒井志乃

萩原兼文

国民幼稚園の名に於て(三)

科学教育と幼稚園—座談会(二)

防空に於て保母は何を心得るべきか

毎日の保育問題

幼児の自由画

慰問袋—誘導保育の主題—

幼稚園児のお弁当調査

こどもとチューリップ

各地保育静岡県立静岡市保育会の概況

フレイベル賞入選童話

蛙の子供

嵐さんの雪だるま

月刊「幼児の母」に就て

幼児の母

第五号

扉

倉橋惣三

多田鉄雄

上沢謙二  
及川ふみ

徳久智江子  
山本秋子

寺島通子  
船田ふさ

金原伸子  
吉井正子

山本スマ

倉橋惣三  
牛島義友

中村文弥

堀七蔵

国民幼稚園の名に於て(四)

子供は満三歳で一通り言葉を覚える

幼稚園時代の子供の保健に就て

なあぜ?

カズノホンを中心にして塩野図書監修官の教へを



乞ふ座談会(一)

国民学校の音楽.....小林つや江

毎日の保育問題.....上沢謙二

第五回フレール賞審査発表(幼児唱歌)

審査員の方々から.....岸辺福雄  
葛原しげ  
倉橋惣三

当選作品

雨の子供.....井手文子

お餅搗.....三谷綾子

蟻の行列.....土田千草

落葉.....辻村貞子

避難児童養育所.....志村貞子

動物園―誘導保育の主題―.....町田行子

ならびませう.....上遠文子

各地保育香川県保育会概況.....久住元子

会の活動月刊「幼児の母」に就て

幼児の母

第六号

扉

国民幼稚園の名に於て(五).....倉橋惣三  
久依米田京子

第七号

扉

カズノホンを中心にして塩野図書館監修官の教へを

乞う座談会(二)

人口政策と国民幼稚園.....三木安正

なあぜ?.....堀七蔵

毎日の保育問題.....上沢謙二

時局下に於ける私立幼稚園関係者の覚悟.....藤野井行仁

国民学校の実施にともなつて.....及川ふみ

経験者の言.....留岡よし子

各地保育北九州保育会概況.....松村茂

の活動東京保育界の両先人、河合千代先生.....記

由良せき先生.....者

フレール賞入選童謡

お約束.....河上フミ

僕の友達.....毛利家

ミツケタ.....加茂幸子

雨の日に.....清水光子

八百屋遊び―誘導保育の主題―.....岩本とよ

月刊「幼児の母」に就て

幼児の母

国民幼稚園の名に於て(六).....倉橋惣三

夏休中の健康保育.....広瀬興

なあれ?.....堀七蔵

毎日の保育問題.....上沢謙二

母の会の運営について.....穂積篤子

時局下の家庭園を見て.....大岩金

幼稚園でよい子に育てる要綱.....みどり会研究部案

羨の研究に添へる側面的所感.....倉橋惣三

各地保育福島県保育会概況.....山口金蔵

夜の活動福島県保育会概況.....三浦シヅ

フレール誘導保育の主題.....

ほほづき.....小田桐孝子

私のお役目.....芝忠子

ドングリ兵隊.....坪山義枝子

植木屋さん.....吉井正子

旗.....よし子

オヒサマ.....三谷綾子

金魚.....相田浩利

問題の子供に就いて.....沼館正尾

幼稚園の送り迎へ.....久米京子

月刊「幼児の母」に就いて.....

幼児の母.....

第八・九号

扉

国民幼稚園の名に於て(七).....倉橋惣三

幼稚園の健康保育の實際に就いて.....斎藤文雄

幼稚園の遊具(一).....佐々木等

保姆養成に関する意見の調査.....愛育研究会

秋の家庭蔬菜園.....大岩金

幼児の音楽教育に就いて.....みどり会音楽研究部

影絵誘導保育の主題.....須子啓子

羨・母の指導について(回答).....

赤とんぼのはなし.....赤岸幸輔

或る幼児の生活の一端について.....安村ふさ

各地保育関東州保育会の現況.....小山田節

時の活動関東州保育会の現況.....小林良子

時局と子供.....

月刊「幼児の母」に就いて.....

幼児の母.....

誌上保育講習.....

国民学校と幼稚園保育の實際.....倉橋惣三

国民学校国民科指導の精神.....竹下直之

国民学校芸能科音楽に就いて.....小松耕輔

幼稚園遊戯.....戸倉ハル

幼稚園手技……………及川ふみ

第十号

扉

国民幼稚園の名に於て(八)……………倉橋惣三

幼稚園の遊具(二)……………佐々木等

なぜ?……………堀七蔵

蔬菜園の周圍境界を利用して……………大岩金

子供隣組―誘導保育の主題―……………村上露子

国史によせる心……………志村貞子

各地保育会の活動―台湾保育会……………竹下ヲル

月刊「幼児の母」に就て

幼児の母

誌上保育講習

国民学校と稚幼園保育の実際……………倉橋惣三

国民学校国民科指導の精神……………竹下直之

幼稚園遊戯……………戸倉ハル

幼稚園手技……………及川ふみ

第十一号

扉

国民幼稚園の名に於て(九)……………倉橋惣三

幼稚園の遊具(三)……………佐々木等

国民学校芸能科音楽の本旨、実際及音感教育……………井上武士

戸外遊び(二)(三)……………古沢静子

幼稚園のお庭―誘導保育の主題―……………町田行子

各地保育会の活動―長野県保育所の傾向について……………鈴木鳴海

幼児の母

誌上保育講習

国民学校と幼稚園保育の実際……………倉橋惣三

国民学校国民科指導の精神……………竹下直之

幼稚園遊戯……………戸倉ハル

幼稚園手技……………及川ふみ

第十二号

扉

国民幼稚園の名に於て(十)……………倉橋惣三

幼稚園の遊具(四)……………佐々木等

国民学校芸能科音楽の本旨、実際及音感教育……………井上武士

慰問品のお店―誘導保育の主題―……………安村ふさ

数あそび……………上遠文子

各地保育会の活動―大分県保育会の概要……………天門成章

幼児の母

誌上保育講習

国民学校と幼稚園保育の実際	倉橋惣三
国民学校国民科指導の精神	竹下直之
幼稚園遊戯	戸倉ハル
幼稚園手技	及川ふみ

第四十二卷

第一号

詔書

保育と国防	下村寿一
戦時下幼稚園の任務	倉橋惣三
我が国の保育所	森健蔵
誌上 講習 国民学校理科教科の実際(その一)	堀七蔵
子供の病氣怖るべからず悔るべからず	竹内薫兵
独逸幼稚園の本質	エディット・ベルゲル
冬季戸外での遊ばせ方	末田ます
教養 万葉に於て日本の感情を見る(一)	石井庄司
節分—誘導保育	志村貞子
団体遊びの二つ三つ	古沢静子
各地幼稚園	今きよ子
だより 青森・熊本	高島くに
誌上 講習 児童心理学(一)	牛島義友
月刊「幼児の母」に就て	
幼児の母	

第二号

戦時国民幼稚園(一).....倉橋惣三

誌上 國民学校理科教科の実際(その二).....堀七蔵

講習 万葉に於て日本の感情を見る(一).....石井庄司

講座 幼稚園の大詠奉戦日に就て.....倉橋惣三

ふくらみ雑.....及川ふみ

幼稚園託児所視察記(一).....多田鉄雄

教育者としての保姆(一).....倉橋惣三

リズム遊び.....みどり会音楽部

郵便局遊び―誘導保育案の一例.....清水光子

冬ごもりのお友達.....町田行子

各地幼稚園  
だより 鹿兒島・呉.....大迫トミ

誌上 児童心理学(一).....牛島義友

講習 月刊「幼児の母」に就て  
幼児の母

### 第三号

戦時国民幼稚園(一).....倉橋惣三

誌上 國民学校理科教科の実際(その三).....堀七蔵

講習 新入園児を迎へる準備(回答).....石井庄司

講座 万葉に於て日本の感情を見る(二).....石井庄司

四月の保育.....倉橋惣三

生活訓練.....倉橋惣三

自由遊戯.....上遠文子

遊戯.....古沢静子

観察.....清水光子

談話.....志村貞子

幼稚園の手技の導き方.....及川ふみ

春の園芸.....大岩金

幼児の母.....大岩金

### 第四号

戦時国民幼稚園(二).....倉橋惣三

誌上 國民学校理科教科の実際(その四).....堀七蔵

講習 万葉に於て日本の感情を見る(四).....石井庄司

講座 幼稚園の音楽.....小菅和江

五月の保育.....小菅和江

生活訓練.....倉橋惣三

自由遊戯.....上遠文子

遊戯.....古沢静子

観察.....清水光子

談話.....志村貞子

手技.....及川ふみ

誘導保育.....菊池ふじの

五月の園芸.....大岩金

各地幼稚園  
小倉幼稚園・郡山幼稚園

だより  
児童心理学(四)

月刊「幼児の母」に就て

幼児の母

### 第五号

戦時国民幼稚園(四)

誌上 国民学校理科の実際(その五)

教養 万葉に於て日本の感情を見る(五)

講座 教育者としての保母(一)

六月の保育

生活訓練

自由遊戯

遊戯

観察

談話

手技

誘導保育

六月の園芸

各地幼稚園  
だより 三原女師幼稚園・岡山市立託児所

誌上 児童心理学

月刊「幼児の母」に就て

松浦 山イキ  
牛島 義友

倉橋 惣三

堀 七蔵

石井 庄司

倉橋 惣三

倉橋 惣三

上遠 文子

古沢 静子

清水 光子

安村 ふさ

及川 ふみ

菊池 ぶじの

大岩 金

山岡 幹枝

折井 弥留枝

牛島 義友

幼児の母

### 第六号

戦時国民幼稚園(五)

誌上 国民学校理科の実際(その六)

教養 万葉に於て日本の感情を見る(六)

七月の保育

生活訓練

自由遊戯

遊戯

観察

談話

手技

誘導保育

この頃あの頃

歩きませう

七月の園芸

各地幼稚園  
だより 大阪御津幼稚園・宮城女師附属幼稚園

誌上 児童心理学(五)

幼児の母

### 第七号

倉橋 惣三

堀 七蔵

石井 庄司

倉橋 惣三

上遠 文子

古沢 静子

清水 光子

安村 ふさ

及川 ふみ

菊池 ぶじの

留岡 よし

古沢 静子

大岩 金

富村 はま

牛島 義友

牛島 義友

戦時国民幼稚園(一〇).....倉橋惣三

幼稚園託児所視察記(一〇).....多田鉄雄

誌上 国民学校理科数科の実際(その七).....堀七蔵

夏季幼稚園に於ての注意事項及積極的鍛練.....藤本ツギ

目録 万葉に於て日本の感情を見る(七).....徳久智江子

八、九月の保育.....石井庄司

生活訓練.....倉橋惣三

自由遊戯.....上遠文子

遊戯.....古沢静子

観察.....清水光子

談話.....志村貞子

手技.....及川ふみ

誘導保育.....菊池ふじの

リズム遊び.....みどり会音楽部

誌上 児童心理学(一〇).....牛島義友

月刊「幼児の母」に就て

幼児の母

第八・九号

戦時国民幼稚園(七).....倉橋惣三

国防国家の幼児教育.....倉沢剛

幼児の画因.....桜林仁

教歴 万葉に於て日本の感情を見る(八).....石井庄司

十月の保育.....

生活訓練.....倉橋惣三

自由遊戯.....上遠文子

遊戯.....古沢静子

観察.....清水光子

談話.....志村貞子

手技.....及川ふみ

誘導保育.....菊池ふじの

絵本唱歌に於ける拍子とリズムに就いて.....みどり会音楽研究部

各地幼稚園 大連市譚家屯幼稚園.....

台北市私立錦幼稚園.....(小)山下田節

誌上 児童心理学(七).....牛島義友

この夏の本会主催講習会

幼児の母.....加藤恂二郎

幼児教育に於ける養護と鍛練(一).....斎藤文雄

幼児の積極的保健(二).....倉橋惣三

現時局下に於ける幼児教育(二).....

第十号

戦時国民幼稚園(八).....倉橋惣三

幼児教育に於ける養護と鍛練(二).....加藤恂二郎

幼児の積極的保健(二).....斎藤文雄

現時局下に於ける幼児保育(二).....倉橋惣三

教養 講座 万葉に於て日本の感情を見る(九).....石井庄司

十一月の保育.....倉橋惣三

生活訓練.....上遠文子

自由遊戯.....古沢静子

遊戯.....清水光子

観察.....志村貞子

談話.....及川ふみ

手技.....菊池ふじの

誘導保育.....

各地幼稚園 石川県女子附属幼稚園・

山口県私立深川幼稚園.....(作)岡田唯介

註上 講習 児童心理学(八).....(松)牛島義友

幼児の母.....

第十一号.....

戦時国民幼稚園(九).....倉橋惣三

現時局下に於ける幼児保育(三).....倉橋惣三

教養 講座 万葉に於て日本の感情を見る(十).....石井庄司

十二月の保育.....倉橋惣三

生活訓練.....

自由遊戯.....上遠文子

遊戯.....古沢静子

観察.....清水光子

談話.....志村貞子

手技.....及川ふみ

誘導保育.....菊池ふじの

幼児の体力競技.....古沢静子

感じたままを.....一保智代

各地幼稚園 東京感隠幼稚園・今治市昭安幼稚園.....(青)柳義智

註上 講習 児童心理学(九).....(田)坂雪友

幼児の母.....

第十二号.....

戦時国民幼稚園(十).....倉橋惣三

一月の保育.....

生活訓練.....倉橋惣三

自由遊戯.....上遠文子

遊戯.....古沢静子

観察.....清水光子

談話.....安村ふさ

手技.....及川ふみ

誘導保育.....菊池ふじの



保育界の近状を見て……………多田鉄雄

教養 万葉に於て日本の感情を見る(十一)……………石井庄司

講座 戦時下に於ける幼稚園経営の実際……………田辺周子

幼稚園の職域奉公……………今きよ

……………金原伸子

……………蔭田そよ

各地幼稚園……………大島せき

だより名古屋市立第一幼稚園・京城愛国幼稚園……………小島紀子

誌上 講習 児童心理学(十)……………牛島義友

雑録……………

幼児の母……………

第四十三卷

第一号

巻頭……………倉橋惣三

幼稚園と国防……………下村寿一

大東亜共栄圏と幼児教育……………森田孝

二月の保育……………

生活訓練……………倉橋惣三

自由遊戯……………上遠文子

遊戯……………古沢静子

観察……………清水光子

談話……………安村ふさ

手技……………及川ふみ

誘導保育……………菊池ふじの

「おもちゃ屋」の記録より……………山川幸枝

保育の実際……………

この子達をよい子に……………清水光子

友達から嫌はれる子……………安村ふさ

幼児製作の双六とカレンダー……………附属幼稚園

誌上 講習 児童心理学(第十講)……………牛島義友

幼児の母

我が子、国の子―幼稚園から―時局を幼児にどう教へませう(倉橋惣三)―  
文部省推薦図書―联接方の試み

第二号

明治天皇御製謹誦

三月の保育

生活訓練

自由遊戯

遊戯

観察

談話

手技

誘導保育

戦時下の幼児の身体的欠陥とその補救法に就て

体育遊びに就て

保育雑感

母の保姆

お絵かき雑感

縄跳

誌上 児童心理学 (第十一講)

幼児の母

倉橋惣三

上遠文子

古沢静子

清水光子

志村貞子

及川ふみ

菊池ふじの

柴田みどり

中隈春子

附属幼稚園

古沢静子

牛島義友

戦時家庭の教育―幼稚園から―気を強くするには(倉橋惣三)―日曜日の子ども(及川ふみ)―国民学校への心準備(菊池ふじの)

第三号

明治天皇御製謹誦

躰の問題

幼児保育者の反省

お弁当の時の躰

どうすればよいのでせう

參觀記

番町幼稚園

永田町幼稚園

野菜を作りませう

国民学校体操科教授要項実施細目(一)

皇国民の性格の啓培を目指せる保育の実際

親の感想

伸びゆく我が児

或る日の幼稚園

誌上 児童心理学 (第十二講)

幼児の母

倉橋惣三

及川ふみ

留岡よし子

志村貞子

上遠文子

大岩金

古沢静子

桑原きよみ

桜井勝三

前田善子

牛島義友

日本の幼稚園の保育修了式―幼稚園から―国民学校への入学に就て(倉橋惣三)―玄米食と野菜(園芸室)―子どもの質問(清水光子)

## 第四号

明治天皇御製謹誦	倉橋惣三
新師範学校及新高等女学校と保育	倉橋惣三
保育時間に就いて	多田鉄雄
真言・真事・信	石井庄司
科学的芽生えを重んずる遊びのいろ／＼	岩松多吉
幼稚園の待遊訓練について	及川ふみ
時局を子供に印象させるさせ方(ハガキ回答)	安村ふさ
政頼に就いて	古沢静子
国民学校校体錬科教授要項実施細目(二)	鈴木錬
南洋からかへって	鶴田信夫
誌上 幼児の生理	鶴田信夫
講習 幼児の母	鶴田信夫

大東亜戦下の入園—幼稚園から—幼稚園と母(倉橋惣三)—入園当時の睡眠時間について—幼児向図書

## 第五号

明治天皇御製謹誦	倉橋惣三
諸方面よりの羨	倉橋惣三
羨の教育理論	倉橋惣三
我が国の武士の羨	石川謙

## 始めの羨

本をみる羨	清水光子
遊戯による羨	志村貞子
お画かき・お仕事の羨	古沢静子
国民学校より幼稚園にのぞむ	上遠文子
科学的芽生えを重んずる遊びのいろ／＼(二)	前田四郎
中支の一隅より	岩松多吉
おま／＼ごと・動物園—誘導保育—	福山隆
入園の喜び	東京市東郷幼稚園
幼児の母	桜井勝三

幼稚園と母の時間—幼稚園から—我子の性質(倉橋惣三)—お気をつけ下さい、お家の中でのお話を(山村きよ)—幼児向図書

## 第六号

明治天皇御製謹誦	倉橋惣三
東京市戦時託児所に就て	刈宿俊風
農村に於ける戦時下幼児保育の諸問題	広瀬興
都市幼稚園の動向及び行くべき道	朝原梅一
戦時託児所と母性指導	植山友律子
軍人遺族東京職業補導所附属保育参観記	及川ふみ
小林登志女史を悼む	倉橋惣三
月刊「幼児の母」に就て	倉橋惣三

幼児の母

母の服装—幼稚園から—清明心といふこと(倉橋惣三)—お子さん方の防空  
服装がととのひましたか(及川ふみ)—感じたまふ(徳久智江子)

第七号

明治天皇御製謹誦

母の健康

勤労母性の保健

積極保健保育

幼児体錬のために

健康増進の為の保育の実際

子供達を丈夫に育てたい為に

からだの保育

決戦下幼児文化協議会に出席して

幼児の母

戦下の夏の子—幼稚園から—幼児の時局認識(倉橋惣三)—夏季に於ける幼  
児の遊びと衛生(堀リュウ)—お願ひ(留岡よし子)

第八・九号

明治天皇御製謹誦

戦時下保育の本義と実際

戦時下保育の実施事項

参観記

武蔵野母子寮を観る  
猿江善隣館を問ふ

師範学校の保育実習

女学生の勤勞奉公隊所見

幼児の錬成

幅とび遊び

今夏の本会主催講習会

幼児の母

この大きな時代の日本の母—幼稚園から—がまんづよい子(倉橋惣三)—初  
秋に於ける幼児の保健衛生(宇留野勝正)—母親の健康(坂内ミツ)

第十号

明治天皇御製謹誦

戦時保育の本義と実際

戦時下幼児の保健問題

問題の子ども調査報告

「ススメ ススメ」と「ウミノコ・ワレラ」の作

詞者として

参観記 尾久隣保館を訪ねて

幼児の母

清水光子

志村貞子

清水桔梗

堤辺 高田橋 静枝

末田ます

大崎サチエ

福田静子

青柳義智代

清水桔梗

作田せつ

須子啓子

福田静子

倉橋惣三

倉橋惣三

斎藤文雄

みどり会研究部

倉橋惣三

上遠文子

戦時下の母の三大任務―幼稚園と家庭―廃刊の御挨拶(倉橋惣三)―この頃の朝夕に―家庭で幼児に聴かせるおはなしについて

第十一号

明治天皇御製謹誦	倉橋惣三
戦時保育の本義と実際	倉橋惣三
戦時下幼児の保健問題(一)	斎藤文雄
幼児の防空服装について	及川ふみ
日本幼児飛行機献納貯金の提唱	倉橋惣三
思ひついたこと一つ	金丸光
簡単な室内遊び	福田静子
雑録	

第十二号

明治天皇御製謹誦	倉橋惣三
戦時下保育の本義と実際	倉橋惣三
戦時下の観察部について(一)	有元石太郎
夕やけこやけ	戸倉ハル
観察遊び二つ三つ	清水光子
戦争に取材せるお話について	附属幼稚園談話研究部員
東京都戦時託児所を訪ねて	菊池ふじの
この頃作つた童話と童謡	吉井正子

第四十四巻

第一号

子供と共に戦果を聴く	倉橋惣三
戦時下に於ける幼稚園の重要性	下村寿一
幼児への科学教育	清水虎雄
保育刷新の一指標	小川正通
日本幼児飛行機献納貯金の提唱	作田せつ
「観察」雑感	志村貞子
後に続く子等へ	福田静子
跣足の取扱ひ	

第二号

子等と共に折り子等と共に誓ふ	倉橋惣三
保育刷新の一指標(二)	小川正通
幼児の科学疑問の調査	有元石太郎
日本幼児飛行機献納貯金の提唱	
材料なしの保育案	
決戦下の保育の試み三つ	淨謙チサコ
資材なしの保育案	作田せつ

第三号

飛行機をつくる子等……………倉橋惣三  
 保育刷新の一指標(二)……………小川正通  
 幼児の科学疑問の調査(一)……………有元石太郎  
 幼稚園への希望……………波多野勤子  
 ことばのしつけ……………金丸光  
 野外保育の記録……………斎藤八重子  
 お話遊び……………徳久智江子  
 日本幼児飛行機献納貯金の第二回提唱に就て

第四号

桜散る春の園……………倉橋惣三  
 戦時下の子供の手育……………石井通則  
 幼稚園保育に於ける戦時非常措置……………堀七蔵  
 幼児の科学疑問の心理的研究……………有元石太郎  
 幼児の体力遊戯雑感……………上遠文子  
 日本幼児飛行機献納貯金第二期提唱  
 感謝、感激、お願ひ……………倉橋惣三  
 飛行機献金と幼児の努力……………石井方子  
 日本幼児飛行機献納金受託報告

第五号

青葉の朝(巻頭)……………倉橋惣三  
 高等女学校における保育実習について……………松久義平  
 皇国民錬成と幼児の科学教育……………有元石太郎  
 日本幼児飛行機献納貯金第二期提唱  
 幼児むぎの絵のこと……………斎藤善太郎  
 人形の家(三の二)……………及川ふみ  
 この頃気のついた事二つ三つ……………清水光子  
 戦時保姆の職責の重化と拡大……………倉橋惣三

第六号

敵(巻頭)……………倉橋惣三  
 決戦下に於ける幼稚園に関する諸問題と  
 当附属幼稚園……………時下米太郎  
 高等女学校の保育実習……………堀江時三  
 日本幼児飛行機献納貯金第二期提唱  
 絵本に望む……………安村ふさ  
 お話二つ……………志村貞子  
 愛児の保育期を顧みて……………松本しづ  
 保姆の職分の深さ……………倉橋惣三

第七号

保育実習指導

保育実習指導概要

子供の健康の見分け方

躰の指導

一遊戯について

談話の指導

手技の導き方

観察について

自由遊びの指導

防空訓練と幼児

一日の保育計画の立て方

倉橋惣三

内藤寿七郎

及川ふみ

福田静子

安村ふさ

上遠文子

清水光子

志村貞子

関登美子

菊池ふじの

第八号

空襲下に於ける幼児の取扱ひに就て

疎開幼児の生活

わが子の疎開

疎開地に於ける子供の生活

鳥取に疎開して

海の遊戯

紙芝居と幼児

内藤寿七郎

野崎謙三

阿部米三子

畑村春子

福田静子

上遠文子

決戦下の幼児保育者諸君へ

艦上戦闘機「日本幼児号」献納

日本幼児飛行機献納金受託報告(第二回)

第九号

幼児に対する時局教育

戦時保育所二ヶ月の雑感

東京都立第一高女戦時託児所から

秋の幼児の健康

陣友音信(一)

艦上戦闘機「日本幼児号」命名式に列して

倉橋惣三

倉橋惣三

倉橋惣三

留岡よし子

小岡山良子

赤沼陽子

関登美子

倉橋惣三

倉橋惣三

第十号

日光保育

日光と幼児

日光の人体、殊に幼児の身体に対する

生理衛生的価値

日なた保育を語る

東北の日なた

日なたの畑

陣友音信(二)

倉橋惣三

斎藤文雄

萩原兼文

留岡よし子

今きよ

及川ふみ

倉橋惣三

第十一号

幼児と共にあるものゝ心づくし	倉橋惣三
幼児集団疎開について	森脇要
凍傷の常識	勝又俊一
日なたの畑(二)	及川ふみ
人形芝居雑記	安村ふさ
春を待つ	志村貞子
東京女子高等師範学校保育実習科入学者募集	
陣友音信(四)	倉橋惣三